

Kodak Gray Scale



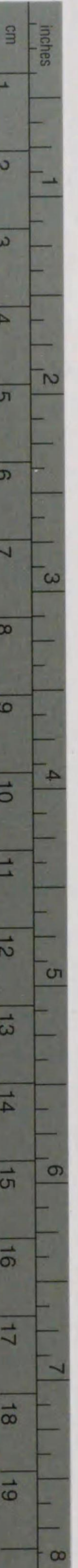
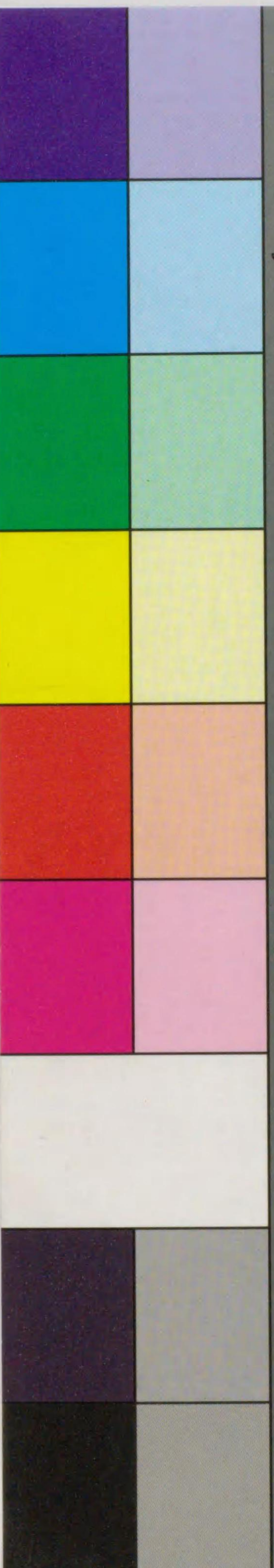
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



© Kodak, 2007 TM: Kodak

518
101

518-101
1200501489664

2.6.24

518

101

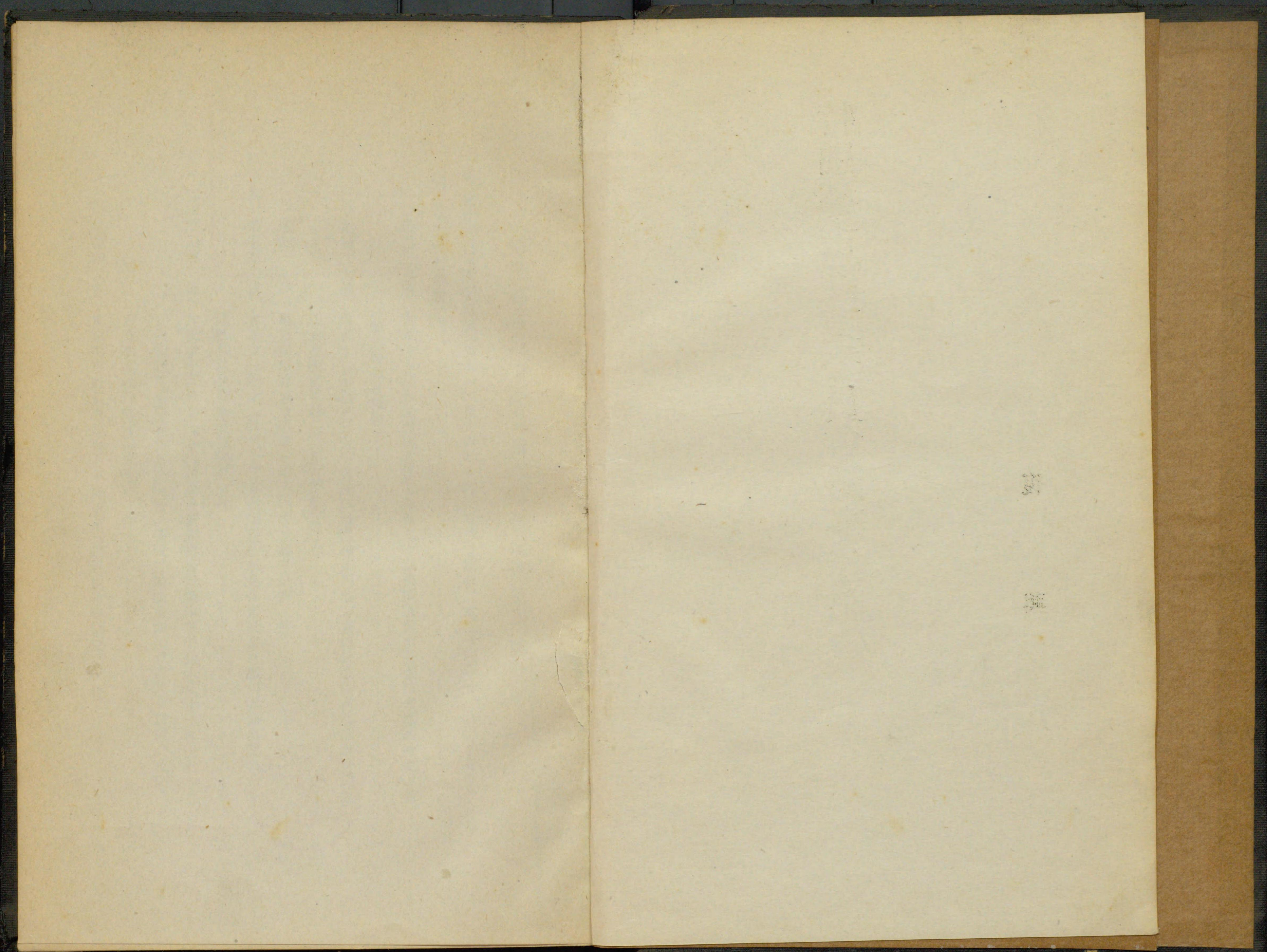
特別都市計畫委員會會議事速記錄

第六號

復

興

局



寄贈本

特別都市計畫委員會議事速記録第六號目次

特別都市計畫委員會委員席次(大正十四年七月二十八日現在、大正十四年十二月二日現在)……………一
議案…(圖面省略)……………一一

一、議第三六號 大正十一年八月內務省告示第九十三號橫濱都市計畫防火地區變更ノ件……………一一

(特別委員長報告)……………一一

二、議第三七號 大正十二年七月三十一日都市計畫神奈川地方委員會議決橫濱都市計畫地……………二四

域變更指定ノ件(特別委員長報告)……………二四

三、議第三九號 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件……………五〇

四、議第四〇號 大正十一年十二月二十三日內閣認可東京都市計畫目黒川改修事業執行年……………五八

限延長竝執行年度割變更ノ件……………五八

五、議第四一號 大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中竝大正十一年七月十二……………六一

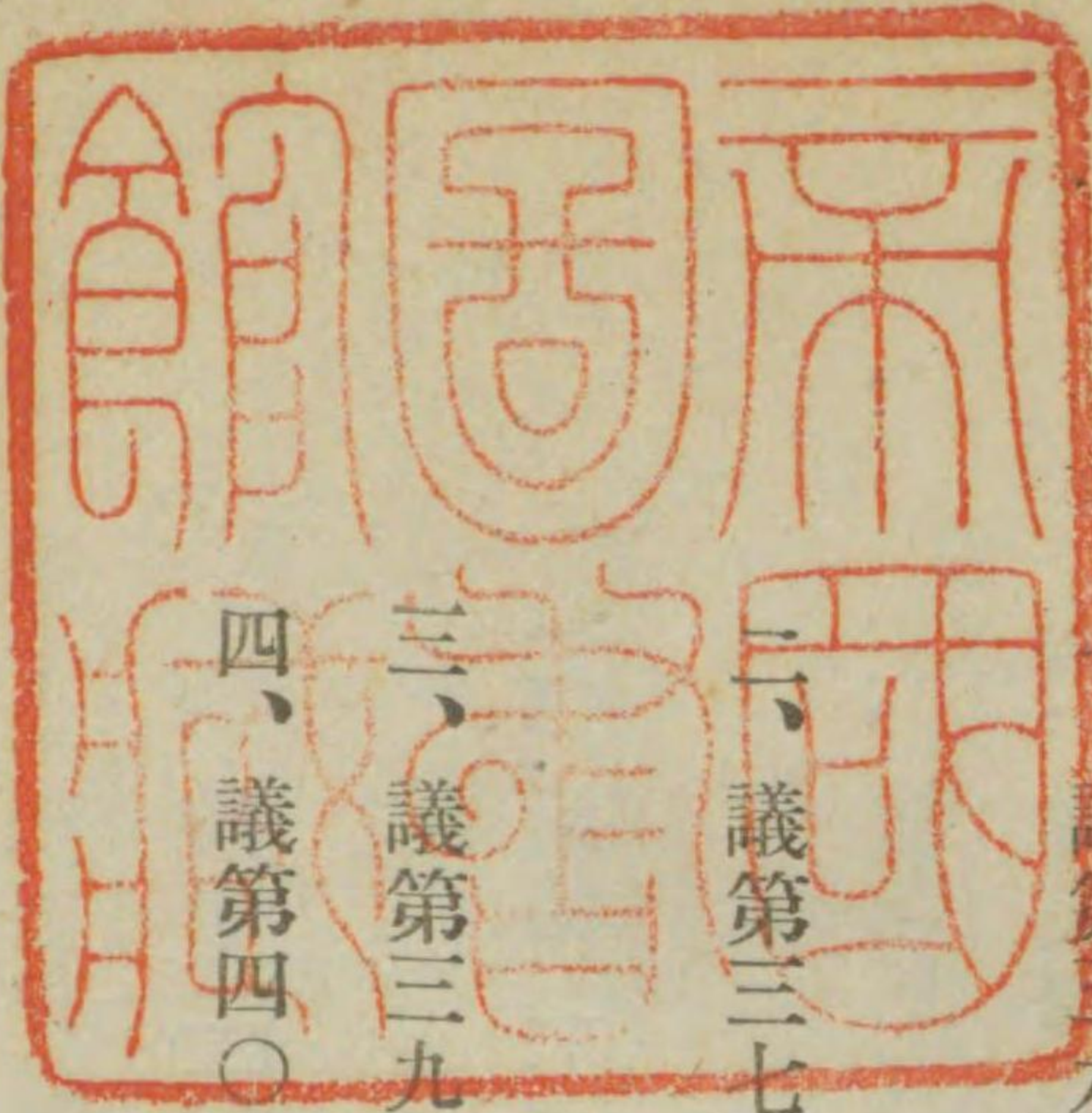
日內閣認可東京都市計畫街路ノ新設、擴張及河川、運河ノ新鑿、改修、……………六一

埋立事業執行年度割中變更ノ件……………六一

六、議第四二號 東京都市計畫東京市下水道(速成)事業執行年割決定ノ件……………六七

目次

一



七、議第四三號 大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件(隅田公園及錦糸公園關係)……………七〇

八、議第四四號 大正十三年三月十一日内閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件(第七號路線及第十五號路線關係)……………七一

第十一回總會議事(大正十四年七月二十八日開會)

一、議第三六號 大正十一年八月内務省告示第九十三號橫濱都市計畫防火地區變更ノ件(特別委員長報告)……………八〇

二、議第三七號 大正十二年七月三十一日都市計畫神奈川地方委員會議決橫濱都市計畫地域變更指定ノ件(特別委員長報告)……………八四

三、議第三九號 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件……………八八

四、議第四〇號 大正十一年十二月二十三日内閣認可東京都市計畫目黒川改修事業執行年限延長並執行年度割變更ノ件……………九三

五、議第四一號 大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中並大正十一年七月十二日内閣認可東京都市計畫街路ノ新設、擴張及河川、運河ノ新鑿、改修、埋立事業執行年度割中變更ノ件……………九四

518-101

六、議第四二號 東京都市計畫東京市下水道(速成)事業執行年割決定ノ件……………九八

七、議第四三號 大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件(隅田公園及錦糸公園關係)……………九九

八、議第四四號 大正十三年三月十一日内閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件(第七號路線及第十五號路線關係)……………九九

東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ニ關スル特別委員會第一回議事(大正十四年八月六日開會)

一、議第三九號 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件……………一〇一

東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ニ關スル特別委員會第二回議事(大正十四年八月十七日開會)

一、議第三九號 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件……………一三九

東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ニ關スル特別委員會第三回議事(大正十四年十二月五日開會)

一、議第三九號 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件……………一五三

第十二回總會議事(大正十四年十二月二日開會)

一、議第三九號 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件(特別委員長報告)……………一九二

二、議第四五號 東京都市計畫河川改修及其ノ事業執行年割決定ノ件(古川改修關係)……………一九六

三、議第四六號 大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事業……………

及其ノ執行年割中變更ノ件(隅田公園關係)

特別都市計畫委員會委員席次 (大正一四、七、二八日現在)

會長	若槻禮次郎
委員	

- | | |
|----|------------------|
| 一 | 從三位 勳二等男 爵斯波 忠三郎 |
| 二 | 從五位 渡邊 鐵藏 |
| 三 | 警視總監 太田 弘 |
| 四 | 貴族院議員 上山 滿之進 |
| 五 | 內務書記官 篠原 英太郎 |
| 六 | 東京市會議員 近藤 達兒 |
| 七 | 東京府會議員 久保 三友 |
| 八 | 宮內次官 關屋 貞三郎 |
| 九 | 內務省土木局長 堀切 善次郎 |
| 一〇 | 法制局長官 塚本 清治 |
| 一一 | 內務次官 湯淺 倉平 |



特別都市計畫委員會委員名

一二	商工次官男爵四	篠隆英
一三	東京府知事	字佐美勝夫
一四		
一五	東京府會議員	朝倉寅治郎
一六	東京市會議員	小坂梅吉
一七	正四位勳三等男爵中島	久萬吉
一八	遞信次官	桑山鐵男
一九		
二〇	神奈川縣知事	清野長太郎
二一	貴族院議員	澤柳政太郎
二二		
二三	勳四等	若尾璋八
二四	陸軍次官	鳩山一郎
二五	內務政務次官	津野一六輔
二六	貴族院議員	片岡直溫
		菅原通敬



二七	從七位勳四等	秋田清
二八	正五位勳六等	藤宮惟一
二九	神奈川縣會議員	河野治平
三〇	東京市會議員	磯部尙
三一	橫濱市長	有吉忠一
三二	貴族院議員	橋本圭三郎
三三	勳六等	井坂孝
三四	文部次官	松浦鎮次郎
三五	從三位勳二等	丹羽鋤彦
三六	正五位勳三等	吉植庄一郎
三七	東京市會議員	小島七郎
三八	正六位	藤山雷太
三九	衆議院議員	矢野鉉吉
四〇	橫濱市會議員	池田勝次郎
四一	東京市會議員	福田又一

四二	正四位 勳三等子爵大河內 正敏
四三	東京市長 中村是公
四四	海軍次官 大角岑生
四五	內務省地方局長 潮 惠之輔
四六	東京府會議員 大木 金兵衛
四七	正五位 勳三等 今村 明恒
四八	
四九	三木 武吉
五〇	鐵道省工務局長 後藤 佐彦
五一	從五位 大橋 新太郎
五二	鐵道次官 青木 周三
五三	大藏次官 田 昌
五四	內閣書記官長 江木 翼
五五	內務參與官 鈴木 富士彌
五六	神奈川縣會議員 池上 幸操

幹事

五七	橫濱市會議員 平沼亮三
五八	從五位 勳三等 原 富太郎
五九	司法次官 林 賴三郎
六〇	東京府會議員 中野 勇次郎
六一	片岡 安
六二	正七位 矢野恒太
六三	正五位 勳四等 佐野利器
六四	從四位 勳三等 松木 幹一郎
六五	正三位勳一等功二級 長岡 外史
六六	農林次官 阿部 壽準
六七	衆議院議員 太田 信治郎
六八	復興局長官 直木 倫太郎
復興局書記官 吉田 茂	
從五位 菊地 鎮三	

從六位 西村輝一

特別都市計畫委員會委員名

(大正一四、一二、二日現在)

會長

若槻禮次郎

委員

- 一 從三位 勳三等男爵 斯波 忠三郎
- 二 正五位 渡邊 鐵藏
- 三 警視總監 太田 政弘
- 四 貴族院議員 上山 滿之助
- 五 內務書記官 篠原 英太郎
- 六 東京市會議員 近藤 達兒
- 七 東京府會議員 久保 三友
- 八 宮內次官 關屋 貞三郎
- 九 內務省土木局長 次田 大三郎
- 一〇 法制局長官 山川 端夫
- 一一 內務次官 川崎 卓吉

- 一二 商工次官 男爵 四條 隆英
- 一三 東京府知事 平塚 廣義
- 一四
- 一五 京京府會議員 朝倉 寅治郎
- 一六 東京市會議員 小坂 梅吉
- 一七 正三位 勳三等男爵 中島 久萬吉
- 一八 遞信次官 桑山 鐵男
- 一九
- 二〇 神奈川縣知事 堀切 善次郎
- 二一 貴族院議員 澤柳 政太郎
- 二二 勳三等 若尾 璋八
- 二三 勳三等 鳩山 一郎
- 二四 陸軍次官 津野 一輔
- 二五 內務政務次官 俵 孫一
- 二六 貴族院議員 菅原 通敬

二七	從七位 勳四等	秋田清
二八	正五位 勳六等	藤宮惟一
二九	神奈川縣會議員	河野治平
三〇	東京市會議員	磯部 尙
三一	橫濱市長	有吉忠一
三二	貴族院議員	橋本圭三郎
三三	勳六等	井坂 孝
三四	文部次官	松浦 鎮次郎
三五	從三位 勳二等	丹羽 鋤彦
三六	正五位 勳三等	吉植 庄一郎
三七	東京市會議員	小島 七郎
三八	正六位 勳四等	藤山 雷太
三九	衆議院議員	矢野 鉉吉
四〇	橫濱市會議員	池田 勝次郎
四一	東京市會議員	福田 又一

四二	從三位 勳三等 子爵	大河內 正敏
四三	東京市長	中村 是公
四四	海軍次官	大角 岑生
四五	內務省地方局長	潮 惠之輔
四六	東京府會議員	大木 金兵衛
四七	從四位 勳三等	今村 明恒
四八	遞信省工務局長	稻田 三之助
四九	正五位	三木 武吉
五〇	鐵道省工務局長	後藤 佐彦
五一	從五位	大橋 新太郎
五二	鐵道次官	青木 周三
五三	大藏次官	田 昌
五四	內閣書記官長	塚本 清治
五五	內務參與官	鈴木 富士彌
五六	神奈川縣會議員	池上 幸操

五七	橫濱市會議員	平沼亮三
五八	從五位勳三等	原富太郎
五九	司法次官	林賴三郎
六〇	東京府會議員	中野勇治郎
六一		片岡安
六二	正七位	矢野恒太
六三	正五位勳四等	佐野利器
六四	從四位勳三等	松木幹一郎
六五	正三位勳一等功二級	長岡外史
六六	農林次官	阿部壽準
六七	衆議院議員	太田信次郎
六八	營繕管財局理事	太田嘉太郎
六九	東京市參與	大道良太
七〇	東京市局長	牧彦七
七一	復興局長官	清野長太郎

幹事

復興局書記官	岡田周造
同	廣瀬久忠
復興局事務官	大島辰次郎
從六位	西村輝一

議案

議第三六號

一、大正十一年八月內務省告示第九十三號橫濱都市計畫防火地區變更ノ件

官計發第四二號

特別都市計畫委員會

大正十一年八月內務省告示第九十三號橫濱都市計畫防火地區左ノ通變更セムトス
右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

大正十四年三月九日

內務大臣 若槻禮次郎

一、甲種防火地區

イ 左記區域内ニ在ル建築敷地

- 一 海岸通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、北仲通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、元濱町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

- 二 山下町、本町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目ノ一部（圖面表示）

ロ、左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ト之ヨリ六間ヲ後退セル線トノ間ニ在ル建築敷地但シ横濱公園ニ屬スル部分ヲ除ク

- 一 本町四丁目六十一番地々先ヨリ吉田橋及長者町六丁目五十七番地ノ「ハ」地先ヲ經テ南吉田橋東詰ニ至ルノ路線
- 二 太田町六丁目百番地地先ヨリ境町一丁目二十七番地地先及山下町九十番地ノ甲地先ヲ經テ同町七十八番地地先ヲ左折シ同町七十九番地地先ニ至ルノ路線
- 三 山下町百八十五番地地先ヨリ前田橋北詰ニ至ルノ路線
- 四 山下町百五十五番地ノ甲地先ヨリ西ノ橋北詰ニ至ルノ路線
- 五 大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫街路（以下單ニ都市計畫街路ト謂フ）第十號路線
- 六 都市計畫街路第四號路線ノ内大江橋南詰ヨリ港橋東詰迄

- 七 都市計畫街路第七號路線ノ内長者橋南詰ヨリ千秋橋南詰終點迄及同路線終點ヨリ車橋北詰ニ至ルノ路線

- 八 本町一丁目五番地地先ヨリ尾上町一丁目五番地地先ニ至ルノ路線

- 九 本町一丁目一番地ノ一地先ヨリ境町二丁目三十六番地ノ「イ」「ロ」號地先ニ至ルノ路線

- 十 山下町七十番地ノ丙地先ヨリ花園橋及扇橋ヲ經テ長者町一丁目十四番地ノ一地先ニ至ルノ路線

- 十一 都市計畫街路第二號路線ノ内辨天橋東詰起點ヨリ本町四丁目都市計畫街路第三號路線接合點迄、都市計畫街路第三號路線ノ内本町四丁目起點ヨリ同三丁目四十五番地地先迄及本町三丁目四十五番地地先ヨリ山下町八十八番地ノ甲地ニ至ルノ路線

- 十二 境町二丁目四十番地地先ヨリ山下町百八十四番地地先ニ至ルノ路線

ハ、左記建築線ト之ヨリ六間ヲ後退セル線トノ間ニ在ル建築敷地

横濱驛前都市計畫街路第十號路線終點ヨリ大江橋北詰ニ至ル道路ノ西側ニ在ル建築線

- 二 前項ニ掲クル路線ニシテ横濱都市計畫トシテ決定シタル街路ノ一部若ハ全部ニ一致スル部分ハ之ニ依ル

橫濱都市計畫防火地區指定變更理由書

橫濱都市計畫區域内ニ於ケル市街地建築物法ニ依ル防火地區ノ指定ハ去ル大正十一年八月一日内務省告示第百九十三號ヲ以テ告示シ同年九月一日ヨリ施行セシカ爾來年ヲ閱スルコト僅ニ一歲ニシテ大震災ノ襲フ所トナリ主要市街地ノ大半焦土ト化シ之ニ因リテ生シタル生命財産ノ喪失ノ莫大ナリシコト蓋シ開港以來其ノ例ヲ見ス帝都ノ關門一時全ク其ノ用ヲ爲ササルニ至レリ之カ原因ハ地震ノ強大、地盤ノ軟弱等種々アルヘシト雖畢竟スルニ其ノ主因ハ法規ヲ以テ規定セラレタル防火的構造建築物ニ依ル地區ノ完成未タ其ノ緒ニ孰キシノミナリシニ因ル

茲ニ這般ノ災禍ノ跡ニ鑑ミ且復興施設ノ計畫ヲ參酌シ指定地區ノ變更ヲ行ヒ或ハ乙種防火地區ヲ廢シ或ハ一團地ノ甲種防火地區ノ範圍ヲ改メ或ハ路線式甲種防火地區ノ數ヲ増シ以テ火災ヲ未然ニ防キ延焼區域ヲ縮小シ將來ノ災害ニ備ヘムトス

議第三七號

一、大正十二年七月三十一日都市計畫神奈川地方委員會會議決橫濱都市計畫地域變更指定ノ件

官計發第五七號

特別都市計畫委員會

大正十二年七月三十一日都市計畫神奈川地方委員會會議決橫濱都市計畫地域左ノ通變更ノ上指定セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

大正十四年三月十四日

内務大臣 若槻禮次郎

(黒書ハ神奈川地方委員會會議定テ
朱書ハ變更ヲ示ス)

橫濱都市計畫商業地域、工業地域及住居地域

第一 商業地域之部

イ 左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地

本町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目ノ全部

元濱町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

海岸通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目ノ全部

北仲通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目ノ全部

境町一丁目、同二丁目ノ全部

南仲通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目ノ全部

辨天通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目ノ全部

太田町二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目ノ全部
 相生町二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目ノ全部
 住吉町二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目ノ全部
 常盤町二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目ノ全部
 尾上町二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目ノ全部
 真砂町二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部
 港町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目ノ全部

新港町ノ全部

元町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目ノ一部 (圖面表示)
 石川町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目ノ全部
 石川仲町三丁目、同六丁目ノ全部
 石川仲町一丁目、同二丁目、同四丁目、同五丁目、同七丁目ノ一部 (圖面表示)
 山元町一丁目、同二丁目ノ全部
 千代崎町一丁目、同二丁目ノ全部
 上野町ノ一部 (圖面表示)

山下町ノ全部

新山下町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部
 山手町ノ一部 (圖面表示)
 吉田町一丁目、同二丁目ノ全部
 柳町ノ全部
 福富町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部
 長者町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目ノ全部
 姿見町一丁目、同二丁目ノ全部
 若竹町ノ全部
 浪花町ノ全部
 松ヶ枝町ノ全部
 梅ヶ枝町ノ全部
 伊勢佐木町一丁目、同二丁目ノ全部
 蓬萊町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

羽衣町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

若葉町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

賑町一丁目、同二丁目ノ全部

末吉町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、**同七丁目**ノ全部

長島町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、**同七丁目**ノ全部

吉岡町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、**同七丁目**ノ全部

山吹町一丁目、同二丁目ノ全部

久方町一丁目、同二丁目ノ全部

雲井町一丁目、同二丁目ノ全部

足曳町一丁目、同二丁目ノ全部

富士見町一丁目、同二丁目ノ全部

山田町一丁目、同二丁目ノ全部

千歳町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

三吉町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目ノ全部

永樂町一丁目、同二丁目ノ全部

真金町一丁目、同二丁目ノ全部

駿河町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

萬代町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

不老町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

翁町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目ノ全部

扇町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目ノ全部

壽町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

松影町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目ノ全部

吉濱町ノ全部

野毛町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

野毛町四丁目ノ一部 (圖面表示)

宮川町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

花咲町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、

同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目ノ全部

戸部町四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目ノ全部

戸部町二丁目、同三丁目、同四丁目ノ一部（圖面表示）

伊勢町三丁目、同四丁目、同五丁目ノ一部（圖面表示）

福島町ノ全部

緑町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四番地、同五番地ノ全部

高島町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、

同九丁目、同十丁目ノ全部

高島町二丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目ノ一部

表高島町ノ全部

裏高島町一丁目、同二丁目ノ一部ノ全部

櫻木町二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目ノ全部

櫻木町一丁目ノ一部（圖面表示）

内田町五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目ノ全部

橘町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

日出町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

初音町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

三春町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

黄金町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

清水町ノ全部

霞町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

英町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

平沼町二丁目、同三丁目ノ全部

平沼町一丁目、同三丁目、同四丁目ノ一部（圖面表示）

材木町一丁目、同二丁目ノ全部

仲町一丁目、同二丁目ノ全部

西戸部町字西ノ前、同字横枕、同字扇田、同字宮ノ前、同字御所、同字石崎、同字反目ノ全部

西戸部町字石崎、同字扇田、西戸部町字鹽田、同字反目、同字宮ノ前、同字西ノ原、同字池ノ

坂ノ一部（圖面表示）

南太田町字前里耕地ノ全部

南太田町字西中耕地、南太田町字東耕地ノ一部（圖面表示）

南吉田町字北七ツ目、同字北六ツ目、同字北五ツ目、南吉田町字南四ツ目ノ全部

南吉田町字西川外、同字南七ツ目、同字南六ツ目、同字南五ツ目、同字南川外ノ一部(圖面表示)

久保町字關面ノ全部

久保町字鹽田、同字反町、同字道上、同字外荒具ノ一部(圖面表示)

尾張屋町ノ一部(圖面表示)

西平沼町ノ一部(圖面表示)

大野町ノ全部

林町ノ全部

寶町ノ全部

神奈川町字西ノ町、同字仲ノ町、同字九番町、同字十番町、同字獵師町、同字小傳馬町、同字御殿町、同字飯田町、同字二ツ谷町、同字柳町、同字平尾前ノ全部

神奈川町字立町、神奈川町字神明町、同字新町、同字浦島町、同字富家町、同字稻荷町、同字中川ノ一部(圖面表示)

青木町字瀧ノ町、同字久保町、同字宮ノ町、同字元町、同字横町、同字太田町、同字瀧下町、同字宮洲町、同字宮洲、同字七軒町二丁目、同字七軒町代地ノ全部

青木町字七軒町、同字下臺町、同字上臺町、同字東輕井澤、同字幸ヶ谷、同字反町、同字廣臺

同字内海、同字鶴屋町、同字臺町下、同字松本ノ一部(圖面表示)

淺間町字追分ノ全部

淺間町字淺間下、同字神明下、同字霜下、同字鹿島、同字社宮司ノ一部(圖面表示)

山内町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

子安町字海道通ノ全部 一部(圖面表示)

本牧町字上臺、同字臺、同字箕輪下、同字矢、同字一ノ谷、同字向、同字二ノ谷ノ一部(圖面表示)

北方町字泉、同字上野、同字西ノ谷、同字小湊、同字竹ノ花ノ一部(圖面表示)

中村町字西、同字道場、同字相澤ノ全部

中村町字彌八ヶ谷、中村町字山田、同字中村、同字八幡、同字中居、同字東、同字打越、同字谿ノ一部(圖面表示)

根岸町字相澤、同字麥田ノ全部

根岸町字猿田、同字西竹ノ丸、同字立野、同字廣地、同字立野、竹ノ丸鷺山ノ一部(圖面表示)
瀧頭町字岩瀨ノ全部

磯子町字濱、同字間坂、同字廣地、同字腰越ノ一部(圖面表示)

岡村町字仲ノ町ノ一部(圖面表示)

堀内町字石島ノ全部

蒔田町字宮ノ脇、同字三反田、同字六反田、同字廻リ坪、同字居尻、同字榎木坪、同字町田、

同字雜色、同字山ノ根、同字門田、同字東谷、同字五反田、同字八反田ノ全部

蒔田町字矢畑、蒔田町字一本松、同字堂面、同字井領田、同字宿、同字一ノ坪、同字三反田、

同字居尻、同字六反田、同字廻リ坪ノ一部(圖面表示)

大岡町字鱒袋、同字釜田、同字大橋詰、同字中島、同字樋ノ口、同字宮ノ前ノ一部(圖面表示)

ロ(一) 左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地

一 神奈川町字二本榎二千八百五番地ノ「イ」地先ヨリ同字齋藤分郡市境界三千五十番地イ號地先ニ至ルノ路線

大正十三年三月十一日內閣認可橫濱都市計畫街路(以下單ニ都市計畫街路ト謂フ)第十四

二 青木町字七軒町五十四番地ノ「地」先、鐵道跨線橋西詰ヨリ字止臺町ヲ經テ淺間町字淺間下

號ノ内青木町字下臺町三千六百十五番地ノ「ト」ノ「二」地先ヨリ淺間町字社宮司終點迄

五十四番地々先ト至ルノ路線

三 山手町山手本町通二百十六番地ノ「二」地先ヨリ同二百二十四番地ノ「乙」地先ニ至ルノ路線

都市計畫街路第十三號ノ内南太田町字西中耕地千七百四十二番地ノ「イ」地先ヨリ井土ヶ谷

四 井土ヶ谷町字高免五百五十一番地々先ヨリ字八反目ヲ經テ字町田百五番地ノ「地」先郡市境

町字川田終點迄及同路線終點ヨリ同字法心下百八十九番地ノ「二」地先ヲ左折シ同字町田百五

界ニ至ルノ路線

番地ノ「二」地先市郡境界ニ至ルノ路線

都市計畫街路第三號ノ内蒔田町字西八十五番地ノ「地」先ヨリ大岡町高等工業學校前終點迄

五 蒔田町字西八十五番地ノ「地」先ヨリ大岡町字宮ノ前、字力者町ヲ經テ字千保郡市境界ニ至

及同路線終點ヨリ大岡町字千保千三百十六番地々先市郡境界ニ至ルノ路線

ルノ路線

六 元町二丁目百七番地々先ヨリ山手町七十四番地先ニ至ルノ路線

七 上野町十四番地口號地先ヨリ上野町十二番地々先ニ至ルノ路線

都市計畫街路第七號ノ内野毛町四丁目百九十七番地々先ヨリ伊勢町三丁目八十九番地ノ「二」

八 戸部町一丁目二十一番地ノ「地」先ヨリ西戸部町字池ノ坂九百九十四番地ノ「地」先ヲ經テ久

地先迄及伊勢町三丁目八十九番地ノ「二」地先ヨリ西戸部町字池ノ坂九百九十五番地ノ「二」地先

俣町字大谷七百八十三番地々先ニ至ルノ路線

ニ至ルノ路線

戸部町三丁目六十一番地ノ一地先ヨリ同番地々先ヲ左折シ同二丁目二十二番地々先ニ至ル

九 片部町三丁目六十一番地ノ一地先ヨリ野毛町四丁目百七十六番地々先ニ至ルノ路線但シ野

ノ路線

毛町四丁目百八十七番地イ號地先ヨリ同四百九十七番地々先ニ至ル路線ノ同番地側ハ之ヲ

除ク

十 上野町十三番地ノ一地先ヨリ北方町字上野六百三十五番地ノ一地先ニ至ルノ路線

十一 都市計畫街路第一號ノ内久保町字道上千五百五十二番地ノ一地先ヨリ同千五百二十八番地々先迄

十二 本牧町字臺百四十五番地ノ一地先ヨリ同百四十六番地々先ニ至ルノ路線、都市計畫街路第四號ノ内本牧町字臺百四十六番地々先ヨリ同字原終點迄及同路線終點ヨリ本牧町字矢二千四百九十四番地「イ」ノ一地先ニ至ルノ路線

十三 都市計畫街路第五號ノ内神奈川町字鳥越千九百七十二番地々先ヨリ市郡界六角橋南詰終點迄

十四 都市計畫街路第六號ノ内西戸部町字鹽田千二百四十六番地ノ一地先ヨリ淺間町字鹿島六百十六番地ノ二地先市郡境界迄

十五 都市計畫街路第八號ノ内南太田町字谷戸耕地二百七十番地々先市郡境界ヨリ井土ヶ谷町字川田起點迄及都市計畫街路第十八號ノ内井戸ヶ谷町字川田起點ヨリ大岡町字大橋詰四十九番地々先迄

十六 都市計畫街路第十二號

十七 都市計畫街路第十六號ノ内子安町字七島百十三番地々先ヨリ同字神ノ木終點迄

十八 都市計畫街路第十九號ノ内千歳橋西詰ヨリ南吉田町字南六ツ目終點迄

十九 都市計畫街路第二十號ノ内中村町字西谷ノ起點ヨリ南吉田町字南六ツ目三百八十六番地ノ「ロ」地先迄及南吉田町字北六ツ目百七十二番地々先ヨリ南太田町字西中耕地終點迄

二十 都市計畫街路第二十一號ノ内本牧町字小湊起點ヨリ同百七十九番地々先迄

二十一 都市計畫街路第二十二號ノ内蒔田町字井領田二百九十二番地々先ヨリ南太田町字清水耕地終點迄

二十二 西戸部町字西ノ原千五百五十六番地々先ヨリ久保町字大谷七百八十三番地ノ一地先ニ

至ルノ路線

二十三 大岡町字樋ノ口五百十二番地ノ二地先ヨリ觀音橋ヲ經テ弘明寺町字前田百三十三番地
々先ニ至ルノ路線

二十四 青木町字反町五百五十一番地ノ二地先ヨリ同字反町五百二十三番地々先ニ至ルノ路線

二十五 礪子町字禪馬二十番地ノ三地先ヨリ同字濱千六百四十五番地ノ乙地先ニ至ルノ路線

二十六 礪子町字濱千六百八十六番地ノ十地先「華名橋西詰」ヨリ礪子町字間坂千六百六十六
番地ノ十八地先市郡境界ニ至ルノ路線

左記建築線ニ接スル建築物ノ敷地

(二) 左記道路ノ片側(記載番地側)ニ於ケル建築線ニ接スル建築敷地

一 石川仲町四丁目八十九番地々先ヨリ中村町字谿千五百二十六番地イ號ノ一地先ニ至ルノ路
線道路ノ西側ニ於ケル建築線

二 止野町十三番地ノ一地先ヨリ北方町字上野六百三十五番地ノ一地先ニ至ルノ路線
々先ニ至ル道路ノ東側ニ於ケル建築線

三 西戸部町字御所百四十七番地ノロ號地先ヨリ同字宮ノ前五百八十一番地々先ニ至ルノ路線

四 青木町字反町五百五十一番地ノ二地先ヨリ同字反町五百二十三番地々先ヲ經テ同字松本千
二百八十七番地々先ニ至ルノ路線

線

五 本牧町字矢二千六百十四番地ノ一地先ヨリ同字矢二千四百九十四番地ノ一地先ニ至ルノ路
線

六 北方町字小湊一番地「イ」ノ四地先ヨリ同百十七番地イ號地先ニ至ルノ路線

七 礪子町字禪馬三番地ノ四地先ヨリ同二十番地ノ三地先ニ至ル道路ノ北側ニ於ケル建築線

八 礪子町字禪馬三番地ノ四地先ヨリ礪子町字濱千六百四十五番地乙イ號地先ニ至ルノ路線

九 礪子町字濱千六百八十六番地ノ十地先「華名橋西詰」ヨリ礪子町字間坂千六百六十六番地ノ
十八地先「郡市境界」ニ至ルノ路線

ハ 左記専用軌道又ハ之ニ沿フ道路ニ接スル建築物ノ敷地

一 本牧町字臺百四十五番地ノ一地先ヨリ字箕輪下ヲ經テ字原千二百三十七番地ノ二地先ニ至
ルノ路線但シ字宮原ニ屬スル部分ヲ除ク

二 本牧町字矢二千六百二十四番地ノ一地先ヨリ同字一ノ谷三千九百九十八番地ノ一地先
ニ至ルノ(未設)路線

第二、工業地域之部

左記区域内ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域之部ニ掲クルモノヲ除ク

平沼町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部
入船町ノ全部

材木町一丁目、同二丁目ノ全部

仲町一丁目、同二丁目ノ全部

長住町ノ全部

高島町三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目ノ全部

高島町二丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目ノ全部

裏高島町二丁目ノ全部

裏高島町一丁目ノ全部

櫻木町一丁目ノ全部

内田町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

末吉町七丁目ノ全部

長島町七丁目ノ全部

吉岡町七丁目ノ全部

西戸部町字石崎、同字扇田、西戸部町字鹽田ノ全部

南太田町字清水耕地、同字富士見耕地、同字上耕地、同字西中耕地ノ一部 (圖面表示)

南吉田町字西川外、同字南七丁目、同字南六丁目、同字南五丁目、同字南川外ノ一部、同字北五

丁目、同字六丁目、同字北七丁目ノ全部

岡野町ノ全部

西平沼町ノ全部

尾張屋町ノ全部

久保町字殿田、同字宮下、同字寺下、同字反町、同字鹽田ノ全部

久保町字鹽田、同字反町、同字道上ノ一部 (圖面表示)

神奈川町字棉花町、同字渡邊、同字浦島町、同字富家町、同字新町、同字稻荷町、同字神明町ノ全部

神奈川町字中丸、同字浦島丘、同字立町、同字神明町、同字新町、同字浦島町、同字富家町、同字稻荷町ノ一部 (圖面表示)

青木町字内海、同字鶴屋町、同字北幸町、同字南幸町、同字臺町下ノ全部

青木町字下臺町、同字東輕井澤ノ一部 (圖面表示)

淺間町字霜ノ下、同字大新田、同字社宮司、同字鹿島、同字神明下、同字淺間下ノ全部

淺間町字淺間下、同字神明下ノ一部

寶町ノ全部

大野町ノ全部

星野町ノ全部

林町ノ全部

橋本町一丁目、同二丁目、同三丁目、同町地先埋立地ノ全部

新浦島町一丁目、同二丁目ノ全部

千若町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

守屋町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目ノ全部

子安町字海道通ノ全部

子安町字溝下、同字神ノ木、同字大口、同字七島ノ一部(圖面表示)

中村町字西ノ谷、同字池ノ下ノ全部

中村町字彌八ヶ谷ノ一部ノ全部

根岸町字分田、同字廣地ノ全部

根岸町字廣地、根岸町字上、同字馬場、同字坂下、同字下、同字西芝生ノ一部(圖面表示)

瀧頭町字原、同字濱、同字上江、同字北田、同字廣地ノ全部

磯子町字禪馬ノ一部(圖面表示)

堀内町字女坂、同字新川、同字富士塚、同字石島ノ全部

堀内町字荒島、同字柿ヶ谷ノ一部(圖面表示)

蒔田町字井領田、同字耕地、同字一本松、同字矢畑、同字下ノ前、同字宿、同字蒔田橋、同字一

ノ坪、同字山ノ根、同字門田、同字三反田、同字居尻、同字東谷、同字五反田、同字榎木坪、同

字六反目、同字廻リ坪、同字町田、同字八反目、同字雜色、同字堂面ノ全部

蒔田町字矢畑、同字一本松、同字堂面ノ一部

井土ヶ谷町字八反目、同字川田、同字沖田、同字久傳、同字南橋、同字宿村、同字高免、同字下

ノ前、同字宮ノ前、同字宿ノ前、同字矢ノ全部

井土ヶ谷町ノ全部但シ同字山ノ根ノ全部ヲ除ク

大岡町字鱒袋、同字樋ノ口、同字北ノ前ノ全部

大岡町字釜田、同字大橋詰、同字中島、同字前田、同字堰ノ上ノ一部(圖面表示)

弘明寺町字北ノ前ノ一部(圖面表示)

第三、住居地域之部

左記區域内ニ在ル建築物

敷地但シ第一商業地域

之部及

第二工業地域之部ニ掲クルモノヲ除ク

横濱市ノ全部

元町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、石川仲町一丁目、同二丁目、同四丁目
 同五丁目、同七丁目、諏訪町、上野町、山手町、野毛町四丁目、戸部町一丁目、同二丁目、同三
 丁目、同四丁目、伊勢町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、老松町一丁目、同
 二丁目、月岡町、宮崎町、西戸部町、南太田町、久保町、神奈川町、青木町、淺間町、子安町
 「但シ字七島、字大口、字溝下、字神ノ木ノ一部ヲ除ク」本牧町、北方町、中村町、根岸町、瀧頭
 町、磯子町、岡村町、堀内町、蒔田町「但シ字一ノ坪、字宿、字下ノ前、字蒔田橋ノ全部ヲ除ク」
 井土ヶ谷町字山ノ根、大岡町「但シ字釜田、字鱒袋ノ全部及字大橋詰、字中島ノ一部ヲ除ク」弘明
 寺町ノ全部

第四、第一項ニ掲クル路線ニシテ横濱都市計畫トシテ決定シタル道路ノ一部若ハ全部ニ一致スル部分
 ハ之ニ依ル

横濱都市計畫住居地域、商業地域、工業地域指定變更理由書

横濱都市計畫區域内ニ於ケル市街地建築物法ニ依ル住居、商業、工業三種地域ノ指定ニ關シテハ曩ニ
 大正十二年三月二十八日都市計畫神奈川地方委員會ニ付議シ同委員會ニ於テハ同年七月三十一日ノ會
 議ニ於テ之ヲ議定シタルヲ以テ將ニ内閣ノ認可ヲ得テ指定セムトシタルニ俄然九月一日ノ大震火災ニ
 遭遇シ主要市街地ノ大半烏有ニ歸シ横濱市ノ現状ニ激變ヲ來シタルト共ニ一方街路、公園、運河ノ新
 設改修等都市計畫ノ施設新ニ決定シ水陸通運機關ノ狀勢亦多少ノ變化ヲ生シタリ茲ニ曩ニ議定セラレ
 タル地域ノ一部ヲ變更シテ各種地域ノ位置ヲシテ一層其ノ性質ニ適應セシメムトスルモノナリ

横濱都市計畫住居地域、商業地域、工業地域指定變更理由細説

市内ニ於ケル各種地域ノ概括的配置ニ付テハ震火災ノ有無ニ拘ラス自ラ定マル處アリ市ノ南方山手、
 本牧、根岸、岡村、磯子方面一帯。西方西戸部、久保、南太田方面一帯並北方青木、神奈川、子安方
 面一帯ノ高地ハ住居地域ニ。市ノ中央所謂關内關外ヲ初メ大岡川流域一帯並北方神奈川町一帯ノ平地
 ハ商業地域ニ。又子安、神奈川海岸埋立地、岡野方面帷子川流域及大岡川上流並堀割川沿岸ノ低地ハ
 之ヲ工業地域ニ指定スヘキハ沿革ヨリスルモ地勢ヨリスルモ變更ヲ要スヘキ理由ナク斯ル地域ノ選定
 ニ關スル大體方針ニ關シテハ殆ト變更ヲ要スルモノナクシテ克ク地域制ノ原則ニ照應スルコトヲ得ヘ

シ唯曩ニ選定シタル地域ノ中(一)各種地域相互ノ境界ニ於テ都市計畫街路線ニ依レルモノノ異動(二)土地區劃整理ノ施行ニ依リ土地ノ狀況ニ變化ヲ來スヘシト認メラルル地方ニ就キ各種地域ノ範圍ヲ異動シタルモノ(三)住居地域又ハ工業地域内ニ存在スル路線の商業地域ニシテ都市計畫街路ノ新設變更ニ伴ヒ異動シタルモノノ如キ孰レモ震災後決定シタル都市計畫ノ施設ニ準據スル局地的變更ニ止マルモノニシテ又已ムヲ得サルニ出ツルモノナリ。尙イ裏高島町、平沼町、岡野町方面ノ一部ハ或ハ都市計畫街路ノ新設決定シタルアリ或ハ鐵道線路並横濱驛ノ移動スルアリ之ニ伴ヒ市街ノ狀勢一變シテ重要ナル商業地ト爲ルヘキコト蓋シ明瞭ナルヘシ因テ工業地域ヲ商業地域ニ變更シ、(ロ)青木町字松本ノ一部ハ西戸部町字御所附近並北方町ノ一部ハ災後ノ發展顯著ナルヲ以テ住居地域ヲ商業地域ニ變更シ以テ將來發展ニ順應セシメムトスルモノナリ、(ホ)子安町入江川流域並(井土ヶ谷方面大岡川上流域ニ於ケル未指定ノ部分ハ該地域ノ内外ニ亘リ都市計畫ニ依リ街路ノ新設、改修決定シタルヲ以テ將來交通運輸ノ機關一層完備セラルヘキモノト豫想シ蒔田町、南太田町、南吉田町等ノ一部ト共ニ工業地域ニ變更セムトスルモノナリ。

斯クノ如クニシテ各地域面積ノ分配ノ如キハ變更極メテ少ク唯未指定地域ヲ除キタルノ外曩ニ議定シタルモノト大差ナシ、各其ノ面積ヲ北較スレバ概略左ノ如シ

一 市街地建築物法適用區域内各種地域比較表

地域別	面積	積(坪)	全面積ニ對スル百分比	
			曩ニ議定セラレタルモノトノ比較	全面積ニ對スル百分比
住居地域	約 六、六五〇、〇〇〇	五八・〇	一六〇・〇〇〇減	一・五減
商業地域	約 三、〇〇〇、〇〇〇	二六・二	二一〇、〇〇〇増	一・九増
工業地域	約 一、八一〇、〇〇〇	一五・八	一九〇、〇〇〇増	一・七増
未指定地域	—	—	二四〇、〇〇〇減	二・一減
計	約 一一、四六〇、〇〇〇	一〇〇・〇	—	—

二 都市計畫區域全部指定豫定比較表

地域別	面積	積(坪)	全面積ニ對スル百分比	
			曩ニ議定セラレタルモノトノ比較	全面積ニ對スル百分比
住居地域	約 三、二四八〇、〇〇〇	六七・三	一六〇、〇〇〇減	〇・三減
商業地域	約 四、七七〇、〇〇〇	九・九	二一〇、〇〇〇増	〇・四増
工業地域	約 八、一五〇、〇〇〇	一六・九	一九〇、〇〇〇増	〇・四増
未指定地域	約 二、八六〇、〇〇〇	五・九	二四〇、〇〇〇減	〇・五減
計	約 四八、二六〇、〇〇〇	一〇〇・〇	—	—

橫濱都市計畫住居地域商業地域並工業地域指定理由書(大正十二年三月神奈川地方委員會付議理由書)

地域ノ設定ハ現代都市計畫ノ基本的事項ニシテ土地ノ發達ノ性質之ニ依リテ定マリ百般ノ施設ノ計畫之ニ依リテ其ノ則ル所ヲ知ル

曩ニ橫濱都市計畫區域ノ決定ヲ見タルヲ以テ茲ニ各種地域ノ指定ヲ爲サムトス

地域ノ設定ハ都市計畫區域ノ全部ニ亘ルヲ以テ原則トスト雖モ橫濱ニ於テハ其ノ設定カ據ツテ以テ效果ヲ實現スヘキ市街地建築物法ノ適用範圍ハ今尙橫濱市内ニ限ラルルヲ以テ指定ノ範圍モ亦自ラ之ニ限ラル自餘ノ區域ニ對シテハ該法適用範圍ノ擴張ニ伴ツテ指定ヲ爲サムコトヲ期スルモノナリ

然レトモ元來都市計畫上ニ於ケル地域ノ設定ハ都市計畫區域全部ニ對スル大體方針ヲ定メテ然ル後ニ初メテ其ノ一部タル市内ノ地域ノ合理的指定ハ行ハルヘキモノナルヲ以テ今回指定セムトスル市内ノ地域選定ニ當リテモ亦同時ニ都市計畫區域全部ニ指定セラルヘキ豫想的地域ノ位置ト相照應シテ綜合的考慮ノ下ニ立案セラレタルモノタルヤ論ナシ

各種地域カ其ノ位置ニ對シテ要望スル所ノ特徴ハ住居地域ニ於テハ安靜快適ニ在リ、商業地域ニ於テハ繁榮利便ニ在リ、工業地域ニ於テハ生産能率ノ増進ニ在リ、故ニ其位置ノ選定ハ土地發達ノ現狀及沿革、地勢、天象、水陸通運機關ノ現狀其ノ他各般ノ天然の並人爲的條件ヲ綜合斟酌シテ最モ多ク各種地域カ要望スル所ノ特徴ヲ満足セシムルヲ期スヘシ

今橫濱市ノ狀態ヲ大觀スルニ市ノ南方山手、本牧、根岸、岡村、磯子方面一帯ノ高地、西方西戸部、久保、南太田ニ亘ル一帯ノ高地並北方青木、神奈川、子安方面一帯ノ高地ハ丘陵起伏スト雖モ概ネ土地高燥風物快適ニシテ土地ノ現狀亦主トシテ住宅ノ用地ニ供セラルルヲ以テ之ヲ住宅地域ト定ムヘシ市ノ中央所謂關内關外及之ニ連ル大岡川流域一帯ノ平地ハ素ヨリ中樞商業地域タルヘク又神奈川町ノ大部分及之ニ接續スル青木町、子安町ノ低地ハ土地發達ノ現況及將來築港完成後發展ノ豫想ヨリスルモ之ヲ商業地域ト定ムヘシ

工業地域ハ之ヲ南北ノ二團地ニ相ス、北方ニ於テハ子安、神奈川ノ海岸埋立地及平沼、岡野方面ノ帷子川流域一帯ニ連ル低地、南方ニ於テハ大岡川上流並堀割川ニ沿フ低地ニシテ水陸運輸ノ利ヲ占メ土地ノ現況亦既ニ工場ノ用地トシテ開發セラレタル所多ク將來ニ於ケル通運ノ施設モ亦之ヲ整備スルニ難カラス

地域ノ位置ノ選定ニ關スル如上ノ大體方針ハ地域制ノ原則ニ照シテ大過ナキヲ信スト雖モ更ニ之ヲ都市ノ實情ニ適應セシムルカ爲ニハ其ノ設定ニ尙幾多ノ工夫ヲ要スルモノアリ、即チ商業地域ニ就キテハ前記ノ外既ニ局地的商業ノ中心ヲ形成セル小團地ハ之ヲ商業地域トシテ配在セシムルコトニ依リテ住居日常ノ利便享樂ニ備ヘ且土地利用實情ニ適セシムルモノナリ、即チ現戸部町ノ低地、新山下町、本牧町、磯子町ノ海岸地、根岸北方二町ニ亘ル丘陵間ノ窪地等ハ其ノ例ナリ

又住居地域其ノ他ニ於テモ主要ナル商業街路ニ就キテハ其ノ兩側一帯ノ建築敷地ヲ商業地域トスルコトニ依リテ沿線商業繁榮ヲ保護シ得ヘシ

市街建築物法ニ依レハ其ノ適用区域内ニ地域トシテ指定セラレサル部分ヲ殘存シ得ヘシ、之ヲ假ニ未指定地域ト名ツクレハ此ノ地域ニ於テハ工場ニシテ法規ニ依リ工業地域ニ非サレハ建築シ得サル工場ノ外ハ凡テノ種類ノ建築物ノ存在スルヲ妨ケサルモノナリ、即チ規模小ナル工場又ハ衛生上保安上危険有害ノ程度甚シカラサルモノハ此ノ地域ニ存在シ得ヘキモノニシテ各種地域ノ間ニ此ノ未指定地域ヲ適宜配置スルコトニ依リテ都市ノ實情ニ順應スル場合ナキニアラス、即チ子安町東西ノ高地間ニ介在スル入江川流域ノ如キハ現在既ニ中小工場ノ所在スルモノアリ、而モ土地低ク住宅地トシテ適當ニ非ス、然レトモ此處ニ大工場ノ簇出シテ煤煙臭氣ヲ發散スルカ如キハ亦附近住宅ノ忍フ所ニ非サルヲ以テ之ヲ未指定地域ニ保留スルハ地勢及現狀ニ適應スルモノナリト思考ス、又工業地域ト住居地域ノ接觸スル部分ニシテ現在ノ商店工場混合ノ狀態ヲ呈スル一帯ハ之ヲ未指定地域ニ保留スルコトニ依リテ一ハ工場地域ノ及ホス影響ヲ緩和シ土地現狀ニ適從スル所以ナリト思考ス、即チ井土ヶ谷町、蒔田町ノ一部ノ低地ノ如キハ此ノ意味ニ於テ未指定地域トセリ

更ニ市ノ郊外ニ付テ之ヲ觀ルニ南方日下、屏風浦、大岡川方面ヨリ市ノ西方ヲ繞リテ北方大綱、旭方面ニ亘ル一帯ノ高地ハ素ヨリ住居地域タルヘク多摩川南岸數ヶ町村ニ亘ル一帯ノ低地ハ素ヨリ主トシテ工業地域タルヘシ、然レトモ中ニツキ川崎ヨリ鶴見ニ至ル東海道新舊國道間一帯ノ地ヲ商業地域トシ、大師町ノ一部ハ工業地域内一團ノ住居地域トシ川崎町、田島村、御幸村、大綱村ノ一部ノ如キハ土地ノ現狀猶未タ將來ノ豫測ヲ難シトスルカ如キ狀態ニ在ルヲ以テ之ヲ未指定地域ニ保留スルカ如キハ亦土地ノ狀勢ニ鑑ミテ至當ナルヘシト思考スルモノナリ
次ニ各地域面積ノ分配ニ關シテハ前述ノ如クニシテ選定セラレタル各地域ノ面積ヲ比較スルニ概略左ノ如シ

一、市街地建築物法施行區域即チ横濱市内ニ就キテ見ルニ

地域別	面積	全面積ニ對スル百分比
住居地域	約 六、八九〇、〇〇〇坪	六〇・一
商業地域	約 二、五七〇、〇〇〇坪	二二・四
工業地域	約 一、七二〇、〇〇〇坪	一五・〇
未指定地域	約 二八〇、〇〇〇坪	二・五
計	約 一一、四六〇、〇〇〇坪	

二 都市計畫區域全部ニ對シテ概略豫定圖ニ就キテ見ルニ

地域別	面積	全面積ニ對スル百分比
-----	----	------------

住居地域	約 三二、七二〇、〇〇〇坪	六七・八
商業地域	約 四、三四〇、〇〇〇坪	九・〇
工業地域	約 八、〇六〇、〇〇〇坪	一六・七
未指定地域	約 三、一四〇、〇〇〇坪	六・五
計	約 四八、二六〇、〇〇〇坪	

(備考 第二表ニ於テ商業地域面積過小ナルハ建築物法施行區域豫想圖ニハ將來ノ豫測稍確實ナル商業地域ノミヲ舉ケタルニ依ル)

三 之ヲ歐米都市ノ二三ノ事例ニ徴スルニ大略左ノ如シ

住居地域	六三・〇	五七・〇	五一・〇	七八・〇	八六・〇
商業地域	三二・〇	一一・〇	一九・〇	八・〇	四・〇
工業地域	五・〇	三〇・〇	三〇・〇	一四・〇	一〇・〇

(備考 前表ニ於テ「フランクフルト、アム、マイン」ニ於テハ混合地域ヲ商業地域トシ又紐育「セントルイ」ニ於テハ無制限地域ヲ工業地域トセリ、之各都市ノ規定ニヨリ地域性質ノ類似ニ依レルモノナリ)

斯クノ如クニシテ其ノ比率ノ區々タルハ都市ノ地勢又ハ産業ノ特徴等ノ異ルモノアルニ依ルモノアリト雖モ亦殊ニ其ノ地域制ノ規定スル建築制限ノ性質ニ基クモノニシテ單ニ本表ノ數字ヲ以テ比較スルハ當ヲ得サルモノアリト雖モ吾邦ノ地域制ハ此ノ中ニ就キテハ稍「セントルイ」又ハ「ニューヨーク」ノ夫レニ近キモノトナスヘシ

吾邦地域制ノ建築制限ノ性質ハ頗ル寛容的ニシテ住宅ハ如何ナル地域ニ存在スルモ妨ケス、商店、事務所ノ如キモ亦然リ唯工場ノミカ其ノ規模又ハ作業ノ性質ニ應シ或モノハ工業地域ニ限ラルルモ或ルノハ未指定地域ニモ存在シ得ヘク或モノハ更ニ商業地域ニモ存在シ得可ク、家内工業ノ如キハ住居地域ト雖モ存在スルヲ妨ケス、故ニ各地域ハ事實上各種建築物ノ混合所在地タルニ於テ妨ケナシ、此等ノ建築物カ如何ナル比例ニ於テ各地域ヲ飽和スヘキヤハ推測頗ル困難ニシテ從テ各地域ノ適確ナル所要面積ヲ算出スル如キハ到底不可能事ニ屬スト雖モ左ニ各種地域ニ於ケル建築物ノ用途ノ現況ヲ比較ノ標準トシテ概略各種地域面積ノ將來ニ於ケル包容力ヲ考察スルノ參考ニ供ス

(參考) 各種地域ニ於ケル建築物充實状態ニ關スル推定

曩ニ都市計畫區域設定ニ際シ大横濱ノ規模ヲ豫定スルニ當リ從來人口ノ趨勢ヲ以テスレハ向後三十ヶ年ニテ略全區域内ニ豫定密度ヲ以テ飽和スヘキ事ヲ推定セルカ故ニ茲ニ同シク地域設定ニ於テモ約三十年ノ將來ヲ其ノ考察ノ目的トセムトス

先ツ工業地域ニ付テ考察スルニ我邦工場統計ノ稍整備セル工場法施行以來ニ於ケル同法適用工場數增加ハ頗ル急激ナルモノアリト雖モ之大戰以後工場勃興時代ノ現象ニシテ此ノ趨勢ノミヲ以テ將來ヲ推スハ過大ノ恐ヲ免レスト雖モ別ニ同法適用前ニ於ケル統計ノ信據スルニ足ルヘキモノナキヲ以テ暫ク過去六ケ年間ニ増加セル平均ヲ以テ今後モ等シク増加スルモノト假定スレハ別表ノ如ク大正四十年ニ於テ工場法適用工場數ハ約八〇〇ニ達スヘシ

橫濱都市計畫區域内工場法適用工場數累年比較

大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年
二九八	三三五	四二二	四八八	五七一	六三三

而シテ其ノ中建築物法ニ依ル職工數及動力ノ制限ヨリ工業地域ニ非サレハ建築シ得サル大工場數(施行令第三條第一項參照)ハ其ノ内約三〇%ニシテ其ノ敷地面積ノ平均約八千坪ナリ將來ニ於テモ斯クノ如キ比率ヲ有スルモノトセハ大正四十年ニ於テハ其數約四二〇ニ達シ又其ノ敷地面積現在ノ如シト

假定セハ大工場敷地面積ノ總計ノ約一、九二〇、〇〇〇ヲ要ス之將來工業地域ニ必ス包容スヘキ大工場ニ就キテノ推測ナリ、然レトモ吾邦地域制ノ規定ニ於テ工場地域ハ事實上ノ無制限地域ナルコト前記ノ如ク此ノ他ニ中小工場及住宅、商店等如何ナル種類ノ建築物ヲ含有スルモ妨ケナキヲ以テ將來吾工業地域カ如何ナル程度迄大工場ヲ以テ飽和スヘキカハ猶將來ニ於ケル産業組織ノ變化及水陸運輸ノ工業地域トシテ必要ナル各種施設ノ充實スルト否トニ因リテ支配セラルヘキモ假リニ此種ノ大工場カ工業地域内總面積ノ約三割ヲ占有シテ其ノ地域ノ地ニ到達スルモノトセハ全工業地域ノ所要面積約六、四〇〇、〇〇〇坪トナリ爾々吾人ノ豫定セル工業地域全面積ノ廣サニ類似スルヲ知ル、因ニ記ス現今橫濱都市計畫區域内ニ於ケル代表的工業地タル鶴見、多摩兩河川流域ナル御幸、町田、田島ノ三村及大師川崎二町所在大工場敷地總面積ト其ノ町村地域全面積トノ比例約二割九分ニ當ル

次ニ商業地域ニ就キテハ其ノ比較ノ標準トナスヘキ建築物ノ用途多種ニ亘リ然カモ其ノ主體タルヘキ商店ハ住宅ト兼用セラルヘキモノ多クシテ今後三十年ノ將來ニ於テモ各種建築物用途ノ間ニ截然タル區別ヲ附スルカ如キハ豫想シ得ス、從テ商業地域面積ノ將來ノ包容力ヲ推定スヘキ基準ノ選定ハ困難ナルヲ以テ茲ニ各種地域ニ對シ人口並住宅ノ包容力ヲ推算シテ以テ商業地域、住居地域ノ規模ヲ考察シ併セテ工業地域、未指定地域ニ於ケル人口並住宅分布ノ狀況ト其ノ包容力ニ付キテ考察セムト

曩ニ都市計畫區域設定ニ際シ區域内ニ於ケル包容人口ノ算定ニ於テ其ノ飽和密度ヲ市内ハ一人當リ十四坪郊外ハ九十二坪ト豫定シタリ、今此處ニ各種用途地域設定ヲ見ルモ斯カル密度ノ求心的差異ニ就キテハ大體異動ナカルヘキヲ推測スルモ唯各種地域別ニ據リ多少密度ノ差異ヲ見ルヘキハ又當然ナリ今假リニ市内ニ於テ商業地域ノ人口飽和密度ヲ九坪トシ（現在ノ所謂關内ニ竝ケル密度一人當リ約九坪ナリ）工業地域ノ密度ヲ十四坪四合トシ（現在ノ尾張屋町、西平沼町、岡野町、平沼町、材木町、仲町、裏高島町、高島町、南幸町、北幸町、内海、鶴屋町ノ諸町全部ノ平均一人當リ約十四坪四合ナリ）、未指定ノ部分モ之ニ準スルモノトセハ市内ニ於ケル住居地域ノ飽和密度ハ市内全部ノ人口飽和ノ域ニ達セル時ノ豫想總數約八〇〇、〇〇〇ナル推定ニ基ケハ一人當リ約十八坪四合トナル（現在ノ本町、柳町、老松町、神奈川町等ノ密度ニ類似ス）、又郊外ニ於テハ既記ノ如ク各地域ノ概略方針ヲ豫定スルニ止リ之カ人口飽和ノ域ニ達セルトキノ各種地域ノ平均密度ノ豫測ノ如キハ尙早ニ失スト雖モ商業地域ニ於テハ先ツ市内ノ同地域内密度ニ伯仲スヘク工業地域之ニ次キ住居地域ノ密度最モ稀薄ナルヘキコトハ豫想シ得ヘシ

次ニ地域設定後ニ於ケル各種地域別住宅分布ノ豫想ヲ試ミシニ横濱ニ於ケル住居ニ關スル統計不備ニシテ其ノ依ルヘキモノナキヲ以テ假リニ之ヲ東京ニ於ケル調査統計ヲ引用シ猶未タ住宅拂底ノ聲少カリシ大正三年ニ於ケル東京市内住宅延坪ヲ檢スルニ人口一人當リ三、四四坪ニシテ之カ地域別ノ差異ハ其ノ推定困難ナリト雖モ之ヲ大正九年ノ現狀ニ於ケル麴町、芝、麻布、赤坂、四谷、牛込、小石川、本郷八區ノ一人當リ住宅延坪ト他ノ七區ト夫レト比較ニ準據シテ横濱市ニ於テモ住居地域ノ住宅延坪平均ヲ四坪トシ其ノ他ノ住宅延坪平均ハ三坪ト看做シ此ノ標準ヲ以テ前記人口分布ノ假定ヲ引用スレハ都市計畫區域内地域設定後ニ於ケル各種地域ニ就キテノ住宅延坪總計ト土地全面積トノ比率竝戸數總計ノ豫想凡ソ左表ノ如シ

地域別	住宅總延坪	住宅延坪ト全面積トノ比較(百分比)	豫想戸數總計 但シ一戸當リ五人トス
市内	一、五〇〇、〇〇〇	二一・九	七五、〇〇〇
住宅地	八六〇、〇〇〇	三三・三	五七、〇〇〇
商業地	三六〇、〇〇〇	二〇・八	二四、〇〇〇
工業地	六〇〇、〇〇〇	〇・八	四、〇〇〇
未指定地	二、七八〇、〇〇〇	一	一六〇、〇〇〇
計			

都市計畫神奈川地方委員會横濱都市計畫地域制議決ノ經過

横濱都市計畫住居、商業、工業地域ノ指定ニ關シテハ大正九年八月十四日第一回都市計畫神奈川地方委員會ニ於テ其ノ豫備調査ノ爲左ノ通特別委員ヲ設置シ横濱都市計畫區域ト併セテ關係職員ヲ指揮シ之カ調査立案ヲ爲サシメタリ

(横濱市都市計畫局長) 阪 田 貞 明君

(横濱市會議員) 赤尾彦作君

(神奈川縣會議員) 高下鷺藏君

(横濱市會議員) 戸井嘉作君

(同) 箕輪半藏君

(神奈川縣內務部長) 佐々木秀司君

若尾幾造君

左右田善一郎君

(內務大臣官房都市計畫課長) 前田多門君(中途退任)

(同) 山縣治郎君

而シテ神奈川縣知事ハ右調査ニ基キ概案ヲ得テ之ヲ大正十年十二月十四日內務大臣ニ内申シ內務大臣ハ之ニ基キ原案ヲ作成シ大正十二年三月二十八日都市計畫神奈川地方委員會ニ付議シ同委員會ハ同年五月十日會議ヲ開キ五月十八日再ヒ左ノ特別委員ノ調査ニ附シタリ

井坂孝君

(横濱市都市計畫局長) 阪田貞明君

(神奈川縣內務部長) 松原權四郎君

若尾幾造君

(內務省都市計畫局長) 長岡隆一郎君

繁田五郎君

森田伊助君

(横濱市會議員) 上保慶三郎君

(神奈川縣會議員) 高下鷺藏君

特別委員ハ會議ヲ開クコト五回此ノ間或ハ實地踏查其ノ他各般ノ調査ヲ爲シ或ハ關係當局ノ意見ヲ徵スル等慎重審議ノ結果原案ヲ修正シ同年六月十八日之ヲ地方委員會ニ報告シ地方委員會ハ大正十二年七月三十一日之ヲ特別委員修正ノ通可決シタリ、內務大臣ハ之カ決定竝内閣ノ認可ヲ受クル手續中九月一日ノ大震火災ニ遭遇シ横濱市ノ現狀ニ激變ヲ來スト共ニ街路、公園、運河其ノ他ノ復興施設ノ計畫決定ニ伴ヒ曩ニ地方委員會會議定ノ地域ニ幾分變更ヲ要スルニ至レルモノアルヲ以テ今回議第三七號ノ付議ヲ見タル次第ナリ

特別都市計畫委員會幹事

議第三九號

一、東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件
官計發第一〇七號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件左ノ通決定セムトス
右都市計畫法施行令第十條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

大正十四年五月十五日

內務大臣 若槻禮次郎

內務省令第 號

東京都市計畫下水道事業受益者負擔ノ件

第一條 東京市ハ都市計畫事業トシテ東京市長ノ執行スヘキ下水道事業ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ

第二條 本令ニ於テ受益者ト稱スルハ左記各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

- 一 排水區域内又ハ第六條ノ規定ニ依ル地域内ニ在ル有租地（新開免租年期中ノモノヲ含ム）ノ所有者但シ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者、工事竣功ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人

- 二 前號ノ區域内又ハ地域内ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共ノ用ニ供セラレサルモノニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人

三 第一號但書又ハ前號ノ權利ニ以上存スルトキハ最後ニ設定シタル權利ヲ有スル者

第三條 受益者負擔區ハ東京都市計畫下水道三大排水區ノ區分ニ依ル但シ土地ノ狀況工事施行年度等ニ依リ必要アルトキハ大排水區ヲ細分シテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得

第四條 受益者ノ負擔額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 各負擔區ニ於ケル負擔金ノ總額ハ當該區ニ關スル事業費ノ三分ノ一ヲ當該區内ニ於テ受益者ナキ土地（河川運河及濠ヲ除ク）ノ面積ト受益者ノ土地ノ面積トニ按分シタル後者ノ額トス
- 二 二以上ノ負擔區ニ共通スル工事ノ事業費ハ各負擔區ノ土地（河川運河及濠ヲ除ク）ノ面積ニ比例シテ各負擔區ニ配分ス

三 各受益者ノ負擔金額ハ各負擔區ニ於ケル負擔金ノ總額ヲ當該區内ニ於ケル受益者ノ土地面積ニ比例シテ之ヲ定ム

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依ル負擔金額ノ外負擔金ヲ増課スルコトヲ得工事竣功ノ日ヨリ十年以内ニ第二號ニ該當スル事業ヲ經營シ又ハ第三號ニ該當スル建物ヲ建築シタルトキ亦同シ

- 一 下水道事業ニ因リ土地カ著シク其ノ利用ヲ増進スルトキ
- 二 下水道ニ排除スル汚水量著シク多量ナル事業ヲ經營スルトキ
- 三 階數三ヲ超ユル建物ヲ有スルトキ

前項ノ規定ニ依リ増課スヘキ金額ハ前項第一號及第二號ノ場合ニ在リテハ前條ノ規定ニ依ル負擔金額ノ五割ヲ、同第三號ノ場合ニ在リテハ前條ノ規定ニ依ル負擔金額ノ二十割ヲ超ユルコトヲ得ス

第六條 下水道ニ關スル設備ニシテ道路トシテノ效用ヲ兼ヌルモノアルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外其ノ部分ノ兩側境界線ヨリ奥行二十間ノ地域内ニ於ケル受益者ヲシテ道路トシテノ效用ヲ兼テシムル爲ニ要スル事業費ノ五分ノ一ニ付其ノ半額ハ當該部分ニ面スル土地ノ間口ノ長ニ他ノ半額ハ當該區域内ノ土地ノ面積ニ比例シ之ヲ負擔セシム但既設道路ニ下水道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス土地ノ狀況又ハ工事施行年度等ニ依リ必要アルトキハ別ニ地域、負擔金額及負擔方法ヲ定ムルコトヲ得

第七條 負擔金ハ工事竣工ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ第八條ノ納付期間内ニ受益者ニ異動アリタルトキハ新ニ受益者トナリタル者ヨリ殘額ヲ納付セシム

工事竣工ノ日ヨリ十年以内ニ第五條第二號ニ該當スル事業ヲ經營シ又ハ同條第三號ニ該當スル建物ヲ建築シタルトキハ其ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ増課額ヲ納付セシム前項但書ノ規定ハ此ノ場

合ニ之ヲ準用ス

本令施行前ニ竣工シタル工事ニ付テハ第二條第一號第五條及前二項ノ規定ノ適用ニ關シ本令施行ノ日ニ竣工シタルモノト看做ス

二年度以上ニ亘ル工事ニ付テハ一年度又ハ數年度ニ屬スル工事ノ竣工シタル日ヲ以テ第二條第一號第五條及第一項ノ工事竣工ノ日ト看做スコトヲ得

第八條 負擔金ハ五年間ニ均分シテ納付セシム但シ特別ノ事由アルトキハ相當ノ利子ヲ附シ五年以内徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得

- 一 下水道又ハ第六條第一項ノ設備利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ
- 二 下水道事業ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ東京市長カ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタルトキ

前項第二號ノ規定ニ依リ減免スル金額ハ其ノ寄附額ヲ超ユルコトヲ得ス

第十條 左ニ掲クル事項ハ東京市長之ヲ告示ス

- 一 第三條但書ニ依リ定メタル負擔區ノ區域
- 二 各負擔區ニ於ケル負擔金ノ總額

三 第五條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ増課スル地區、事業及増課額又ハ増課割合

四 第六條第二項ノ規定ニ依リ定メタル地域、負擔金額及負擔方法

五 工事竣功ノ日

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ東京市長之ヲ定ム

附則

第十二條 本令ハ下水道復舊工事ニ付テハ之ヲ適用セス

說明

本案ハ東京市長執行東京都市計畫東京市下水道事業ニ依リ利益ヲ受クル者ニ對シ事業費ノ一部ヲ負擔セシメムトスルモノナリ之レカ規程ノ要旨左ノ如シ

一 受益者指定

受益者ノ範圍ハ大阪市ノ先例ニ倣ヒ有租地ノ所有者ヲ以テ原則トシ質權、地上權、永小作權ノ如キ他物權ノ設定アル土地及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ各其ノ權利者ヲ以テ受益者ト爲セリ(第二條)

二 負擔金額ノ決定

(一) 受益者ノ負擔割合 受益者ニ負擔セシムヘキ負擔金ノ割合ハ事業費ノ三分ノ一ト爲セリ而

シテ東京市ニ於テハ特ニ官有地多ク其ノ分布普遍ナラサルヲ以テ事業費ノ三分ノ一ヲ各土地ニ割當テ其ノ民有地ニ割當テタル部分ヲ以テ實際負擔額トスルヲ適當ト認メタルモノニシテ之ニ依レハ實際ノ負擔割合ハ約五分ノ一ニシテ大阪市ノ實例六分ノ一ト大差ナキモノトス(東京市土地河川運河濠ヲ除ク二千万坪中民有有租地千三百万坪ニ付三分ノ一ヲ民有有租地ニ割當テタルモノハ六十分ノ十三即チ約五分ノ一ナリ尙復興事業完成後民有有租地百万坪ヲ減スル見込ナルヲ以テ完成後ニ於テハ千二百万坪五分ノ一トナル)(第四條)

(二) 面積比例負擔 下水道費ヲ受益土地ノ面積ニ比例シテ負擔セシムルハ米國受益者負擔制度

ノ原則ニ一致スルノミナラス大阪市ニ於テ先例存ス且我國農村ノ灌溉排水費ヲ反別割ヲ以テ徵收スルノ實例ト相一致スルモノナリ(第四條)

(三) 負擔區 受益者負擔金決定ノ便宜上數個ノ負擔區ニ區分スルコトトセリ即チ東京都市計畫東京市下水道大排水區ノ區分ニ則リ三負擔區ト爲セリ但シ土地ノ狀況工事施行年度等ニ依リ必要アルトキハ之ヲ細分スルコトヲ得ルコトトセリ(第二條)

三 増課負擔金

所定ノ負擔金ノ外下水道事業ニ因リ土地カ著シク其ノ利用ヲ増進スルトキ、下水道ニ排除スル汚水量著シク多量ナル事業ヲ經營スルトキ、階數三ヲ超ユル建物ヲ有スルトキ及水道ニ關スル設備

ニシテ道路トシテノ效用ヲ兼ヌルモノアルトキハ夫々負擔金ヲ増課スルコトトシ以テ負擔ノ公平ヲ期シタリ(第五條第六條)

四 負擔金納付義務者

- (一) 負擔金ハ工事竣工ノ日ノ現在ノ受益者ヨリ納付セシムルコトトセリ蓋シ下水道ノ改良ニヨリ土地ノ利用増進スルハ之レカ工事竣工ノ時ニアリト認メタルニ由ル但シ負擔金分納期間(第八條)内ニ受益者ニ異動アリタルトキハ新ニ受益者ト爲リタル者ヨリ殘額ヲ納付セシムルコトトセリ尙増課負擔金(第五條)ニ付テハ負擔金ヲ増課セラルヘキ事業ヲ經營シ又ハ建物ヲ建築シタルトキハ其ノ日ノ現在受益者ヨリ納付セシムルモノナリ
- (二) 既竣工ノ受益者ニ對シテハ負擔ノ公平上凡テ負擔金ヲ課スルコトセリ(第七條第三項)之レ受益者負擔制度ヲ新設スルニ當リ竣工シタル部分ヲ除外スルモノトセハ例之全市中下水道ノ思惠ヲ受クルコト最モ多キ下谷、淺草ヲ免除スル結果トナリ實際ニ於テ不公平忍ヒ難キモノアリ又速成下水渠工事ヲ除外スルコトモ同様不公平ヲ來ス虞アルヲ以テ下水道事業費全部ニ付負擔セシムルノ方針ヲ採リ以テ本規程施行前ニ竣工シタルモノハ施行ノ日ヲ以テ竣工ノ日ト看做サムトセリ

五 負擔金納付時期

負擔金ハ五年間ニ均分納付セシムルコトトシ特別ノ事由アルトキハ相當ノ利子ヲ附シ五年以内徵收ヲ猶豫スルコトヲ得シメタリ

六 負擔金ノ減免

下水道設備利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得トナシタルハ附近ノ地形又ハ土地利用ノ狀況如何ニ依ツテ當該設備ノ利用ノ狀態ニ差異アルヲ免レサルヲ以テ負擔ノ公平ヲ期スル爲ニハ之ヲ斟酌シテ負擔金ヲ減免スルノ必要アリ又下水道事業ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地物件、勞力若ハ金錢等ヲ寄附シタル者ニ對シテモ同様寄附額ノ限度ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトトセリ(第九條)

- 七 其他本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ具體の場合ニ就キ東京市長ヲシテ適宜措置セシムルヲ適當ト認メ以テ同市長之ヲ定ムト爲セリ(第十一條)

(參考)

本件受益者負擔金額及其ノ負擔方法ニ付都市計畫法施行令ノ規定ニ依リ東京市長ノ意見ヲ聞キタル處異議ナキ旨ノ答申アリタリ

(參照)

東京都市計畫下水道事業受益者負擔金調表

負擔區	總面積	總工費	工費三分ノ一	一坪當負擔金	負擔金		增課負擔金 一般負擔金増額 ニ對スル歩合	課金負擔計		
					私有地積	負擔金				
第一區	高段 四、四三七 中段 六、七九三 低段 三、二五六	八九、六二、〇〇〇 速成工事費 二九、八七、六〇〇 ヲ含ム	二、〇六二	二、八六〇	四、〇五三	一、六三三	一七、六二九	二〇六%	四六一千四	一八、〇八〇千四
第二區	二、四九五	一八、六六、〇〇〇	六、二二、〇〇〇	二、四九〇	一、四八一	三、六八七	六、〇	二二三	三、九一〇	
第三區	三、七六七	三四、八七、五〇〇	一、一六五、五〇〇	三、〇七〇	二、二六〇	六、九三八	二九、二	二、〇〇八	八、九六六	
計又ハ平均	二〇、七六八	一四三、一三三、五〇〇	四七、七一一、一〇〇	二、二九七	二、二八六	二八、二四四	九、六	二、七二二	三〇、九五六	

備考 本表ハ東京市ニ於テ調査シタル負擔金收入見込調ナリ

議第四〇號

一、大正十一年十二月二十三日內閣認可東京都市計畫目黒川改修事業執行年限延長並執行年度割變更ノ件

官計發第一〇三號

特別都市計畫委員會

大正十一年十二月二十三日內閣認可東京都市計畫目黒川改修事業執行年限延長並執行年度割變更ノ件
左ノ通決定セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

大正十四年五月八日

內務大臣 若槻禮次郎

大正十一年十二月二十三日內閣認可東京都市計畫目黒川改修事業ハ大正十二年度ヨリ大正十九年度迄八箇年度ニ繼續執行スルコトニ改メ大正十四年度ヨリ大正十九年度ニ至ル執行年度割ヲ左ノ通定ム

- 大正十四年度 約 五分四厘
- 大正十五年度 約 二割四厘
- 大正十六年度 約 二割一分六厘
- 大正十七年度 約 二割二分一厘
- 大正十八年度 約 一割七分七厘
- 大正十九年度 約 一割二分四厘

本事業ハ大正十二年度ヨリ大正十八年度ニ至ル七箇年ニ東京府知事之ヲ執行スルコトニ決定シ大正十二年度ヨリ工事ニ着手セントシ準備計畫中大正十二年九月一日ノ震災ニ依リ一時事業ヲ中止シ既定豫算ヲ變更スルノ止ムナキニ至リタルヲ以テ之カ執行年限一箇年ヲ延長シ且其ノ年度割ヲ變更セムトスルモノナリ

(議第四〇號參考書)

目黒川改修事業年度割新舊對照表

年 度	既 定		變 更		比 較 増 減 (△)	
	金 額	歩 合	金 額	歩 合	金 額	歩 合
大正十二年度	三三三、三五 _四	〇、〇六〇	二五、二九 _四	〇、〇〇四	△ 三八、〇六 _二	△ 〇、〇五六
大正十三年度	一、〇八、六四七	〇、一九五	一〇〇	歩合ニ上ラス	△ 一、〇八、五四七	△ 〇、一九五
大正十四年度	一、二九、三七五	〇、二〇四	三〇〇、〇〇〇	〇、〇五四	△ 八三九、三七五	〇、一五〇
大正十五年度	一、一〇六、六三五	〇、二二六	一、一三九、三七五	〇、二〇四	△ 六七、二五〇	〇、〇一一
大正十六年度	八四四、八六五	〇、一五六	一、二〇六、六三五	〇、二二六	三三二、七六〇	〇、〇五八
大正十七年度	六四三、六四	〇、一五	一、三四、八六五	〇、二二	五九一、二五一	〇、一〇六

大正十八年度	二八九、〇六八	〇、〇五 _二	九三、六四	〇、一七 _七	七四、五四六	〇、二五
大正十九年度	—	—	六五、六七七	〇、二四	六五、六七七	〇、二四
計	五、五九五、五四七	一、〇〇〇	五、五九五、五四七	一、〇〇〇	〇	〇

議第四一號

- 一、大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中竝大正十一年七月十日
- 二日内閣認可東京都市計畫街路ノ新設、擴張及河川、運河ノ新鑿、改修、埋立事業執行年度割中變更ノ件

官計發第一四〇號

特別都市計畫委員會

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中竝大正十一年七月十二日内閣認可東京都市計畫街路ノ新設擴張及河川運河ノ新鑿改修埋立事業執行年度割中左ノ通變更セムトス
右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

大正十四年七月九日

内務大臣 若槻禮次郎

第一 大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中左ノ通改ム

東京都市計畫街路ノ部

二等大路第二類第一

四谷區仲ノ町學習院初等科前ヨリ赤坂區權田原町ニ至リ更ニ千駄ヶ谷町字北ノ脇三百三十八番地ヨリ大宇代々木八十九番地先明治神宮ニ至ルノ路線中千駄ヶ谷町字北ノ脇三百三十八番地ヨリ大宇代々木八十九番地先明治神宮ニ至ル區間ノ幅員「十三間」ヲ「二十間」ニ改ム

第二 大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中左ノ街路ノ新設及擴張ハ大正十四年度ヨリ大正十五年迄二箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年度割左ノ通定ム

一等大路第三類第三號路線中天現寺橋ヨリ四ノ橋北詰ニ至ルノ區間

一等大路第三類第十號路線中東京市區改正設計第二等線トノ街角

二等大路第一類第七號路線

二等大路第二類第一號路線中千駄ヶ谷町字北ノ脇三百三十八番地ヨリ大宇代々木八十九番地地先明治神宮ニ至ル區間

二等大路第三類第三號路線中市ヶ谷臺町九十三番地三十一號地地先ヨリ同七十五號地地先ニ至ル區間

二等大路第三類第五號路線中早稻田鶴卷町二百三十番地地先ヨリ同三百七十一番地地先電車通ニ至

ル區間

街路ノ新設擴張事業執行年度割

大正十四年度

約七割四分一厘

大正十五年度

約二割五分九厘

第三 大正十一年七月十二日内閣認可東京都市計畫街路ノ新設擴張及河川運河ノ新鑿改修埋立事業執行年度割中東京市長ノ執行スヘキ事業ノ執行年度割ハ之ヲ廢止ス

說明

第一 街路ノ計畫變更

二等大路第二類第一號路線中明治神宮内外苑連絡道路ノ幅員ハ既定計畫ニ於テハ十三間ナルモ植樹帶ヲ増加シ乘馬道ヲ附設ノ爲其ノ幅員ヲ二十間ニ變更セムトスルモノナリ

第二 事業執行年度割變更

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中東京市長ノ執行スヘキ街路ノ新設擴張及河川運河ノ新鑿改修埋立ハ大正十一年度ヨリ大正十七年度迄七箇年度ニ繼續執行スルコトトシ之カ執行年度割ニ付大正十一年七月十二日内閣ノ認可ヲ受ケ確定シタルモノナルモ市財政ノ都合上未タ着手セサルニ先チ偶々大震災災ニ遭遇シ其ノ大部ハ既ニ復興計畫事業ニ包含セララルニ至リ其ノ餘ハ市財政

ノ窮迫ニ伴ヒ既定年度割ニ依リ遂行シ得サルニ至リタルヲ以テ此ノ際財政ノ許ス範圍内ニ於テ緊急差掘キ難キ街路(天現寺橋四ノ橋間、新宿追分、下谷笹ノ雪横町、明治神宮内外苑連絡道、市ヶ谷臺町火災跡地、早稻田鶴卷町火災跡地)ノ執行年度割ヲ定メ其ノ他ハ他日ノ計畫ニ讓ラムトスルモノナリ

議第四一號參考

一 大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ノ部抄

一等大路第三類第三

四ツ谷區内藤町八十七番地地先東京市區改正設計第二等線ヨリ中央線ヲ跨キ近衛第四聯隊裏ヨリ千駄ヶ谷町字竹ノ下ヲ經テ赤坂區青山南町四丁目東京市區改正設計第二等線ヲ横切り麻布區筈町ニ至リ電車軌道ニ沿ヒ天現寺橋ヨリ四ノ橋北詰ニ至ルノ路線幅員十二間(中央車道九間左右歩道各一間半)

一等大路第三類第十

一等大路第三類第七號路線終點ヨリ上澁谷ニ至リ鐵道線路下ヲ過キ原宿字灰毛丸二百五十番地ニ於テ左折シ千駄ヶ谷ニ至リ更ニ鐵道線路下ヲ過キ新宿三丁目十二番地地先東京市區改正設計第二等線ニ接續スルノ路線 幅員十二間

二等大路第一類第七

下谷區上根岸町四十八番地地先東京市區改正設計第五等線ヨリ同百三十一番地郡市境界ニ至ルノ路線 幅員十間

二等大路第二類第一

四谷區仲ノ町學習院切等科前ヨリ赤坂區權田原町ニ至リ更ニ千駄ヶ谷字北ノ脇三百三十八番地ヨリ大字代々木八十九番地地先明治神宮ニ至ルノ路線 幅員九間

二等大路第三類第三

但千駄ヶ谷町字北ノ脇三百三十八番地ヨリ大字代々木八十九番地明治神宮ニ至ル區間ハ幅員十二間

二等大路第三類第五

半込區市ヶ谷谷町九十二番地ヨリ余丁町ヲ經テ東大久保二百四十九番地地先電車通ニ至ルノ路線 幅員六間

二 大正十一年七月十二日内閣認可東京都市計畫街路ノ新設擴張及河川運河ノ新鑿改修埋立事業執行年度割中東京市長ノ執行スヘキ事業ノ執行年度割額

(イ) 街路ノ新設及擴張

大正十一年度	事業費	九、七二八、〇〇〇圓	約一割
大正十二年度	同	一五、〇一三、〇〇〇圓	約一割五分
大正十三年度	同	一五、三七七、〇〇〇圓	約一割五分
大正十四年度	同	一六、六一一、〇〇〇圓	約一割六分
大正十五年度	同	一七、九三八、〇〇〇圓	約一割八分
大正十六年度	同	一七、〇〇一、〇〇〇圓	約一割七分
大正十七年度	同	九、五一七、〇〇〇圓	約九分
計		一〇一、一八五、〇〇〇圓	一箇

(ロ) 河川運河ノ新鑿改修埋立

大正十一年度	事業費	一、五九二、〇〇〇圓	約二割
大正十二年度	同	一、六三七、〇〇〇圓	約二割一分
大正十三年度	同	一、二八三、〇〇〇圓	約一割七分
大正十四年度	同	一、三二九、〇〇〇圓	約一割七分
大正十五年度	同	四七二、〇〇〇圓	六分

大正十六年度	同	九九九、〇〇〇圓	約一割三分
大正十七年度	同	五〇三、〇〇〇圓	約六分
計		七、八一五、〇〇〇圓	一箇

三 今回決定セムトスル街路ノ新設擴張事業執行年度額

大正十四年度	事業費	二、一四三、四三二圓	約七割四分一厘
大正十五年度	同	七五〇、三五一圓	約二割五分九厘
計		二、八九三、七八三圓	一箇

一、議第四二號

東京都市計畫東京市下水道(速成)事業執行年割決定ノ件

官計發第一一八號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫東京市下水道(速成)事業執行年割左ノ通決定セムトス
右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

大正十四年七月十四日

内務大臣 若槻禮次郎

東京都市計畫東京市下水道事業中第一區ニ屬スル高段、中段幹枝線ノ一部同低段枝線ノ一部及第二區

ニ屬スル枝線ノ一部ハ之ヲ速成事業トシテ大正十四年度ヨリ大正十七年度迄四箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年割左ノ通定ム

- 大正十四年度 約二割二分三厘
- 大正十五年度 約二割七分八厘
- 大正十六年度 約三割四分五厘
- 大正十七年度 約一割五分四厘

説明

東京都市計畫東京市下水道中排水區劃第二區ニ屬スル淺草區ノ大部同下谷區、神田區、本郷區ノ一部ハ第一期事業トシテ明治四十四年度ヨリ大正十三年度迄十四箇年度ニ繼續執行シ第一區中低段ニ屬スル日本橋區、京橋區、麴町區丸ノ内ノ一部同中段ニ屬スル芝區ノ一部ハ第二期事業トシテ大正九年度ヨリ大正十二年度迄四箇年度ニ繼續執行シ(大正十六年度迄八箇年繼續事業ナリシモ大正十三年度以降ハ復興事業トシテ執行スルコトトセリ)又芝、赤坂、四谷、牛込、下谷ノ各區ニ互ル一部下水渠ヲ速成工事トシテ大正六年度ヨリ大正九年度迄四箇年度ニ繼續執行シ更ニ復興事業トシテ前記第二期事業殘工及震災ニ因ル燒失區域中神田區ニ屬スル幹線ノ全部、同枝線ノ一部麴町區、芝區ニ屬スル高段幹線全部、本所區、深川區ニ屬スル唧筒場、處分場、幹枝線ノ内排水上必要ナル基礎工事ヲ大正十三年度ヨリ大正十七年度迄五箇年度ニ繼續執行ス

ルコトトシ目下工事進捗中ニ屬ス而シテ之等既定事業以外ニシテ第一區及第二區中降雨毎ニ雨水氾濫ニ因ル被害甚シク衛生上看過スヘカラサル左記二十二箇所ニ對シ急速改良施設ヲ爲スノ喫緊ナルヲ認メタルニ依リ之ヲ速成工事トシテ大正十四年度ヨリ大正十七年度迄四箇年度ニ繼續執行セムトスルモノナリ

第一區中低段枝線	第一區中低段幹線	第一區高段枝線	第一區高段幹線	幹枝線ノ別	施設箇所	延長(約)
四谷荒木町 市ヶ谷左内町 市ヶ谷河内町 小石川茗荷谷 本郷四丁目及森川町 駒込神明町及坂下町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	第一區中低段枝線	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	一、八九四 二、一七八 三、〇七〇 三、八六三 四、四一六 五、九二九
同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	第一區中低段幹線	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	二、八〇一 二、七四六 五、八五九 一、八〇一 三、九三〇 七、四八八
同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	第一區高段枝線	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	二、八〇一 二、七四六 五、八五九 一、八〇一 三、九三〇 七、四八八
同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	第一區高段幹線	同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間 同田町間	二、八〇一 二、七四六 五、八五九 一、八〇一 三、九三〇 七、四八八

第一區 低段枝線	牛込橋町 關口水道町間 牛込天神町 江戸川橋間 新宿一丁目 番衆町間 小石川水道端町 江戸川町間	一、九五三 二、七四一 二、一八〇 八三〇〇
第二區 枝線	淺草橋場町及玉姫町 地方今戸町間	四、七四〇

議第四二號參考

東京都市計畫東京市下水道(速成)事業費一覽表

事業區分	事業費		
	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度
第一區 高段	二、四二五	六、四七九	一、九五三
第一區 中段	二、六七八	七、三五〇	二、七四一
第一區 低段	四、七〇〇	一、二七五	二、一八〇
第二區	四、七〇〇	一、五八〇	八三〇〇
計	一〇、〇〇	二、七六	三、四五
幹枝線延長	二六、〇三三	二七、三	一、五四
又ハ、費額	〇、九三三	二、七三	

一、議第四三號

大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事

業及其ノ執行年割中變更ノ件(隅田公園及錦糸公園關係)

一、議第四四號

大正十三年三月十一日内閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中

變更ノ件(第七號路線及第十五號路線關係)

官計發第一六三號

特別都市計畫委員會

大正十三年三月十一日内閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中左ノ通變更セムトス
右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

大正十四年七月二十二日

内務大臣 若槻禮次郎

大正十三年三月十一日内閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中左ノ通變更ス
第七號路線及第十五號路線ヲ左ノ通改ム

番號	路線	線 (起終點及經過地)	延長(約)	幅員
七	西戸部町扇田ヨリ伊勢町、日出町、長者橋ヲ經テ千秋橋南詰ニ至ル	西戸部町扇田ヨリ伊勢町迄	二、三五四*	一八乃至二二*
內譯	伊勢町ヨリ日出町迄	伊勢町ヨリ日出町迄	九六二	二二
	日出町ヨリ千秋橋南詰迄	日出町ヨリ千秋橋南詰迄	六三六	二二
			七五六	二二

一五 表高島町六丁目ヨリ西戸部町扇田ニ至ル

一〇六三

二二

説明

本家中第十五號路線ニ關シテハ横濱驛ノ位置變更後ニ於ケル平沼町及西平沼町附近ノ交通狀況ヲ考慮シ其ノ幅員十五米ヲ二十二米ニ擴張シ且鐵道線路改築並路線系統ノ關係上其ノ位置ヲ變更セムトスルモノニシテ第七號路線ニ關シテハ第十五號路線ノ變更及附近ノ交通狀況ヲ斟酌シ平岡橋南詰ヨリ西戸部町扇田ニ至ル區間延長約四百二十一米ヲ廢止セムトスルモノナリ

一、議第四五號

東京都市計畫河川改修及其ノ事業執行年割決定ノ件(古川改修關係)

官計發第一四二號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫河川改修及其ノ事業執行年割ノ件左ノ通決定セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

大正十四年十月十五日

内務大臣

若槻禮次郎

第一 東京都市計畫河川改修ノ件左ノ通定ム

名稱

區

域

(約)

幅員

古川

一ノ橋ヨリ天現寺橋ニ至ル

一、二八八間

八間

第二 前項ノ計畫ノ都市計畫事業トシテ大正十四年度ヨリ大正二十年度迄七箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年割左ノ通定ム

河川改修事業執行年割

大正十四年度	約七分七厘
大正十五年度	約一割九厘
大正十六年度	約一割九厘
大正十七年度	約一割九分一厘
大正十八年度	約一割九分
大正十九年度	約一割六分二厘
大正二十年度	約一割六分二厘

説明

本件古川ノ一ノ橋天現寺橋間ハ幅員狭小ニシテ河底淺キヲ以テ出水ニ際シテ常ニ氾濫シ被害著シキニ依リ今回都市計畫事業トシテ其ノ幅員ヲ擴張シ河底ノ浚渫ヲ行ヒ氾濫ヲ防止シ併セテ舟運ノ便ヲ開カ

ムトスルモノナリ

一、議第四六號

大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ

執行年割中變更ノ件(隅田公園關係)

官計發第二四四號

特別都市計畫委員會

大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中左ノ通變更
セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

大正十四年十一月二十六日

内務大臣 若槻禮次郎

大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中左ノ通改ム

番號	名稱	位	置	面積(約)
二	隅田公園		本所區新小梅町、向島小梅町、向島須崎町ノ内並淺草區花川戶町、山ノ宿町、金龍山瓦町及今戶町ノ内	三萬九千坪

說明

隅田公園ハ隅田川左岸(本所側)ニ於テ向島枕橋ヨリ須崎町ニ至ル堤塘敷其ノ他ノ土地ヲ公園敷地ニ編入シ以テ臨川公園タルノ效用ヲ増進セムトスルモノニシテ之カ爲面積約七千坪ヲ増加スルモノトス

特別都市計畫委員會第十一回總會議事速記錄

特別都市計畫委員會第十一回總會議事速記錄

大正十四年七月二十八日(火曜日)內務省會議室ニ於テ開催

議事日程

第一 議第三六號 大正十一年八月內務省告示第九十三號橫濱都市計畫防火地區變更ノ件

第二 議第三七號 大正十二年七月三十一日都市計畫神奈川地方委員會議決橫濱都市計畫地域變更指定ノ件

以上特別委員長報告

第三 議第三九號 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件

第四 議第四〇號 大正十一年十二月二十三日內閣認可東京都市計畫目黒川改修事業執行年限延長並執行年割度變更ノ

第五 議第四一號 大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中並大正十一年七月十二日內閣認可東京都市計畫街路ノ新設擴張及河川運河ノ新鑿改修埋立事業執行年割中變更ノ件

第六 議第四二號 東京都市計畫東京市下水道(速成)事業執行年割決定ノ件

第七 議第四三號 大正十三年四月一日內務省告示第百七十號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執

行年割中變更ノ件(隅田公園及錦糸公園關係)

第八 議第四四號 大正十三年三月十一日內閣認可橫濱都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件(第

七號路線及第十五號路線關係)

出席者氏名

會長 若槻 禮次郎君

委員

男爵 斯波 忠三郎君 渡邊 鐵藏君

太田 政弘君 篠原 英太郎君

近藤 達兒君 堀切 善次郎君

塚本 清治君 湯淺 倉平君

四條 隆英君 宇佐美 勝夫君

朝倉 虎治郎君 男爵 中島 久萬吉君

桑山鐵男君代 梶井 剛君 清野 長太郎君

津野一輔君代

杉原 美代太郎君 藤宮 惟一君

河野 治平君 有吉 忠一君

橋本 圭三郎君 松浦 鎮次郎君

丹羽 鋤彥君 小島 七郎君

矢野 吉君 池田 勝次郎君

福田 又一君 子爵 大河內 正敏君

中村 是公君 大角 岑生君

潮 惠之輔君 大木 金兵衛君

今村 明恒君 三木 武吉君

後藤 佐彥君 青木 周三君

田 昌君 鈴木 富士彌君

池上 幸操君 平沼 亮三君

中野 勇治郎君 片岡 安君

矢野 恒太郎君 佐野 利器君

松木 幹一郎君 長岡 外史君

直木 倫太郎君
阿部 壽 準君
太田 信治 郎君
吉 田 茂君
菊 池 慎 三君

復興局職員

建築部長 笠 原 敏 郎君 整地部長 稻 葉 健之助君
土木部長 太 田 圓 三君 經理部長 笹 井 幸 一 郎君
外 關 係 職 員

議 事

午前十時二十六分開議

○議長(若槻禮次郎君) 是ヨリ開會致シマス、議第三十六號ヲ問題ニ致シマシテ、大河内特別委員長ノ御報告ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

報 告

本特別委員會ハ大五十四年三月二十日附託セラレタル議第三十六號議案大正十一年八月内務省告示第

百九十三號横濱都市計畫防火地區變更ノ件ハ大正十四年四月九日、同六月二十六日、同七月十七日ノ

三回會議ヲ開キ慎重審議ノ結果左ノ通修正シ他ハ全部原案ヲ適當ト認メ議決致候此段及報告候也

大正十四年七月二十一日

特別委員長 子爵 大河内正敏

特別都市計畫委員會會長 若槻禮次郎殿

記

一 甲種防火地區口第五號ヲ削除シ第六號ヲ第五號ニ改メ以下順次繰上ク

修 正 說 明

原案五號地區ハ都市計畫街路第十號路線ノ兩側ヲ指定セムトスルモノナルモ右街路ハ鐵道線路ヲ高架横斷スル關係上其ノ半ハ盛土ヲ施工セラレ其ノ兩側ヲ地區ニ指定スルモ其ノ效果薄ク又近ク横濱驛ノ位置變更ニ伴ヒ櫻木町ニ至ル鐵道線路ハ現在ノ位置ノ西方ニ移轉シ高架式ニ改築セラル、豫定アリ而シテ是等ノ施設ハ防火線ノ效用ヲ兼ヌルモノト認ムルヲ以テ之ヲ削除スルヲ相當トスルニ因ル

○四十二番(子爵大河内正敏君) 只今議第三十六號ガ問題ニナリマシタガ、特別委員會ハ、議第三十六號ト三十七號ト兩方ノ特別委員會デアリマシテ、即チ三十六號ハ横濱市ノ防火地區變更ノ件デアリマス、其ノ問題ガ、特別委員會ニ於テハ色々ノ議論ヲ起シタノデアリマス、即チ其主ナル點ハ、横濱市ガ震災火災ノ爲ニ非常ナ打撃ヲ受ケマシテ、到底防火地區内ニ於ケル防火建築ヲ強要シテモ

之ニ堪ヘルコトノ出來ナイ状態ニ在ル、是ハ東京市ナド、ハ事情ヲ異ニスルノデアアル、特ニ居留地内ニ住居シテ居リマス外國人トシテ、日本ノ事情等ガ精シクナイ爲ニ、大正十七年ニナリマスレバ當然假建築ガ取拂ハレマシテ、本建築防火建築ニ致サナケレバナラス、ソレモ震災後直チニ建築ニ着手致シテ居リマスルナラバ、假建築ニシマシテモ相當ノ時期ガゴザイマスカラ、亦多少堪ヘ得ルノデアリマスルガ、今日ニナリマスルト、最早僅カ三四年ノコトデアリマスルシ、コノヘ持ツテ來テ建築ヲ起スト云フコトハ餘程困難デアリマスルカラ、此防火地區ニ付テハ特殊ノ取除ケヲシテ貫ヒタイト云フ御希望ガ、段々委員カラ出タノデアリマス、併シ一面ニ於テ横濱市ノミニ於テ特殊ノ取扱ヲ致シマスルト、東京市ニ於ケル防火地區ナルモノ、設置ガ無意味ニナツテ了マウノデアリマスカラ、ドウシテモソコニ妥協點ヲ見出サナケレバナラスト云フコトニナリマシテ、數回委員會ヲ開催致シマシタノデアリマス、其結果横濱市關係ノ委員ノ諸君ノ諒解ノ點モ出來マシタノデアリマス、第一ニ最モ都合ノ宜シカツタコトハ、木造建築ト鐵筋所謂防火建築ガ價格ニ於テ大ナル差額ガナイト云フコトガ、横濱ニ於テ調査サレタコトカラ證明サレテ來タノデアリマス、尤モ是ハ補助金ヲ加味シタ場合デアリマスガ——大キナ建物ニナルト殆ト差ガナイト云フコトガ分リマシテ、必スシモ經濟力ノ點ニ於テ苦ムト云フコトハナイト云フコトガ分ツテ參リマシテ、從ツテ時期ガ最モ主モナル問題トナツタノデアリマス、所ガ比時期ニ付キマシテモ政府ニ於テ必スシモ民力ノ堪ヘラレ

ナイノヲ無理ニ直ニ施行スルト云フ考ハナイノデアリマシテ、即チ時期ニ臨ミマシテ建築ノ許否ノ權能ヲ持ツテ居ラレル所ノ管轄官廳ノ意見ニ依リマシテ、相當ノ斟酌ヲ加ヘルコトガ可能デアアル、即チ餘地ガアルト云フコトノ諒解ガ成立ツタノデアリマス、ソレハ防火地區内ニ於キマシテ一時的ニ使用致シマス家屋ハ今後モ假建築ヲ許ス、又防火地區内ニ建テ、居リマスル假建築其他ヲ、時期ガ參リマシテモ一切ニ之ヲ取拂フト云フ處置モ採ラナイ、即チ其時期ニ臨ンデ適當ニ之ヲ許否スルノ權能ヲ管轄官廳ニ持タセルト云フコトノ諒解ガ出來マシタ爲ニ、大體ニ於テ防火地區ノ原案ハ何等ノ反對ナシニ決定致シタノデアリマス、唯尙ホ此防火地區丈ケデハ足りナイ、モツト餘計ニ地區ヲ増シテ貫ヒタイト云フ御意見モゴザイマシマガ、是ハ少數デアリマシタ、大體ニ於テ全會一致デア可決致シタノデアリマス、唯一ツ修正ヲ要スル點ガゴザイマシテ、是ハ極ク些細ノ箇所デゴザイマシマガ、茲ニ印刷物デ御報告致シテ居リマス如ク、僅カノ路線防火地區デアリマス、其路線ハ鐵道線路ノ爲ニ兩側ニ高く築上ゲラレル所デアリマシテ、路線防火地區ヲ施シマセヌデモ、地形ガ自然的防火ニナツテ居ルト云フ理由ノ下ニ、必要アルマイルト云フノデアリマシタ、復興當局ニ於テモ之ヲ認メラレマシタノデ、ソレ丈ケヲ除イタ次第デアリマス、是デ議第三十六號ノ特別委員會ノ報告了リト致シマス

○議長(若槻禮次郎君)

別ニ御發言モナイヤウデアリマスガ、特別委員長ノ御報告ノ通り決定スルコ

トニ異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(若槻禮次郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ特別委員長報告ノ通り決定致シマス——次ハ第三十七號議案ニ付テ特別委員長ノ御報告ヲ願ヒマス

報告

本特別委員會ハ大正十四年三月二十日附託セラレタル議第三十七號議案大正十二年七月三十日都市計畫神奈川地方委員會議決横濱都市計畫地域變更指定ノ件ハ大正十四年四月九日、同六月二十六日、同七月十七日ノ三回會議ヲ開キ慎重審議ノ結果左ノ通修正シ他ハ全部原案ヲ適當ト認メ議決致候此段及報告候也

大正十四年七月二十一日

特別委員長 子爵 大河内正敏

特別都市計畫委員會々長 若槻禮次郎殿

記

- 一 第一商業地域之部イ號中左ノ通修正ス
 - 一 「新港町ノ全部」ヲ削ル
 - 二 「新山下町三丁目ノ全部」ヲ「新山下町三丁目ノ一部(圖面表示)」ニ改ム

- 三 戸部町二丁目、同三丁目ノ圖面表示ヲ改ム
- 四 「緑町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四番地、同五番地ノ全部」ヲ削ル
- 五 「高島町一丁目ノ全部」ヲ「高島町一丁目ノ一部(圖面表示)」ニ改ム
- 六 「内田町五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目ノ全部」ヲ「内田町五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目ノ一部(圖面表示)」ニ改ム
- 七 「橘町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部」ヲ削ル
- 八 神奈川町字浦島町ノ圖面表示ヲ改ム
- 二 第一商業地域之部ロ號(一中左ノ通修正ス
 - 一 「第九號」ヲ削ル
 - 二 第十一號ヲ左ノ通改ム
 - 都市計畫街路第一號ノ内神奈川町浦島町百三十四番地ノ七地先ヨリ百三十二番地地先迄及久保町字道上千百五十二番地ノ一地先ヨリ同千五百二十八番地地先迄
- 三 第二工業地域之部中左ノ通修正ス
 - 一 「平沼町」ノ前行ニ「新港町ノ全部」ヲ追加ス
 - 二 「長住町」ノ次行ニ「高島町一丁目ノ全部」ヲ追加ス

三 「内田町四丁目」ノ次ニ「同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目」ヲ追加ス

四 「内田町」ノ次行ニ左ノ追加ス

橘町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ全部

緑町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四番地、同五番地、ノ全部

新山下町三丁目ノ全部

五 神奈川町字浦島町ノ圖面表示ヲ改ム

修正説明

第一 神奈川町字浦島町地内京濱電車軌道ト國道トノ間ノ原案商業地域ノ一部ヲ工業地域ニ變更シ内

國道沿線ノ部分ヲ路線的商業地域ニ變更シタルコト

原案ハ電車軌道ヲ商業兩地域ノ境界トシタルモ軌道以南ニハ大工場存在スルヲ以テ之ト連續シ

テ工業地域ニ指定スルヲ相當トスルニ因ル

第二 緑町、橘町及其ノ附近鐵道線路以東ノ原案商業地域ヲ工業地域ニ變更シタルコト

緑町、橘町附近ハ倉庫地帯ナルノミナラス入船町、長住町方面ト連續シテ工業地域ニ指定スル

ヲ相當トスルニ因ル

第三 新港町ノ原案商業地域ヲ工業地域ニ變更シタルコト

新港町ハ横濱稅關所在地ナルヲ以テ其設備ノ關係上工業地域ニ指定スルヲ相當トスルニ因ル

第四 新山下町三丁目ノ原案商業地域ヲ工業地域ニ變更シタルコト

原案ハ新山下町全部ヲ商業地域トシタルモ倉庫敷地トシテ最適當ナル位置ヲ占ムルヲ以テ其ノ一

部ハ特ニ之ヲ工業地域ニ指定スルヲ相當トスルニ因ル

第五 戸部町二丁目及三丁目ノ原案商業地域ヲ擴張シタルコト

原案商業地域ハ戸部町通以西及其ノ沿線ニ止リタルモ土地ノ狀況ニ鑑ミ戸部町通以東ノ土地區劃

整理施行地區ノ境界迄之ヲ擴張スルヲ相當トスルニ因ル

○四十二番(子爵大河内正敏君) 議第三十七號ハ横濱市ニ於テ商業地域、工業地域ヲ變更スルノ件デ

アリマス、之ニ就テモ大分色々議論ガゴザイマシタガ、其主ナル點ハ例ヘバ横濱稅關所在地デアリ

マシテ、此地區ハ或ハ起重機ヲ備付ケマストカ、或ハ大キナ原動機ヲ置キマストカ、其他港灣ノ設

備ニ伴ヒマシテ、工業的施設ヲスル必要ガ住々アルノデアリマスガ、之ヲ商業地域トスルト何事ニ

付テモ不便デアル、横濱稅關長モ工業地域ニ修正シテ貫ヒタイト云フ御希望モアルサウデアリマス

シ、横濱市關係ノ委員ノ方々モ是非ハ工業地域ニ變更シテ貫ヒタイト云フ御希望デアリマシタノ

デ、是ハ其通りニ修正可決サレマシタ、尙大體ト致シマシテ、横濱市ハ商業地域ガ餘リ多ウ過ギテ

工業地域ガ尠ナイ、今後横濱ノ發展ハ商業ニ俟ツコトハ無論デアリマスガ、尠ナクトモ海運ノ便宜

ノ地點ハ成ル丈ケ工業地域ニシタイト云フ御希望ガアリマシタ、結局埋立地ノ一部、山下町ノ居留地ノ下ニナリマスガ、其近邊デ工業地域ニナリマシテモ附近ノ住宅ニ對シテ餘リ煙トカ音響トカノ害ヲ及ボサナイ所ハ、之ヲ新タニ工業地域ニ變更シタノデアリマス、尙東神奈川ノ方ノ鐵過線路ニ沿フテ居リマス所デ、現在ニ於テモ工場ノ二三設置セラレテ居ル所ガ、之ヲ商業地域ニ編入サレテ居リマスノヲ、矢張工業地域ニ致シタイト云フ希望ガゴザイマシテ、是モ其通りニ變更セラレタノデアリマス、大體ニ於テ此ノ修正ニ付キマシテハ、復興局當局ニ於テモ、異論ガゴザイマセヌノデ委員會ニ於テハ無論適當ナル修正ト認メラレマシテ、是モ全會一致ヲ以テ可決サレタノデアリマス是デ報告了ハリ

○議長(若槻禮次郎君) 特別委員會ノ報告ニ御異議ハゴザイセマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(若槻禮次郎君) 御異議ナシト認メマス——第三十九號議案ヲ議題ニ致シマス

一、議第三九號

東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件

議第三九號東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件常務委員會審查

ノ經過

大正十四年五月十五日特別都市計畫委員會長ヨリ審查ニ付セラレタル標記ノ件ニ付常務委員會ハ五月三十日及七月二十三日ノ二回會議ヲ開キ慎重審議ノ結果原案ヲ適當ト認メタリ

特別都市計畫委員會幹事

○直木長官 議第三十九號ノ説明ヲ致シマス、本件ハ東京市長ガ執行サルベキ東京市ノ下水道事業ニ依テ、特ニ利益ヲ受クル者ニ對シテ事業費ノ一部ヲ負擔セシムル爲メノ規定ヲ內務省令ヲ以テ出シマスニ付テ、御審議ヲ願フノデアリマス、下水道事業ニ要スル費用ハ一億四千三百万圓ニ上ホルノデアリマスガ、其中震災前ニ執行セラレタモノガ二千万圓、又復興期間中ニ執行セラレルベキモノガ四千三百万圓、其以後完成スル迄ニ尙ホ八千万圓ヲ要スルノデアリマス、而シテ本件ハ此費用ノ一部分ヲ下水道ニ依ツテ受益スル者ヲシテ負擔セシムトスル規程案デゴザイマシテ、東京市長ノ意見ヲ徴シタシタ所、異議ナキ旨ノ答申ガゴザイマシタ、ソレカラ更ニ常務委員會ノ審查ヲ求メマシタ所ガ、是亦慎重審議ノ結果之ヲ適當ナリ認メラレタノデアリマス、此規定ノ要點ニ付キマシテハ此議案ニ添付シタル説明ニ詳シク書イテ置キマシタガ、其要點ヲ摘ンデ申シマスレバ、第一、負擔金ノ割合ハ事業費ノ三分ノ一ト規定シテアリマス、東京市ハ官有地ガ澤山ゴザイマスノデ、事業費ノ三分ノ一ヲ官民有總テノ地面ニ負擔セシメテ、其中カラ民有地ニ割當テラルベキ部分ガ實條ノ負擔額トナルノデアリマスガ、此實際負擔額ガ事業費ノ約五分ノ一ニ相當スルノデアリマス、第二、其

負擔スベキ受益者ノ範圍ハ、民有ノ有租地ノ土地所有者ヲ原則トシテ、質權、地上權、永小作權、賃借權ノ設定セラレテ居リマス土地ニ對シテハ、其權利者ヲ以テ受益者ト看做シ、第三其負擔ノ方法ハ土地ノ面積ニ比例シテ定メルノデアリマシテ、之ヲ負擔セシムルニ付テ工事ノ上カラ當然下水道ノ施設ハ自カラ排水區ヲ區別スルコトニナルノデアリマス、從ツテ負擔區ヲ設ケマシテ、其區内ノ工事費ヲ算定スルコトニナルノデアリマス、又負擔區ノ内カラ必要ナル場合ニハ更ニ細分シタ負擔區ヲ持テモ差支ナイノデアリマス、一般ニ三分ノ一ト云フ費用ヲ負擔セシムルノデアリマスガ、下水工事ノ爲ニ著シク土地ノ利用ヲ増進シタ場合、若ハ下水道ニ排除スル汚水量ガ著シク多量ナル事業ヲ經營スルトキ、又ハ階數ニテ超ユル建物ヲ有スルトキニハ特ニ負擔ノ増課ヲ認メテ居リマス第四ニ此負擔金ハ工事ガ出來マシタ日ノ現在ニ依ツテ、其ノ受益者カラ納付セシムルノヲ原則トシテ、五年間ニ分ツテ均分ニ納付セシムルコト、シ、若シ特別ニ理由アルトキハ相當ノ利息ヲ附シテ尙ホ五ヶ年以内ノ猶豫期間ヲ認ムルコトモ出來ルノデアリマス、第五ニ今迄ニ竣工シマシタ淺草方面ノ如キ、或ハ既ニ出來上ツタ速成工事ノ如キ、既設下水工事ニ對シテ負擔ヲ省クト云フコトハ、今後仕事ニ掛ル分トノ間ニ公平ヲ得マセヌカラ、是ハ過去ニ遡ツテ負擔金ヲ課スルコトニナツテ居リマス、サウシテ此規定ノ施行セラレル前ニ竣工シタモノハ、此規定ノ施行ノ日ヲ以テ竣工ノ日ト看做スコトニナツテ居リマス、此次ニ出マス議案第四十二號デ下水道速成事業執行年割ノ御審議ヲ

願フノデアリマスガ、此速成事業ニ對スル工事費豫算ノ財源トシテハ、既ニ出來上ツタ下水道ノ方カラ産レル所ノ受益者負擔ノ金額ガ、財源ニ加ツテ居ルノデアリマス、是ハ市會ニ於テモ御認メニナツテ、御議決ニナツタ點モアルノデアリマス、大體ニ於テ斯様な意味ヲ以テ省令ノ案ガ出來テ居ルノデアリマス、何卒適當ナル御審議ヲ願ヒマス

○六十七番(太田信治郎君) 本案ハ頗ル重大ナル案デアリマス、震災ノ場合ニ非常ナル災害ヲ受ケテ居ル所ノ市民ガ、斯ノ如キ多額ノ負擔ヲ、假令五箇年ノ期間ナリト雖モ出サレケレバナラス、又一面ニハ、此下水ノ負擔ノミナラズシテ、復興事業ニ付テハ種々ナル受益——受益ノト言フト言葉ガ變デアリマスガ、兎ニ角種々ナル負擔ヲシナケレバナラス。又一面ニハ此事業ノ進行上ニ付キテハ頗ル慎重ノ調査ヲ要スルコトデアルト私ハ信ジマス、此場合ニ此負擔ニ堪ヘ得ルカ否カト云フコトハ大イニ考慮ヲ要スルモノデアラウト思フ、殊ニ此條文ハ、頗ル浩瀚ニナツテ居リマス、此災暑ノ折柄詳細ナル質問應答ヲ繰返スト云フコトハ容易ナコトデアアルマイト考ヘマス、故ニ本案ハ、特別委員ヲ設ケラレマシテ、サウシテ特ニ慎重ニ御審議アランコトヲ私ハ此場合ニ提案致ス次第デアリマス、而シテ委員ハ議長指名十一名ノ委員ニ付議セラレンコトヲ併セテ希望致シマス

○三十一番(有吉忠一君) 一寸當局ニ、後日ノ爲ニ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、既ニ竣工シタル工事ニ對シテ遡ツテ受益者ノ負擔ヲ命ズルト云フコトハ、單ニ此下水工事ノミナラス、斯様な

ル種類ノ土木事業ニ對シテ常ニ御認メニナル御方針デアリマスルカ其點ヲ確メテ置キタイ

○直木長官 只今ノ御質問ニ御答ヘ致シマスルガ、遡ツテ認ムルト云フコトデアリマスガ、ソレハ事柄ノ起リマシタ場所ニ依ツテ考慮ヲ要スルコトハ勿論デアリマスルガ、既ニサウ云フコトニナツテ居ル先例ガ多々アルノデアリマス

○三十一番(有吉忠一君) 分リマシタ

○四十一番(福田又一君) 大體ニ於テ本員ハ、敢テ此案ニ異存ハナイノデアリマスガ、只今委員付託ト云フ説ガ出テ居リ、又實際是ダケノモノヲ直チニ此處デ決スルト云フコトハ餘程考ヘモノダト思ヒマスカラ、委員付託説ニ同意致シマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(若槻禮次郎君) 六十七番ノ委員付託ノ動議ニ御賛成ガアルノデアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(若槻禮次郎君) 御異議ハナイト認メマシテ左様ニ致シマス——委員ノ指名ヲ議長ニ御一任ノナリマシタカラ、御指名ヲ申上ゲマス

上山滿之進君

鈴木富士彌君

中村是公君

篠原英太郎君

潮惠之輔君

近藤達兒君

太田信治郎君

福田又一君

渡邊鐵藏君

久保三友君

直木倫太郎君

此十一人ノオ方ニ御願ヒスルコトニ致シマス——議第四十號ヲ問題ト致シマス

一、議第四〇號

大正十一年十二月二十三日内閣認可東京都市計畫目黒川改修事業執行年限延長

竝執行年度割變更ノ件

○直木長官 説明ヲ申上ゲマスガ、本案ハ、東京府ニ於テ施行セラルベキ目黒川改修事業執行年限ノ延長執行年度割變更ノコトデアリマス、此計畫ハ大正十二年度カラ七箇年間ニ亘ツテ府ニ於テ執行サレルコトニナツテ居ツタノデアリマスガ、將ニ準備ニ着手セントシタ場合ニ大震災ガ起リマシテソレガ爲ニ事業ヲ中止シテ既定豫算ヲ變更スルノ已ムヲ得ザルニ至ツタノデアリマス、年限ヲ一箇年間延長シ、且ツ年割額ヲ變更セントスルノデアリマス

○六十七番(太田信次郎君) 本案ハ既ニ大正十一年ニ決定セラレタ案デアリマスガ、震災ノ爲ニ斯ノ如ク相成ツタノデ、變更ハ已ムヲ得ナイ次第デアリマスカラ直チニ即決可決アランコトヲ希望致シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(若槻禮次郎君) 原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(若槻禮次郎君) 原案ニ御異議ハナイト認メマス——第四十一號議案ニ移リマス

一、議第四一號

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中並大正十一年七月十二日內閣

認可東京都市計畫街路ノ新設、擴張及河川ノ新鑿、改修理立事業執行年度割中

變更ノ件

○直木長官 第四十一號議案ハ、曩ニ大正十年ニ於テ內閣ノ認可ヲ經テ居ル東京都市計畫街路及ヒ河川等ニ關スル事業ノ變更デアリマス、色々ノ問題ガ絡ンデ居リマスルノデ、此案ニ書イテアリマス通り、先ヅ第一ノ問題ヲ説明申上ゲマス、第一ノ問題ハ、明治神宮ノ内外苑ノ連絡道路デアリマス此部分ハ幅員ガ十三間ト云フコトデ議定サレテ居リマスガ、之ヲ二十間ニ擴張致シマシテ、植樹帶ヲ増シ、更ニ乘馬道ノ幅員四間ノモノヲ附加ヘタイ、斯ウ改メタイト云フノガ第一ノ問題デアリマス、第二ノ問題ハ、之モ既ニ大正十年ニ決定致シテ居リマスル事業ノ中デ——大正十年ニ決定シテ居ル都市計畫事業ハ非常ニ澤山アリマスルガ——下町ニ屬スル部分ハ、或ル部分ハ既ニ復興事業ノ

中ニ含まレテシマツタヤウナ形ニナツテ居リマス、ソレカラ山手方面ニ執行スベキ部分ガ尙ホ殘ツテ居ルノデアリマスルガ、東京市ニ於ケル財政ノ都合等ガアリマスルノデ、其決定サレテ居ル路線ノ中カラ、特ニ第二ニ列舉シテアル部分ダケヲ、至急ヲ要スル仕事ト見テ、是ダケノモノヲ、大正十四年度十五年度ノ間ニ繼續執行スルコトニシテ、其年度割ヲ定メタイ、第二ハ、其以外ニ屬スル既ニ議定サレテ居ツタ所ハ、此際一應其執行年度割ハ廢シテシマイタイ、斯ウ云フ案デアリマス、第二ニ於テ至急ヲ要スルト認ムル道路ハ、第一ガ一等大路第三類第三號ノ路線中天現寺橋ヨリ四ノ橋北詰ニ至ル區間、ソレカラ第二ハ一等大路第三類第十號路線中東京市區改正設計第二等線トノ街角——ト申シマスノハ、是ハ新宿ノ追分ノ所ニアリマス道路ノ街角ヲ切り擴ゲル工事デアリマス、是ハ復興工事ニ要シマスル砂利ヲ玉川カラ市内電車ニ依ツテ運搬スル必要カラ、市内電車ト京王電車ヲ連絡セシムル必要上、此點ヲ擴ゲタイ、次ニ二等大路第一類第七號路線ト云フノハ、是ハ東京府市ガ執行サレル日暮里線中根岸方面ノ道路デ、東京市ガ執行セラルベキ部分ガ出來ナイノデ殘ツテ居リマス、是ハドウシテモ棄テ置ケナイト云フ點カラ此道路ヲ加ヘタノデアリマス、其次ノ二等大路第二類第一號ノ路線中千駄ヶ谷町字北ノ脇三百二十八番地ヨリ大字代々木八十九番地地先明治神宮ニ至ル區間ハ、第一ニ申シマシタ内外苑ノ連絡參宮道デアリマス、其次ノ二等大路第三類第三號路線中市ヶ谷臺町九十三番地三十一號地地先ヨリ同七十五號地地先ニ至ル區間、是ハ市ヶ谷臺町

地内ニ東京土地株式會社ノ住宅地ガアリマシテ、是ガ大正九年十二月ニ燒ケマシタ、ソシテ建築工事ノ施行ニ先チ大正十年五月内閣認可ノ都市計畫街路ヲ決定シマシテ會社ノ施設シタル幅員四間ノ道路ノ右側ニ於テ幅員約二間建築ヲ制限スルコトニナリマシタ、ソレガ今日マテ其儘ニナツテ居リマスカラ此部分ニ於ケル敷地ヲ買收シテ側溝工事ヲ施工セムトスルノデアリマス、其次ハ二等大路第三類第五號路線中早稻田鶴卷町二百三十番地々先ヨリ同三百七十一番地地先電車通ニ至ル區間、之モ大正九年ニ燒ケタ部分デアリマス、其中デ此部分ノ道路工事ヲ至急ヤリタイト云フノデアリマス、是ダケノモノヲ拔出シマシテ、右ノ事業費ガ二百八十九萬圓、之ヲ十四年度十五年度ニ分割シテ執行年割ヲ定メタノデアリマス

○一番(男爵斯波忠三郎君) 一寸御尋テシタイ、從來本會ニ於キマシテ、道路ノ幅員、長サノ如キハ「メートル」ヲ單位トシテ議決ニナツタヤウニ私ハ承知シテ居リマスルガ、今回ノハ「間」ナツテ居リマスルガ、是ハ何カ意味ガアリマスルカ

○直木長官 此案ニ出テ居リマスルノハ、既ニ大正十年ニ議定ヲ經マシタ路線デアリマスルノデ、其儘ニ踏襲シテ居リマス、新タニ出シマスノハ皆「メートル」デ出シマス

○一番(男爵斯波忠三郎君) 今回之ヲ矢張「メートル」ニ御改メニナツタ方ガ統一ノ上ニ於テハ結構デナイカト思ヒマスガ、當局ニ於テハサウ云フ御考ハナイノデアリマスカ

○直木長官 此案ノ第三ノ所ニ、是レ以外ノ都市計畫路線デ、大正十年ニ定マリマシタモノハ、其事業ノ執行年割ダケヲ廢スルコトニナツタノデアリマスガ、計畫ダケハ生キテ居ルノデアリマス、ソレヲ「メートル」ニ改メマシテモ差支ナイノデアリマスガ細カイ數ガ附イテ來マスノデ、此儘御認めテ願ヘレバ結構デアリマス

○六十七番(太田信治郎君) 大正十年内閣認可ノ東京都市計畫街路ハナカク數ガアルヤウデアリマスガ、其事業ハ廢スルノデナク年度割ヲ廢スルノデアル、斯様ニ思フノデアリマスガ、サウスルト此御廢シニナツタモノノ中ニハ、今度ノ復興事業ノ中ニ合マルモノガ多數アルダラウト思フ、是等ノ關係ヲ更ニ御調査ノ上近日御提案ニナル御考デアリマスカ、是ガ區劃整理事業ヲ遂行スル上大變關係ガアルト思フ、殊ニ運河ノ開鑿ガ一層、道路ト換地ノ關係上非常ニ支障ヲ來スヤウナコトガアリハシナイカト思フ、故ニ是ハ一日モ速ニ決定シナケレバナラヌモノト信ズルノデアリマスガ併シソレ等ノ事柄ハ東京市長ノ執行スヘキ執行年度割ヲ削ツタガ、復興事業トシテ年度ヲ割ツテ、着々ヤツテ往クノデアリマスカ、或ハ更ニ案ヲ具シテヤルノデアリマスカ、尙ホ併セテ申シマスガ其他ノ件ニ付テハ總テ原案ノ儘デ至極適當ナリト認メマスカラ、寧ロ今ノメートルニ改正ノ如キハ枝葉ノ問題デアリマス、何レニシテモ差支ナイト信ジテ居リマス

○直木長官 大正十年ニ極マリマシタ計畫中、復興事業ニ關係ノ分ハ總テ計畫ヲ削ツテシマイマシテ

復興計畫ガ活キテ居ル譯デアリマス、其以外ニ除ケテ居リマスノハ、運河デ言ヘバ小名木川ノ郡部ノ部分ト、街路ノ部分ガ残ツテ居リマスケレドモ、復興計畫トハ少シモ矛盾シテ居リマセヌ

○六十七番(太田信治郎君) 本案モ速ニ原案通り御議定アランコトヲ希望致シマス

○議長(若槻禮治郎君) 原案ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(若槻禮次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ原案ニ決シマス——次ハ第四十二號議案ヲ問題ニ致シマス

一、議第四二號

東京都市計畫下水道(速成)事業執行年割決定ノ件

○直木長官 議第四十二號ハ東京市ノ下水道速成ニ關スル事業執行年割決定ノ件デアリマスガ、東京市ノ下水道ハ震災前ニ於テ第一期事業、第二期事業及一部分ノ山ノ手方面ノ速成工事ヲヤツテ居リマス、其外ニ震災ニ因ル焼失區域中復興事業費デ引續イテ更ニ執行シテ居リマスガ、其仕事以外ニ於テ山ノ手方面ニ於テ降雨ノ度毎ニ雨水氾濫ニ因ル被害ノ甚ク捨置キ難キ箇所ガアリマスノデ其中カラ更ニ二十二箇所ヲ選ンデ急速ニ速成工事ヲ執行シヤウト云フノデアリマス、大正十四年度ヨリ十七年度迄四ケ年ニ涉ツテ、豫算四百五十八萬圓ヲ以テ是丈ケノ仕事ヲシタイト云フノデ、其

年割額ヲ定メントスルノデアリマス 此財源ノ中ニ既成事業ニ對スル受益者負擔ガ、其財源トナルヘキモノトシテ市會ノ議決ヲ經テ居ル譯デアリマス

○議長(若槻禮次郎君) 原案ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(若槻禮次郎君) 御異議ナシト認メマスカラ原案ノ通決シマス——第四十三號議案大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件(隅田公園及錦糸公園關係)ハ大藏省トノ交渉ガマダ手續ガ未了デアリマスノデ、一應是ハ撤回シテ、後日改めて御會議ヲ願フ積リデアリマスカラ、此際ハ是ハ撤回スルコトニ致シマス——第四十四號議案ヲ問題ニ致シマス

一、議第四四號

大正十三年三月十一日内閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件(第七號路線及第十五號路線關係)

○直木長官 第四十四號議案ハ、橫濱ニ於ケル都市計畫ノ道路ノ變更デアリマス、第十五號路線ト云フノガアリマス、其位置ヲ少シ變更致シマスノデ、其變更ヲ必要トスル理由ハ、橫濱驛ガ移轉致シマスノデ、新シク移轉スル橫濱驛ニ都合ノ好イヤウニ道路ノ方モ變更致スノデアリマス、即チ第十號路

線ハ東海道線ヲ高架跨越シナケレバナラヌコトナリマス結果、坂道ニナリマスノデ、第十五號路
線ハ第十號路線ノ坂路ノ途中ヲ横斷スルニ至リマス、之カ爲其交叉スル所ヲ坂ノ途中デナイヤウニ
致シタイト云フ點カラ、路線ノ位置ノ變更ガ必要ニナリマス、同時ニ此道路ハ横濱驛ガ出來上リマ
スト交通ガ頻繁ニナリマスノデ、十五米突ノ幅員ヲ二十二米突ニ擴張スル必要ヲ感ジマシタ、之ト
關聯シテ第七號路線ガアリマスガ、十五號路線ノ變リマス關係上、其他交通ノ状態ヲ考ヘマシテ、
其一部分ヲ廢止致シマシタ、元此七號路線ノ極マリマシタノハ横濱驛ノ移轉スベキ位置ガ極マツテ
居リマセヌ時ニ必要ナリトシテ極マツタノデアリマス、横濱驛ノ位置ガ確定致シマスルト、此道路
ハ驛カラ餘リ離レテ居リマシテ、ソレ程效果ヲ現ハサナイト認メマシテ、ソレガ二十二米突ニナツ
テ居リマスガ、是ハ廢止スルコトニシテ、區劃整理道路ノ十一米突ノ道路ニ變ヘル積リデアリマス
是ハ横濱ノ區劃整理委員會ニ於テモ適當ナリト認メラレマシテ、議定サレタ路線デアリマス

○議長(若槻禮次郎君) 本案ハ別段御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(若槻禮次郎君) 御異議ナイト認メマシテ、可決ニナツタモノト致シマス——是デ本日ノ議案
ハ總テ議了致サレマシタカラ、散會ヲスルコトニ致シマス

午前十一時三十分 散會

東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ニ關ス
ル特別委員會第一回議事速記録

特別都市計畫委員會東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ニ關スル
特別委員會第一回議事速記録

大正十四年八月六日(木曜日)復興局ニ於テ開會

議事日程

一、議第三九號 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件

出席者氏名

渡邊鐵藏君	近藤達兒君	久保三友君	福田又一君	東京市長中村是公君代理	潮惠之輔君	太田信治郎君	直木倫太郎君
			東京市助役	田澤義鋪君			

幹事

吉田茂君

菊池愼三君

復興局職員

土木部長 太田圓三君

其ノ他關係職員

委員長選舉

出席委員全部ノ推薦ニ依リ渡邊鐵藏君委員長トナル

議事

午前十時二十分 開議

○委員長(渡邊鐵藏君) ソレデハ此席ヲ瀆シマス、何分宜敷御願ヒ致シマス——是ヨリ開會致シマス

——東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件ニ付テ御審議ヲ願ヒマス、當局者カラ御説明デモゴザイマスカ

○直木長官 本會議デ大體説明シテ置キマシタガ、御審議ニ都合ノ好イヤウニ申スコトニ致シマセウ

○菊池計畫課長 ソレデハ簡單ニ御審議ニ都合ノ好イヤウニ申上ゲルコトニ致シマス、先ツ此受益者

負擔ノ規定ヲ極メル根據カラ申上ゲマス、ソレハ後ニ參考トシテ四表ガゴザイマス、其ノ方カラ申シマス、受益者負擔ヲ爲サシメ得ルコトハ、都市計畫法ノ第六條第二項ニ「主務大臣必要ト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ受クル利益ノ限度ニ於テ前項ノ費用全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得」ト云フ規定ガアリマスノデ、全部ノ負擔ヲモ命ジ得ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、併シ「勅令ノ命スル所ニ依リ」トナツテ居リマス其勅令ハ都市計畫法施行令デアリマシテ、施行令ノ第九條ニ「左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ非サレハ都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ス」トアリマスガ、下水道ノ場合ハ各號ノドレニ該當スルカト申シマスト、主トシテ第二號ニ該當スルノデアリマス、第三號ニハ「事業ニ因リ生シタル營造物カ他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌルニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ又ハ其ノ營造物ヲ利用スルニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ」トアリマシテ、此後段ノ規定ニ依リマシテ、下水道ト云フ營造物ノ爲ニ著シク利益ヲ受ケルトカ、或ハ前段ノ規定ニ依リマシテ、下水道ト云フ營造物ガ從前ハ開渠デアツタモノヲ、今度ハ暗渠ニシタ爲ニ道路ノ用ヲ兼ネルト云フ場合ニハ、ソレガ爲ニ著シク利益ヲ受クルトキニハ此前段ノ規定ニ當儀マルノデアリマス、其ノ外第四號ニ於テ「……内務大臣ヨリ指定セラレタルモノアルトキ」ト云フ此號モ働クノデアリマス、都市計畫事業ニ依テ現實ニドウ云フモノガ利益ヲ受ケルカト云フコ

トヲ、勅令ハ内務大臣ガ斯ウ云フ者ガ利益ヲ受ケルト云フコトヲ指定シ得ルヤウニナツテ居リマス
ソレカラ受益者負擔ノ規定ヲ此委員會ハドウ云フ關係デ審議サレルカト申シマス、施行令第十條
ニ「都市計畫法第六條第二項ノ規定ニ依リ負擔セシムル費用ノ金額及其ノ負擔方法ニ付テハ關係市
町村長ノ意見ヲ聞キ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ内務大臣之ヲ定ム」トアリマスノデ、附議セラル、
コト、ナルノデアリマス、尙ホ此規定ノ表面カラ見マスルト、市會ハ此ノ受益者負擔ノ件ニ付テハ
直接關係サレナイ形ニナツテ居リマスガ、市ノ財政ニハ關係ノアル事柄デアリマスカラ、實際ノ運
用上市會ト聯絡ヲ取ルコトガ必要デアリマスノデ、現ニ下水道ノ速成事業費ニ四百八十何万圓ノ受
益者負擔金ヲ其ノ歲入トシテ見積ツテアリマシテ、市會ハ其ノ豫算ヲ議決シテ居ラレルノデアリマ
ス、市會ノ大體ノ財政方針トシテハ、受益者負擔ヲ取ルコトカ決定シテ居ル譯デアリマスカラ、サ
ウ云フ譯ニ市會トノ聯絡ハナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ受益者負擔ノ規定ノ出來テ居リマス
ノハ、唯今迄ノ所丈ケデハ、大阪ノミデアリマス、大阪ノ規定ヲ第二表トシテ御參考トシテ供シマ
ス、大正十二年七月ノ内務省令ニ出テ居リマス、今度ノ規定モ大阪ノ規定ト歩調ヲ大體一ツニスル
ヤウニシテ居リマス、ソレカラ第三表ニハ受益者負擔ヲ取ル總額ガ幾ラニナルカ、又東京市ノ下水
道事業ノ總工費ガ幾ラニナルカト云フコトヲ一目シテ分カルヤウニ表示シタノデアリマス、サウシ
テ各區ニ依ツテ、一坪當リノ負擔金ガ幾ラニナルカト云フコトヲ示シタノデア
リマス、第四表ハ東京市ノ下水道計畫ノ決定ニナツテ居ルモノヲ文字ニ現ハシタノデアリマス、參
考トシテ御覽ニ入レル點ハサウ云フ形ニナツテ居リマス、其ノ他ノ條項ハ逐條ニ入ラレタ其際ニ申
シタ方ガ、議事ノ進行上都合ガ好クハナイカト思ヒマスノデ、茲ニ省略致シマスガ、大體以上ノ通
リデアリマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 唯今當局カラ御説明ガアリマシタガ、之ニ付テ大體ノ、全般的ノ御質問ガア
リマスナラバ御發議ヲ願ヒマス

○久保委員 一寸伺ヒマスガ、大阪デハ十二年カラ實行シテ居ルヤウデアリマシテ、又大阪デハ六分
ノ一デアリマスガ、東京デハソレヨリ多イ、五分ノ一トナツテ居リマス、ソレデ大阪ノ實行上ノ模
樣、詰リ成績ハドウ云フ結果ニナツテ居リマセウカ、其實績ヲ參考ノ爲ニ伺ヒタイト思ヒマス

○菊池計畫課長 大阪ノ大體ノ狀況ヲ申シマス、大阪ハ大體豫算デ徵收スルコトニナツテ居リマシ
テ、其成績ハ當局者ガ非常ニ努力ノ結果モゴザイマセウガ、殆ト完納ニ近い成績ヲ得テ居リマス、
第一第二ト負擔區ヲ別ツテ徵收ヲ終ヘマシテ、今第三區ニ掛ツテ居ルヤウナ状態デアルト承ツテ居
リマス、

○久保委員 東東ハ大阪ヨリ多ク、五分ノ一トナツテ居リマスガ、ソレハドウ云フ譯デアリマスカ

○菊池計畫課長 ソレハ斯ウ云フ關係デアリマス、其歩合ハ絶對ニドノ位デナケレバナラヌト云フコ

トハナイノデアリマス、唯市ノ財政ノ都合ニ依ルノデアリマシテ、若シ其率ヲ低ク致シマト、市税ノ收入シ此ノ方ニ當テナケレバナラヌトカ、或ハソレガ爲ニ下水道全體ノ事業ノ完成ガ遅レルヤウニナルノデアリマス、五分ノ一ト六分ノ一ト云フコトハ事業ニ依ツテ違ヒマスカラ、道路ノ受益者負擔ノ場合ハ、或所ハソレヨリ餘計ニ取ツテ居リマス、例ヘバ名古屋ハ十分ノ七ト、十分ノ六デアリマス、ソレデ歩合ハ土地ニ依ツテ狀況ガ違フノデアリマス、東京ハ五分ノ一位取ルノガ適當デアラウト云フノデ斯ウ極マツタノデアリマス

○直木長官 尙ホ私ヨリ附加ヘテ説明致シマスガ、大阪ハ町ノ本體ハ昔下水道ガ出來ナカツタノデアリマス、最近受益者負擔ヲ取リツ、アルノハ新ニ市トナル所デ、ソコハマダ家ノナイ所デ、本市カラ離レテ築港ニ往ク所デ、兩側ニ草茫々ト生ヘテ家ノナイ所、ソコニ率先シテヤツテ居ルノデアリマス、家ガマダ建ツテ居リマセヌカラ、條例ハ四分ノ一以内トシテ、負擔スベキ家ガナイカラ東京市内ノ人家ノ稠密シテ居ル所トハ、自カラ實際ノ趣ガ大分違フノデアリマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 私モ關聯シテ伺ヒタイノデアリマスガ、大阪ノ規定ハ四分ノ一以内ト云フ御話デアリマスガ、規定ハ四分ノ一以内トシテ實行ハ六分ノ一デアアル、東京ハ規定ハ三分ノ一トナツテ居リマスガ、後ノ御説明ニ依ルト、大阪ト大分規定ノ仕方が違フヤウデアリマスカラ規定ノ通りニヤツテモ、負擔ハ五分ノ一デアルト云フ御説明デアリマシタ、サウスルト五分ノ一ト云フ點ヲ

見ルト大阪ノ實行ノ六分ノ一ヨリ多イヤウデアリマスケレドモ、實際適用スル場合ハ實狀ヲ見テ、五分ノ一ヨリモツト低クサレルノデアリマスカ、或ハ五分ノ一丈ケハ取ルノデアリマセウカ

○菊池計畫課長 是ハ五分ノ一デアリマス

○福田委員 逐條ニシテ載キマセウカ

○渡邊委員長 ソレデハ逐條審議ニ致シマス、一條ト二條ハ一緒ノ方ガ宜シイヤウデアリマスカラ、一條二條ニ付テ御審議ヲ願ヒマス、御質問ガアリマシタナラバ――

○久保委員 第二條ニ賃借權者トアリマスガ、賃借人ニ矢張負擔サスコトニナツテ居リマスカ

○菊池計畫課長 サウデス、ソレハ工事竣功ノ日ヨリ起算シ、殘存期間ガ十年以上アル賃借權ナレバ受益者トシテ負擔サセル

○久保委員 十年以上ナケレバイカスノデスカ

○菊池計畫課長 サウデス

○福田委員 第二條ノ第二號ノ「前號ノ區域内又ハ地域内ニ在ル無租地ニシテ公用又ハ公共ノ用ニ供セラレサルモノ」ト云フノハ、例ヲ舉ゲルトドウ云フノデアリマスカ

○菊池計畫課長 其ノ場合ハ餘リ澤山ノ例ハナイカト思ヒマスガ、官有地、國有地ニ對シテハ皆租稅ガ課セラレナイ、皆無租地デアリマス、ソレヲ公共ノ用ニ供シナイデ人ニ貸シテ居レバ受益負擔ヲ

○渡邊委員長 第二條第二號ノ只今ノ質問ノ所デアリマスガ、此規定ニ依ルト、受益者ト云フノハ道路ノ場合ノ受益者ト違ツテ、殆ド不動産權利者ノ全部、俗ノ言葉デ言ヘバ、市民全般ト云フコトニナルヤウニ聞エル、サウスルト此二條ノ二號ノ無租地ト云フコトガ受益者デナイト云フ條件ニ主ニナルヤウデアリマスガ、無租地ト云フモノ、内容ガハツキリシテ居ラナイト、其中ニハ負擔ヲ課スベキモノガ當然アルト思ヒマスガ、無租地ニ付テ一寸御説明ヲ願ヒマス

○菊池計畫課長 地租條例デ地租ヲ課サナイモノト云フ意味デアリマス、官有地、ソレカラ公共團體ニ於テ公共ノ用ニ供スルモノ、地租條例ノ條文ヲアトデ御覽ニ入レタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ鐵道用地トカ私設學校ノ用地トカ、其他ノ例ヲ申セバ、私設會社ノ水道用地等、ソレノ特別ニ條例以外ノ法規ニ依テ地租ヲ課セスト規定シタモノガアリマス、サウ云フモノデアリマス

○渡邊委員 是ハ根本的ノ非常ナ大キナ問題ニナル、此道路下水其他ノ受益者負擔ニ付テハ、殊ニ下水ニ付テハ、公共團體トカ或ハ政府、其等ノ營造物ニ對シテ負擔ヲ課スルト云フ風ナ議ハ一切無カツタモノデアリマセウカ、又此無租地ト云ヒマスルト大分範圍ガ廣イヤウデアアルケレドモ、學校トカ、或ハ社會局若クハ市デ持ツテ居ル土地ニ建ツテ居ル市有住宅ノ如キ、或ハ大公使館ノ用地トカ受益者負擔ニ付テ考慮スベキ場所ガ、東京ニハ特ニ多イヤウデスガ、一方政府其他ノ營造物ハ、租

税モ免ゼラレ、尙ホ受益者負擔モ負擔シナイト云フコトニナルヤウデアリマスガ、東京市ハ大坂市ヨリハ特ニ困難ナヤウナ點ガ見受ケラレルノデアリマスガ、サウ云フ事ニ付テ御伺ヒシタイ

○菊池計畫課長 官有地公共用地ニハ之ヲ課サナイコトガ宜クハナイカト思フ、道路ノ方ハ先ヅ問題ハナイト思フ、問題ハ官有地ニ受益者負擔ヲ課セラレナイト云フコトハ私共純理トシテハ渡邊サンノ言ハレタヤウニ感ズル、水道ハ取ラ下水ハ取ラナイト云フノハ筋途ガ合ハナイヤウニ思フ、現在デハ地租條例ニ無租地ニ付テハ租税及ビ公課ヲ課スルコトヲ得ナイト云フ規定ガアル、此公課ニ、受益者負擔ガ現在ノ制度デハ當ルト思フ、立法論トシテハ、課税シテ市ノ財源ニスルト云フコトハ好マシイト思ヒマスガ、只今ノ制度デハ實行ガ困難デアル、ソレヨリ、打明ケテ申上マズレバ、之ヲ市町村ノ公課デナイト云フヤウナ解釋ガ附ケ得ナイカト云フコトヲ攻究シテ見タノデアリマスガ只今ノ所デハ無理デアラウト云フ感ジガアリマス、ソレデ、道路法ニ依ル受益者負擔ヲ取りマス場合ニハ、道路管理者ガ取ルコトニナツテ居リマス、都市計畫事業ノ受益者負擔ハ、東京市ガ之ヲ賦課シテ取ルノデアリマスカラ、ドウモ公課ト解釋スル外ハナイ、道路ノ場合ノヤウニ道路ノ受益者カラ管理者ガ取ルノデハナイ、管理者ガ取ルノデアレバ或ハ公課デナイト云フコトガ言ヘヤシナイカ管理者ガ取ツテ後ニ別ノ處分デ市ノ所得ニナル、之モ成ベクハ渡邊サンガ御話ノヤウニ、取レルヤウニシタイト考ヘテ居リマスガ、只今ノ所デハ困難デアルト思フ

○渡邊委員長 其免税サレルニ付テサへ、此特典ヲ廢スルト云フ意見ガアリマスガ、更ニ受益者負擔ヲ免ゼラル、ト云フコトニナルト、東京市ナドハ重大ナ問題デアルト思ヒマスガ、法律ヲ改正スルトナルト容易ニ是ハ出來ナイガ、若シ是ガ解釋デ行ケレバ宜イト思フ、大公使館ノ如キハ是ハ租稅ハ勿論、道路ノ鋪裝費、下水道ノ受益者負擔モ免ゼラル、モノト思ヒマスガ、ソレカラ市トカ社會局、殊ニ社會局等デ土地ヲ買ツテ住宅ヲ建テマシテ、ソレハ免租地デアラウト思ヒマスガソレハ矢張公共ノ用ニ供セラレルモノト見ルノデアルカ、公共ノ用デナイト見ルノデアルカ、即サ受益者負擔ニ付テハドウナルノデアリマスカ

○菊池計畫課長 ソレハ斯ウ云フ關係ガアルト思ヒマス、社會局ナドノ今ノ住宅經營ナドニ使ヒマス土地ニ付キマシテハ、土地收用ノ關係デハ、市町村ノ公共事業トシテヤル場合ハニ土地收用ガ出來ル、此場合ニ、公共事業ニ當ルト云フヤウナ意味デ、土地收用權ヲ與ヘルヤウナ風潮ガアルト思フ今ノ公營住宅ノ方ノ土地收用ノコトデアリマスルガ、收用權ヲ與ヘテ置イテ、一方デハ公共ノ用ニ供シナイト云フコトハ困ルト思ヒマス、大抵ソレハ公共ノ用ニ供シナイノダト云フコトモ考ヘラレナイノカト思ヒマス、ソレカラ大公使館ノハ國有地デ、安イ料金デ大公使館ニ使用セシメテ居ル、國有地ノ關係デ土地其モノハ無租地ニナツテ居ル、大公使館ニ貸シテ居ルノハ、日本カラ見テ利用ガドウカト云フ問題ニナルノデ、或ル程度ノ解釋ノ餘地ガアルカ知レヌガ、實際ノ問題トシテハ、

之モ實行ガ甚ダ困難デナイカト思フ

○潮委員 先程ノ御尋ノ中ニ地方稅ニ付テノ御尋ガアリマシタカラ申上ゲテ置キマスガ、今日地方稅ハ、又縣稅デモ市稅デモ、命令ヲ以テ、國ノ事業、國ノ所有地、國ノ行爲ニ付テハ課稅ガ出來ナイコトニナツテ居リマス、土地ニ於テ問題ニナルコトハ、土地ヲ國ガ澤山有シテ居ル、サウシテ地方團體ノ施設ニ依ツテ相當ノ利益ヲ受ケテ居ルト云フコトデ、議會デモ非常ニヤカマシイ問題デアリマス、何トカ國ニ負擔サセタラドウカト云フ議論ガ盛ンニアル、從來其議論ニ現レテ居ルノハ、直チニ法律ヲ改正シテ國ニ課稅スルコトハ困難デアルガ、何等カソレニ或ル程度ノ交付金ヲ與ヘテハドウカ、現ニ宮内省ガ御料地ニ付テハ、少額デアルガ、總計デ二十萬圓バカリノ金ガ支出サレテ居ル、ソレニ國ハ何モヤツテ居ラナイト云フコトデ問題ガ起ツテ居ル、是ハ財政ノ都合ガアリマシテ實行ガ出來マセヌガ、今内務省デハ地方稅ノ全般ニ亘ツテ改正ヲ計畫シテ居ル、其時ニモ是ガ問題ニナツテ、國ガ交付金ガ難カシケレバ、公共事業以外ニ一種ノ營利的事業ニハ課稅セラル、ヤウニシタラドウカト云フ議ガアリマス、サウ云フ所マデ進ンデ居リマスルガ、未ダ確定シタ意見デハアリマセヌガ、先程ノニ關聯シタ問題デアリマスカラ、一寸申上ゲテ置キマス

○渡邊委員長 今潮サンカラ御説明ガアリマシタガ、家屋稅其他ニ付テハ實ハ疑問ニシテ居ツタノデアリマスガ、御審議中デアルト云フコトデアリマシタガ、ソレカラ今ノ御計畫中ニ、下水道其他ニ

付テ國庫ノ補助金ハ幾ラアルノデアリマスカ、東京市ト他ノ都市ト幾ラカ其割合ガ違ツテ居リマスカ、東京市ニハ厚イノデアリマスカ

○菊池計畫課長 從前ノ扱ヒハ能ク記憶シテ居リマセヌガ、大体同ジデナカッタカト思ヒマス、復興期間中ノモノハ特ニ歩合ヲ良テシテアル、從前ハ三分ノ一デ、是ハ多分東京モ他ノ都市モ同ジニナツテ居ツタカト思ヒマス

ソレカラ復興期間ノモノハ特ニ東京市ニ對シテハ二分ノ一デ、外ノ所ヨリ歩合ガ良イ、ソレノミナラズ從來ノ三分ノ一ヲ補助スルノデハ事業年度ト補助年度ガ一致シナイ、補助年度ハ十數年ニ涉ツタ額ヲ下付スル、復興期間中ノモノハ事業年度毎ニ二分ノ一ヲ確實ニ補助スル、其點ハ東京市ハ外ノ都市ヨリ非常ニ有利ニナツテ居ルノデアリマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 第一條第二條ニ付テハ御質問ハアリマセヌカ——ソレデハ第三條ニ付テ御質問ハゴザイマセヌカ——第四條——

○太田委員 三條ト四條ト總括シテ伺ヒタイノデアリマス……

○福田委員 私モ第四條ノ第一項ニ付テ伺ヒタイノデアリマス

○太田委員 ドウゾ福田サンカラ……

○福田委員 ソレデハ——此第四條第一項ノ終リノ所ニ「受益者ナキ土地(河川運河及濠ヲ除ク)ノ面

積ト受益者ノ土地ノ面積トニ按分シタル後者ノ額トス」ト云フコトガアリマスガ、是ハドウ云フノデスカ

○菊池計畫課長 東京市ニ於テハ特ニ官有地ガ多ク其分布モ普遍シテ居リマセヌカラ、事業費ノ三分ノ一ヲ各土地ニ割當テ、其ノ民有地ニ割當テタル部分ヲ以テ實際ノ負擔額トスルノデアリマスカラ東京市二千万坪中民有有租地ハ千三百万坪デアリマスノデ、二十分ノ十三即チ約五分ノ一トナルノデアリマス、尙復興事業完成後ハ民有有租地ハ百万坪減ズル見込デアリマスカラ千二百万坪即チ五分ノ一トナル譯デアリマス

○太田委員 私モ一寸御質問致シマスガ、第三條ニ「……大排水區ヲ細分シテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得」トアリマスガ、細分スルト云フコトニナルト、例ヘバ一區ノ内ヲ二ツナリ三ツナリニ、區劃ヲ都合ニ依ツテハ定メルト云フ意味デアリマスカ、或ハ三區ノ内ヲ二ツニ分ケルト云フ意味デアリマスカ、若サウ云フ場合ニナルト負擔區ヲ區分シタル結果、其地域ニ區分シタル區域内ノ工事費ノ額ヲ分擔スルト云フ意味ニナリマスカ

○菊池計畫課長 御質問ノ通り負擔區ヲ細分スルノデアリマス

○太田委員 其負擔區ヲ細分スル場合ハドウ云フ場合ニ細分スルノデスカ

○菊池計畫課長 此執行者ハ東京市デ實際ニ臨ンデ適當ニオヤリニナルノデアリマス、規定ノトキニ

大體豫想シタノハ本所深川ノ第三區デアリマスガ、深川方面ニ主トシテヤルノデアリマス、仕事ガ完成スルト、其關係ノ排水區域迄豎川ナラ豎川ヲ區分シテ南北ニ別ツトカ、或ハ甲ノ年度ニ幹線ヲヤル、支線ハ後ニヤルト云フコトニナリマスレバ、全部ノ完成ヲ待タナイデ幹線ナラ幹線ノ仕事ノ濟ンダ時分ニ、其部分ニ付テ賦課ヲスル、年度ニ依ツテ區分ヲスルト云フノハサウ云フ考デアリマス、處分場ガ出來ナイデモ幹線工事ガ一應出來上ツタトキト、處分場ノ出來タトキトハ年度ニ隔リガアルダラウト思ヒマスカヲ、サウ云フ場合ニハ區分シテ賦課スルノデアリマス

○太田委員 尙ホ伺ヒマスガ、大體ニ於テ下水ガ全部竣工シテ、幹線及處分場若ハ幹線ニ對スル支線ガ出來ナケレバ、其土地ノ居住者ハ眞ノ利益ヲ受クル譯ニ往カナイ、併シ將來出來上レバ利益ヲ受ケルコトガ出來ル、現在ハ出來ナイ、出來ナイ内ニ未來ノ利益ヲ豫想シテ、負擔セシメルコトハ頗ル均當ヲ欠ク問題ニナリハシナイカト思フノデアリマス、一面ニ竣工シタモノニ向ツテ負擔セシメ且ツ一方ハ實際利益ヲ得ルノハ更ニ數年度ノ隔リガアル、隔リガアル内ニ之ヲ徵收スルト云フコトハ、尤モ茲ニ特別ノ場合云々ト云フコトガアリマスケレドモ、假リニ其場合ヲ考慮シナイデ、賦課スルトスレバ、幹線ガ出來上ツタ後數年ノ間、少シモ利益ヲ受ケナイニ拘ラズ負擔セシメラル、コトニナリハシマセヌカ

○菊池計畫課長 幹線ノ出來タトキハ幹線ノ工事ノ割合ヲ負擔サセルト云フコトハ、幹線ノ出來タケノ利益ハ受ケラレルカラ其負擔ヲサセルノデアリマス、ソレカラ後ニ支線ガ出來レバ尙ホ利益ガ増シマスカラ、支線ノ工事費ノ負擔ヲサセルノデアリマシテ、幹線丈ケ出來タトキニ全部ノ出來タトキノ利益ヲ豫想シテ負擔サセルノハ無理デアリマスガ、其場合賦課スルノハ幹線丈ケノ工事ニ依ツテ算定シテ賦課スルノデアリマス、幹線丈ケノ利益ハ得テ居リマスカラ、負擔サセテモ無理デナイト思フノデアリマス

○近藤委員 今御話ノ幹線丈ケガ出來タトカ云フ意味ガ分カリマセヌガ、後ノ七條ニアル通り實際ニ利益ヲ受クル時カラ初メテ取ルコトニナツテ居ルノデアリマセヌカ、「竣工」ト云フコトハ實際ニ利用スル場合デ、一部丈ケガ出來テ全部ガ出來ナイ場合ヲ豫想シテ居ルノデナイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ、

○菊池計畫課長 ソレハドノ部分ノ仕事ガ竣工シタカ……部分竣工ト言ヘバ言ヘルノデアリマス
○近藤委員 第七條ニアル「工事竣工」ト云フコトハ、幹線丈ケ出來タノミデハ竣工トハ言ヘナイヤウニ思ヒマス、工事が完全ニ出來上ツテ利用シ得ル時期ニ達シタトキニ取ルベキモノト思ヒマスガ、太田君ノ御質問ノヤウニ心配スルニモ及バヌノデスカ、唯幹線ガ例ヘバ五町ノ間ヲ三町丈ケ出來テ下水モ流サナイ内ニ賦課金ヲ取ラレルヤウナ場合ガアルト思ヒマスガ……

○菊池計畫課長 實際ハ斯ウデアリマス、復興期間中ニ本所深川ハ幹線ノ仕事ヲスル、尤モ部分々々

ニ付テ支線モ這入リマスガ、豫算ハ幹線丈ケヤルコトニナツテ居リマス、ケレドモ利用ノ出來ナイヤウナ幹線ノ状態デナイ、附近ノモノハ自然ニ流レ込ム形ニナリマスカラ、幹線丈ケノ利益ハ得ラレルノデアリマス、唯ソレノ完全ナル仕事ノ出來ル迄ト言ヘバ又跡ニ現在ノ復興豫算以外ノ金デヤラナケレバ全部進マナイ譯デアリマスカラ、復興豫算デ完全ナモノガ出來上レバソレノ竣工ノ時ヲ押ヘテ其負擔ヲ取ル、ソレカラ支線ガ出來レバ支線ノ分ヲ取ルノデアリマス

○近藤委員 充分ニ市民ガ利用ガ出來ナクテモ、金ヲ取ラレル場合ガアルト思ツテ居レバ宜シイノデスカ

○菊池計畫課長 利用ノ出來ル丈ケ取ルノデアリマス

○小野東京市下水課長 大體下水課ノ方デ考ヘテ居リマスコトハ、效力ヲ發生シナクトモ工事ガ出來レバ負擔金ヲ徴收スル途ガ、此規定ニ依ツテ開カレテ居ルモノト思ヒマシテ、今進ンデ居リマスガマダ利用ヲ開始シナイ前デモ取ラウト云フノデアリマセス

○福田委員 御二人ノ御説明ハ違フヤウデスガ、幹線ガ出來レバ水ガ流込ムデセウガ、效能ガナクトモ金ヲ取ルト云フノカ、或ハ效能ガナケレバ取ラナイト云フノカ、ドチラカ確カリ極メテ置カナイトイケナイト思ヒマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 唧筒場トカ汚水處分ノ費用モ受益者負擔ニ包含サレルノデアリマスカ

○菊池計畫課長 サウデス

○委員長(渡邊鐵藏君) 受益者負擔ハ特別租税ノヤウニ思ハレマスナ

○田澤東京市助役 東京市ノ考ヘテ居ルコトヲ私ハ補足シテ置キマス、理窟ヲ言ヘバ工事ガ出來上ツタ後ノ下水道ト、出來ナカツタ前ノ下水トハ正反對ニ別レルヤウデアリマスガ、實際カラ言ヘバ本所深川ノ幹線ヲ今ヤツテ居リマスガ、ソレヲヤツテ了マウト唧筒ヲ掛ケテ排水シタモノヲ海ナリ川ナリニ出シテ了マヘバ、本所深川ノ低濕ナル地質ヲ改良スルト云フ效果ガ舉ガル、ソレナラバ各戸ニ水便所ガ出來ルカト云フト、支線ガ出來テ居ナイカラ出來ナイ即チ效果ガナイ、斯ウ云フ場合ニ全部ノ效果ヲ舉ゲナケレバ「工事竣工」ト言ハレナイト言ハレマスド、東京市ノ如キ長期ニ涉ツテ工事ヲ施行シナケレバナヲヌモノハ、財政的ニ困難ヲ感ジマス、ソレデアリマスカラ一部分ノ利益ヲ舉ゲテモ、ソレハソレ丈ケトシテ既ニヤツタ工事ニ付テ受益者負擔ヲ掛ケル、又工事ガ出來レバ又跡デ掛ケルト云フヤウニ、菊池君ノ御話ノ通りヤル積リデアリマス、偕其主義ヲ如何ナル場合ニモ一貫シ得ルカト云フト、本所深川ノ例ヲ取ルト今申シタヤウニ往キマスガ、幾ラカノ效果ガ發シタモノカ發シナイモノカ、工事ノ途中ニ於テハムヅカシイ問題ガ起ルト思ヒマス、又負擔區トシテ個々ノ所有者、權利者ニ掛ケルノデアリマスカラ、其個々カラ見レバ自分ノ所ニ效果ガ發生シテ居ナイト云フ場合ハ随分澤山アラウト思ヒマス、サウ云フ風ニ、一部分發生シタラソレダケ取ラシテ貰ヒ

タイト云フノデ、效果ガ發生シタカシナイカ、ハツキリ云フコトノ出來ナイ場合ガアリマスガ、今東京市ノ下水課長ノ言ハレタ通り、追々出來ルニ極ツテ居ルカラ、既ニ工事ヲヤツタ土地ハ、何處カニ利益ガ發生シテ居ル、ソレハ負擔區域ノ全部ニハ發生シテ居ラナイケレドモ、何處カニ發生シテ居ルカラ徐々ニ取ラシテ貫ヒタイト云フ、實際上カラノ市役所ノ考デアリマス

○太田委員 色々御話ヲ伺ヒマシタガ、尙此場合ニ伺ヒタイノハ、先刻御話ニナリマシタ復興計畫中ニ國ガ二分ノ一ヲ補助シテ下水工事ヲスル所ノ四千三百五十萬圓ト云フモノニ受益者負擔ヲ課スル必要ハナイコトニナル、ソレハ豫算ガ出來テ居ル、併ナガラ其拵ヘタモノヲ更ニ完全ト云フカ活用スルト云フカ、モウ少シ擴張シテ十分ナモノヲヤルニハ更ニ一億五千八百萬圓ノ財源ガ無クテハ出來ス、ソレヲヤル財源ノ一ツトシテ受益者負擔金千八百何十萬圓ヲ課スルコトニナツテ居リマス、サウスルト全ク復興計畫デ、今行フ所ノ幹線ヲヤル時ニハ、ソレヲ直チニ使用スルコトガ出來ルカモ知レナイガ、一期二期中ニハ完全ニ使用シ得ラレナイ所ガ勿論アルニ違ヒナイ、ケレドモ是ハ要スルニ國ノ二分ノ一ノ補助ガアル所ノ四千三百五十萬圓デ出來ルカラ、ソレニハ受益者負擔ヲサセ必要ガナイ、所ガ更ニ後ノ仕事ヲスル爲ニ其時カラ徴收シテ置カナイト財源ニ困ルト云フヤウナ意味カラ之ヲ徴收スルモノト思フ、四千三百五十萬圓ダケノ工事ナレバ、受益負擔金ヲ課サナイデモ出來ル、ケレドモ後ノ仕事ヲスルニ足ラナイ、斯ウ云フヤウニ私ハ解釋シテ居リマスガ違ヒマス

カ

○菊池計畫課長 四千三百五十萬圓ノ豫算ニハ、成程國ガ二分ノ一ノ補助ヲシテ、アトノ二分ノ一ハ市ガ一億ノ起債デ仕事ヲシテ居ルト云フコトニナルデアリマスガ、併シ其二分ノ一ノ借金ト云フ方ハ、早晚返サナケレバナラス、ソレハ尤モ大正十七年度マデハ國カラ利子ヲ補給シテ貰フ、大正十七年以降ニハ元利ノ償却ヲシナケレバナラス、今ノ所デハ借金ノ金ト、國庫補助デ仕事ダケハ一應出來ルノデアリマスガ、其仕事ノ完成シタモノカラ受益者負擔ヲ取りマセスト其仕事力完全ニ出來ナイ、今ハ借金デヤツテ居ルカラ仕事ダケハ一應出來ルガ、借金ハ返サナケレバナラス、其返ス借金ガ……

○太田委員 四千三百五十萬圓ハ歲計ノ剩餘金ヲ以テ返ス豫定ニナツテ居リマスガ、七千六百四十萬圓ノ事業ハ公債ヲ募集シテ、其元利償還ノ爲ニ一億五千八百萬圓ト云フ金ガ要ル

○菊池計畫課長 ソレハ、歲計剩餘金デヤルト云フノハ、東京市ガ今度ノ復興事業ヲスツカリヤツタ時分ニ國ノ分擔金ヲ出サナケレバナラス、其他澤山市債ガ出來テ居ル、サウ云フ復興事業ニ關聯シテ色々ノ市ノ負擔ヲ償還スルニ、ドウ云フ方法デヤツテ行クカ、其場合ニ市トシテ、大正十八年度以降財政上ノ餘裕ガドウ云フ風ニ出來ルカ、其説明ヲ市會ニサレタ其意味デナイカト思フ 下水道ノ仕事ヲヤツテ行クニ付テハ、個々ノ起債ノ財源ニ付テハ、四千三百五十萬圓ノ財源トシテ此受

益者負擔ヲ收入ヲ圖ル、或ハ此受益者負擔ヲ以テアトノ七千六百四十萬圓ノ事業ニ充テ、一般ノ財源ニシヨウト、ソレハ一般ノヤリ繰リデ、市ノ方ノ説明ハドチラニデモ出來ル、此事業ノ金ハ此事業ニ充テタト云フコトニナツタ方ガハツキリ分リ易イト思フ

○太田委員 サウスルト四千三百五十萬圓ノ二分ノ一ノ國庫ノ補助ヲ受ケテヤル事業、及後ニ殘ル七千六百四十萬圓ノ第二期ト云ヒマスルカ、即チ下水工事ノ完成ヲスル費用、其二ツノモノニ對シテ受益者負擔ヲ課スル、斯様ナコトニナルノデアリマスカ、私ハ左様ニ聞イテ居ラナイ、七千六百四十萬圓ニ對シテ受益者負擔金ヲ充テル、斯ウ云フ風ニ私ハ聞イテ居ル

○菊池計畫課長 實際ヲ申上ゲマスレバ、今迄ノ仕事ニ市ハ一應起債シテ居ル……

○太田委員 市ノ起債ヲ伺フノデハナイ、受益負擔金ヲ何ニ充テルカ

○菊池計畫課長 從來ノモノニ付テ既ニ借金ヲシテ居ルカラ從來ノ償還年限デ返ス、新タニ得タモノハ今後ノモノニ充テル、若シサウデナケレバ將來ノ七千八百萬圓ハ全部借金ニ依ラナケレバナラスレソダケ借金ヲ減ジタ形ニナル、結果ニ於テハ下水道事業ニ充テルコトニナルノデ、其事業ノドノ事業ニ充テルト云フ風ニ區別的ニ考ヘナクテモ宜イト思フ

○太田委員 ソレハ數億ノ金ノヤリ繰リヲシテ居ルノデアリマスカラドウデモ宜イヤウナモノ、或ル事業ヲヤルニハ、其事業ノ處理法ヲ考ヘナケレバナラスト思フ、只今ノ御説明ハ一寸財源計畫ニ

付テハ不十分ノヤウニ思ヒマスカラ、此次マデニモウ少シ御調べヲ願ツタラ宜イト思フ、兎ニ角私ノ今御質問申シタ趣旨ハ、七條ニハ竣功ノ日ノ現在ト云フコトガ記載シテアルニ拘ラス、只今ノ第三條ノ御説明ハ、一部分竣功シタルモノモ多少ノ利益ヲ得ル將來ヲ見越シテ負擔セシムルコトガ出來ルト云フコトニシナケレバ財源上困ルト云フヤウナ御説明ノヤウニ思ヒマシタカラ質問シタノデ……

○田澤東京市助役 市デ豫算ヲ立テマシタ時ノ説明トシマシテハ、御話ノ通りニ、受益者負擔金ノ收入ニ依ツテ四百萬圓ノ速成工事ヲヤリ、更ニアトノ完成計畫ヲヤル其財源ニ充テタイ、ソレハ差當ツテ豫算ヲ作ル時ノヤリ繰リデ、性質論ヲ言ヘバ菊池サンノ言ハレル通りドレニ充テルト云フコトデナク、全體ノ財源ト爲シ得ル、市トシテ差當リ豫算ノ切盛リヲドウスルカト言フト、是カラヤラナケレバナラス下水ガ澤山アル、ソレヲ現在ノ市ノ財政デハナカク、完成ガ出來ナイカラ、受益者負擔ヲ課シテ、ソレニ充テタイト云フノデ、性質論ヲ言ヘバ、下ノ金ヲ何處ヘ持つテ行クト云フコトハナイト御承知ヲ願ヒマス

○太田委員 ソレカラモウ一ツ第四條ニ付テ、只今福田君カラ御質問ガアリマシタガ、按分ト云フ意味ヲモウ一應御説明ヲ願ヒタイ

○菊池計畫課長 尙ホ申上ゲマスルガ、下水道ノ設計ヲシマスル時分ニ、排水面積ガドノ位アルカ、

サウシテ其中ニ官有地ト民有地トアル、即チ受益者ナキ土地ト、受益者アル土地トアル、殊ニ麴町方面ニ付テハ、大公園ガアリ其他官有地ガ非常ニ多イ、サウ云フ關係ノアルモノデアリマスカラ、全體ノ土地ノ面積ニ按分シテ、工事費ノ三分ノ一ヲ全面積ニ按分シテ、其場合ニ公園トカ道路トカ官有地トカ云フ、サウ云フモノハ受益者負擔ヲ取ラナイカラ、其分ノモノヲ除ケテシマツテ、アトノ民有地ノ面積ニ對シテ按分シタ額ヲ各負擔區ニ於ケル負擔金總額ニスル、斯ウ云フ意味デアリマス

○久保委員 道路ハ矢張按分ノ坪數ニ入レマスカ

○菊池計畫課長 サウデス、入レマス

○渡邊委員長 「受益者ナキ土地」ト云フノハ、受益者ナキ土地及ヒ受益者負擔ヲ課スルコトナキ土地ト云フ意味デスカ

○菊池計畫課長 本令ノ第二條ノ受益者、其受益者ノナキ土地デス

○渡邊委員長 麴町ノ如キハ受益者ナキ土地ガ多イ受益者トシテ實際負擔セシムルノハ五分ノ一、六分ノ一ニナルト思フ、ソレニ反對ニ、非常ニ受益者ナキ土地ノ少ナイノハ何處デアリマスカ、サウ云フ各區ニ付テ區別ガ出來テ居リマスカ、ソレハ何處デアリマスカ

○菊池計畫課長 ソレハ第三表ニアリマス

○渡邊委員長 ソレガ非常ニ不公平ニナリハシマセスカ、麴町ハ五分ノ一デ外ノ所ハ七分ノ一デアツタリシテハ……

○菊池計畫課長 日比谷公園ノ分ヲ麴町ノ人ガ負擔スルヤウニナツテハ不公平ニナリマスカラ、第三表ニアリマス第三區ハ負擔ガ多イヤウニ見エマスガ、工事ノ難易ガアリマスノデス

○太田委員 工事費用ノ關係上負擔金ガ殖ヘルト云フノデスカ

○菊池計畫課長 左様デス

○委員長(渡邊鐵藏君) 三條四條ニ付テ御發議ハモウアリマセスカ
(「モウ終リマシタ」ト呼フ者アリ)

○委員長(渡邊鐵藏君) ソレデハ第五條ニ移リマス

○久保委員 第一號第二號ハ増課スベキ金額ガ五割ニ制限シテアリマスガ、三ノ所ニ「階數三ヲ超ユル建物ヲ有スルトキ」トアリマスガ、是ハ三階ヲ含ムノデスカ

○菊池計畫課長 四階以上デアリマス

○久保委員 此二十割ト云フノハ大變差ガ設ケテアリマスガ、ドウ云フ譯デスカ

○菊池計畫課長 三號ヲ二十割トシマシタノハ、丸ビルノ如キハ九階ニナツテ居リマスガ、東京デ平均シタ利用ヲ三階トスレバ九階ハ三倍ノ利用ヲシテ居ル譯デアリマス、單純ニ三階トシテ其土地ヲ

利用シテ居ルモノト、九階トシテ利用シテ居ルモノト差等ヲ設ケテ、九階トシテ利用シテ居ルモノハ二十割トスル方が公平デアルト考ヘマスノデ、斯様ニ規定シタノデアリマス

○久保委員 二十割ノ範圍内デ理事者が極メルノデスカ

○菊池計畫課長 左様デス

○太田委員 一寸伺ヒマスガ、第一號ニ「下水道事業ニ因リ土地カ著シク其ノ利用ヲ増進スルトキ」トアリマスガ、土地ガ著シク利用ガ増進スルト云フノハドウ云フ場合デスカ、ソレカラ著シク利用ヲ増進シナケレバ、寧ロ逆ニ往ツタトキハドウナリマスカ

○菊池計畫課長 下水道ガ出來テ土地ノ利用ガ悪クナルト云フヤウナ、サウ云フ事實ハナカラウト思ヒマス、下水道ガ出來ルト、従前ハ土盛ヲシナケレバ建築ニ適シナカツタヤウナ所ニデモ建築ガ出來ルコトニナリマスカラ、従來低濕デアツタヤウナ土地ノ所ニ、第一號ヲ適用スルノデアリマス

○太田委員 其場合ニ盛土ヲシテ了ツテ居ツタラドウシマス

○菊池計畫課長 ソレハ下水道ニ依ツテ利益ヲ受ケナイコトニナリマセウ

○太田委員 若シ土盛ガシテアレバ著シク利益ヲ受クルト云フコトニナラナイノデアリマスカラ、水泡ニナリマスカラ下ガルノデアリマスカ

○菊池計畫課長 下水道ノ出來ル前ニ土盛リガシテアレバ、低濕ノ土地ト云フコトニナラナイノデア

リマス

○太田委員 下水道ノ出來タ後ニ土盛ヲスレバドウナリマスカ

○菊池計畫課長 一度ハ利益ヲ受ケテ居ツタノデアリマスカラ、後デ變更スルコトハ受益者負擔ニ關係ハナイノデアリマス

○太田委員 土地ノ繁昌ニナツタトカ云フコトデ、著シク利用ヲ増進スル場合ハアリマセヌカ、唯浸水シナクナツタト云フ丈ケデスカ

○菊池計畫課長 開渠ノ下水ガ暗渠ニナツタト云フヤウナコトモアリマスガ、此處ノ規定デハ今申スヤウナコト丈ケヲ考ヘテ居リマス

○近藤委員 低濕ノ場所ニ下水道ガ出來テ、其ノ土地ガ特別ノ利益ヲ受ケルヤウナ狀況ニナレバ、格別デスガ、其前ニ其土地ニ二尺ナリ三尺ナリノ土盛リヲシテ、低濕ノ地ヲ脱シテ居レバ、ソレデモ經費ノ負擔金ヲ掛ケルノデアリマスカ

○菊池計畫課長 著シク利益ヲ受ケルノデアリマスカラ、増課負擔ヲセラレナイコトニナルト思ヒマス

○福田委員 サウスルト其場合ハ増課負擔ヲシナイノデスカ

○菊池計畫課長 其土地ニ付テハデス

○委員長(渡邊鐵藏君) 五條ニ付テ他ニ御發議ガナケレバ六條ニ移リマス

○太田委員 一寸御説明ヲ願ヒマス

○菊池計畫課長 第六條ハ土地ガ著シク其利用ヲ増進スル場合ニ當ルノデス、下水ノ從來開渠デアツタモノヲ暗渠ニシテ道路ニ充テル、サウスルト道路ヲ擴ゲタト同ジ形ニナリマス、ソレノミナラズ從來開渠ノ下水ガ通ツテ居ツタ爲ニ不便ヲ感ジタモノガ、暗渠ニナツタノデ非常ニ附近ノ土地ガ良クナルト云フ利益ガアル、ソレデ其場合ハ大體ニ於テ道路ノ場合ニ受益者負擔ヲ取ルノト似寄ツタ形デ取ルコトニシマシタ、道路ノ場合ニ取リマス時分ニハ、半分ハ間口ノ長サ、半分ハ面積ニ依ツテ居リマスカラ、此負擔ノ標準モ半分ハ其道路ニ面スル間口ノ長サ、半分ハ面積ニ依ツテ取ルコトニ致シマシタ、此ノ條文丈ケデハ下水道ニ依ツテ著シク利益ヲ受クルモノデアリマスケレドモ、別ノ扱ヒヲシテ、道路ガ擴ガツタヤウナモノニシタノデアリマス、東京ノ路面鋪裝ハ大體ハ五分ノ一ニナツテ居リマス

○太田委員 サウスルト「兩側境界線ヨリ奥行二十間ノ地域内ニ於ケル受益者」ト云フト、下水道ノ受益者ハ路面ノ關係ニ於ケル受益者負擔ト、二重ニ負擔ヲシナケレバナラヌコトニナリマスカ、若シ其路面ガ鋪裝ヲ相當ニシテアレバ、路面ニ對スル受益者負擔ハアリマセヌカ

○菊池計畫課長 其道路ヲ鋪裝スレバ鋪裝工事ノ負擔ヲシナケレバナリマセヌ

○太田委員 鋪裝工事ヲスレバ二重ニ負擔スルコトニナリマスネ

○菊池計畫課長 其時ハ鋪裝工事ノ負擔デアリマス、コチラノ方ハ暗渠ヲ兼テテノ負擔デアリマス

○太田委員 兎ニ角ニ重ニナリマスネ

○委員長(渡邊鐵藏君) 第六條ノ二項ハ唯六條ニ關シテ丈ケノ規定デアリマスカ

○菊池計畫課長 左様デス、土地ノ狀況ニ依ツテ、普通ハ奥行二十間デアリマスケレドモ、其傍ニ河川トカ鐵道線路トカガアツテ、利益ガ二十間迄及バナイトキニ、悉ク杓子定規ニ二十間トナルト困リマスカラ、普通ノ場合ハ兩側二十間トシタノデアリマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 其次ノ「別ニ地域」ト云フノハ……

○菊池計畫課長 其場合ハ道路ノ兩側境界線ヨリ五間或ハ十間ノ所ニ川ガアルトスルナラバ、五分ノ一ヲ全部負擔セシメルト不公平ニナリマスカラ、面積ノ縮少シタノヲ斟酌スルノデアリマス、其爲ニ別ニ地域ヲ定メ負擔金額及負擔方法ヲ定メテ、大體之ニ比例スルヤウニスルノデアリマス

○近藤委員 モウ一ツ御尋致シマスガ、下水ノ開渠ガ暗渠ニナル場合ニ、開渠ガ道路ノ一方ニ偏在シテ出來テ居ツタ場合ト、中央ニ在ルヤウナ場合トアリマスガ、一方ニ偏在シタ場合ノトキハ偏シタ方ノ側ノ人ハ暗渠ニサレルト影響ハ受ケマスガ、反對側ハ格別ノ影響ヲ受ケナイト思ヒマスガ、其場合ニモ平等ニ負擔サセルノデアリマスカ

- 菊池計畫課長 道ノ擴ガツタ利益ハ矢張兩側ノ人ハ受ケルト思ヒマス
- 近藤委員 道路ノ擴ツタ利益ハ受ケマセウガ、著シク利益ヲ受ケル者ハ偏在シタ方ノ側ノ人ガ受ケルノデアリマス、ソレヲ平等ニヤラレテハ向側ノ人ニ不公平デアリマセスカ
- 菊池計畫課長 開渠ガ暗渠ニナレバ一方ハ道路ニ接スルヤウナ形ニナリマス、道ノ效用ガ良クナツタノハ道ガ擴築サレタ爲メデアリマス、尤モ公平ヲ言ヘバ今御話ノヤウナ所ニハ増課負擔ヲサセルヤウニスレバ公平ニナルト思ヒマス
- 直木長官 此六條第一項ノ但書ハ必要ナノデスカ、書カナクテモ宜イコトノヤウデスカ……
- 菊池計畫課長 書カナクテモ宜イノデアリマスガ、下水道ト道路ト兩方ノ效用ヲ兼スルモノト解釋サレル虞ガアリマスカラ、念ノ爲ニアツタ方ガ宜イト思ヒマス
- 潮委員 是ハ二十間ト定メテ置ケレドモ、土地ノ狀況其他ニ依ツテ狭クスルト云フ御説明デアリマシタガ、此文字デハ廣クスルコトモ出來ル狭クスルコトモ出來ル譯デアリマスガ、サウ云フ意味デアリマスカ
- 菊池計畫課長 若シ土地ノ狀況ガ廣クスルヤウナ理由ガアレバ廣クスルノデアリマスガ、一般ニハ二十間トサレテ居リマスカラ、ソレ以上廣クスルコトハナイト思ヒマスガ、文字ノ上カラ言ヘバ二十間ヨリ廣クシテ宜イノデアリマス
- 渡邊委員長 第二項ノ「地域負擔金額及負擔方法ヲ定ムルコトヲ得」ト云フノハ、省令デモ出ルノデアリマスカ
- 菊池計畫課長 是ハ省令デ出タ例モアリマスカ、コ、デハ省令ニシナイ積リデ、其負擔金額ハ五分ノ一以内デヤル積リデアリマス
- 渡邊委員長 第六條ニ付テ御質問ハモウアリマセスカ——ソレデハ第七條
- 太田委員 先刻モ申シマシタガ「負擔金ハ工事竣功ノ日現在ニ於ケル云々」ト云フコトハ、一部分ノ工事ヲ完成スレバ直チニ負擔金ヲ課スル、ソレカラ後ニ殘リノ部分ガ完成スレバ、ソレハ負擔金ヲ前ニ納メタ者ニモ課スルガ、新タニ來タ者ニハ其殘リノ分ダケ課スル、サウスルト全ク前ノ者ハ、十分ノ效用ヲ發揮シナイモノニ負擔ヲシテ、新タニ來タ者ハ效用ガ完備シテカラ負擔金ヲ納メル、斯様ナコトニナルノデスカ
- 菊池計畫課長 ソレハサウナリマス
- 太田委員 モウ一ツ、今度ハ建築物ノ如キハ、其間ニ燒失若クハ其他滅失シタ場合ニハドウナルカ是ハ全然其關係ハナクナルノデアリマスカ
- 菊池計畫課長 此負擔金ヲ取ルノハ建築物ヲ以テハ取ラナイノデアリマス、増課負擔トシテハ、例ヘバ「丸ビル」ノ如キハ増課負擔ヲ課セラレルノデアリマスガ、其他ノ場合、三階以下ノ建物ノ場合

ニハ、家ガ有ラウト無カラウト、ソレヲ問ハナイノデアリマス

○太田委員 増課負擔ノ建築物ハ、三階以上ノ建物デスカ

○菊池計畫課長 ソレカラ汚水ヲ多量ニ排除スル工場ヲ經營スルモノ……

○太田委員 増課負擔ハ、工場主若クハ建築主ニ課セラレルノデアリマスカ

○菊池計畫課長 矢張第二條ニアリマス土地所有者、質權者ガアレバ質權者、家屋等ノ所有者ハ土地ノ質權者ト一致シテ居ルノデアリマスガ、理論上トシテ受益者ニ課スル、家屋ノ所有者デナクシテ土地ノ所有者、質權者、地上權者、永小作權者、賃借權者ト云フコトニナリマスガ、大體ハ家屋ノ所有者ハ權利者ト一致スルト思フ

○太田委員 東京ノ土地ニハ永小作トカ質權ヲ設定シテ居ル者ハ少ナイ、大概賃貸借ニ止マルト思フ賃貸借ノ借地人ガ家屋ノ建造ヲスル場合、若クハ家屋ヲ貸シテ借家人ガ營業スル場合ニハ、地主ハ拒ムコトモドウスルコトモ出來ナイ、法律規定カラ言ツテモ何等ノ聯絡關係ハナイモノト思フ、サウスルト一面ニ於テハ賃借權ガ數年ニ亘ツテ居ル場合ニハ、其賃借人ガ納メルコトニナツテ居レバ宜シイガ、普通ノ賃借契約デアレバ其處ニ數階ノ建物ヲ建テ、モ地主ハ拒ムコトガ出來ナイ、併シ地料ヲ引上ゲルト云フコトハ別問題デアリマスガ、假ニ家屋ヲ貸シテ居ル場合ニ、其借家人ガ其處デ著シク水ヲ使フ營業、例ヘバ清涼飯料ヲ拵ヘルト云フヤウナ製造業ニ從事シテ居ル場合ニ、地主

ハ借地人ニ對シテ、ア、云フ營業ヲシテハ因ルト言ツテ拒ムコトハ出來ナイ、サウシテ受益者負擔ヲ課セラル、ト云フコトニナルノデアリマスガ、是等ニ對シテハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

○菊池計畫課長 受益者ヲドウ云フ工合ニ定メルカ、ソレハ下水道ガ出來タトスレバ、ソレニ依ツテ利益ヲ受ケル土地ヲ使用スル權利ヲ有スル者ガ下水道ノ利益ヲ受ケル、而シテ其使用權ハ、普通ニ賃借權ノ場合ニ、若シ殘存期間ガ十年以下ノ場合ニハソレハ土地所有者カラ取ルコトニナル、下水道ノ利益ハソレヨリズツト長クナルカモ知レナイ、十年以上其土地ヲ有利ニ使用スル者ガアレバ、其土地ヲ使用スル者ガ其利益ヲ收メルコトガ出來ルニ違ヒナイ、其場合ニ短期間ノ間ハ地代ハ安イカ知ラヌガ、其借地期間ガ濟ンダナラバ宜イ値段デ貸付ケラレルカモ知レナイ、其事ヲ考ヘテ土地ヲ使用スル權利ヲ有スル人、下水道ヲ使用シテ利益ヲ得ル人、ソレヲ受益者トスル、斯ウ云フコトデソレ程不合理ニハナラナイ

○太田委員 サウスルト先程ノ御話ノ、土地ノ所有者バカリデナクシテ借家人ニマデ及ブノデアリマスカ

○菊池計畫課長 第二條ニ規定シテアル受益者ハ、其土地ヲ使用スル權利ヲ有スル者ヲ大體原則トシテ、唯一般ノ地上權、永小作權、賃借權ニ付テハ、短期間ノモノニ付テハ土地所有者ヲ受益者トス

ル……
○太田委員 一番利益ヲ得ル者ニ負擔セシムルト云フナラバ、土地ヲ所有シテ居ル者ガ貸シテ居レバ其借リタ者ガ數階ノ家屋ヲ建テ、居レバ、家屋ヲ建テ、居ル者ガ其土地ノ下水ノ利益ヲ一番多ク得テ居ル、サウスルト其家屋ヲ持ツテ居ル者ガ負擔ヲスル義務ガアルト云フコトニ今ノ理窟デ行クカモ知レナイ、更ニ進ンデ、家屋ヲ持ツテ居ル者ガ貸シテ、借リタ者ガ其處ニ於テ特殊ノ營業ヲ爲シテ居ルヤウナ場合ニハ、其者ガ下水ニ依ツテ利益ヲ得テ居ルカラ、營業權者即チ受益者、即チ借家人ニマデ及ボシテ受益者トシテ負擔セシムルコトニナラナケレバナラヌト思フ

○渡邊委員長 只今ノ太田サンノ御話ハ、第五條ノ第二號第三號ニ當ル増額負擔ヲ、誰ガ負擔スルカト云フ風ナ御質問デアリマスカ、ソレヲ借家人等ニ課スル考ハナイカト云フ御質問デアリマスカ

○太田委員 第五條ノ時ノ質問ニ對シテ、土地所有者ニ限定サレテ居リマスルカラ、ソレデ土地所有者ノ負擔ガ著シクナツテ、之ニ堪ヘラレナクナリハシナイカト云フ問題ガ起ツタノデアリマス、初メハ土地ヲ所有シテ居ル者ト云フコトデアリマシタカラ、土地所有者ガ第五條デ負擔スルコトニナルト、今度ソレナラバ第七條ノ時ニドウ云フ風ニ變ツテ來ルカト云フコトヲ伺ツタノデアリマス

○潮委員 第三項ハ、是ハ本會ノ時ニ横濱市長カラモ、福田サンカラモ御質問ガアリマシタガ、前ニ竣功シタモノハ今度竣功シタモノト考ヘテ負擔セシムルト云フ先例モアルト云フ長官ヨリノ御話デ

アリマシタガ、是ニハ更ニ疑問ヲ有シテ居ラレル方モアルヤウデアリマスカラ、此委員會デモモウ少シ委シク説明ヲシテ置カレタ方ガ宜シクハアリマセヌカ

○菊池計畫課長 只今太田サンノ御話ノヤウナ場合ニハ、家屋ヲ所有シテ居ル者ト、土地ヲ使用スル權利ヲ有スル者トハ大體一致スルト思フ、萬一土地ヲ使用スル權利ヲ有シナイデ、家屋ヲ持ツテ居レバ、是ハ何時家屋ノ取拂ヲ命ゼラレルカモ知レナイ、其基礎ハ極メテ確實デナイ、ソレデコチラトシテハ、適法ニ土地ヲ使用スル權利ヲ有スル者、ソレヲ根據トスルノガ適當デナイカト思フ、土地ヲ使用スル權利ヲ有シテ居ル、ソレデ家ヲ建テラレル、家ノ所有者ト土地ノ使用權者ハ一致スル土地ヲ使用スル權利ト云フコトヲ押ヘテ置ク方ガ權利關係ガ明確ニナツテ行クノデハナイカト云フ考デアリマス、ソレカラ地方局長ノ御話ノ、從前竣功シタモノニ對スル負擔關係、是ハ下谷淺草ガ大正十三年ニ完成シテ、其利益ヲ此場合ニ舉ゲルト云フ形ニナル、其以外ニ、以前ニ速成工事トシテ特ニ差措キ難キ所ヲ工事ヲシタ部分ガアル、ソレハ大體下水ノ計畫ガ完成シテ一體ヲ成スヤウナ關係ニナル、一部分一部分應急的ニヤツテ利益ヲ受ケルコトニナルガ、下水路ノ脈絡關係ハ全體ガ出來上ツタ時ニ完成スルト思フ、一部分ヅ、出來レバ、其部分ハ利益ヲ受ケルコトガアル、速成工事ノ如キハソレデアリマスガ、速成事業トシテ大正五年カラ九年ニ出來タ仕事ノ部分ガアリマス是ハ其跡カラ山手方面ノ下水ノ仕事ヲヤル時分ニ、下水ノ全體ノ系統ノ一部ニナツテ處分所モ出來

マスカラ、ソレヲ除外スルコトハ不適當デナイカ、ソレカラ下谷淺草方面ノ完成シタコトハ最近ノコトデアツテ、ソレガ數年前ニ遡ルトスレバ事實上不適當ニナル、事實上不適當ニナル、唯今ナラバ、第二區ノ事業モ完成シタ計リノ所デアリマスカラ、此規定ニ俟ツテ取ルコトハ不穩當デナイノデアリマス、不景氣ノ此際ニ皆ノ感ジノ良クナイコトヲスルノモ、東京市ノ今後ノ財政ノ基礎ヲ確實ニスル考カラデモアリマスケレドモ、下谷淺草ノ方面ヲ取ラナイトスレバ、麴町、本所、深川ノモノヲ取ルノハ不公平ニナリマスカラ、此ノ場合ニ成ルベク早ク極メタイト思フノデアリマス

○近藤委員 太田君ノ御質問ノ御心配ハナイヤウナ御答デアリマシタケレドモ、震災後其例ハ澤山アルヤウデス、例ヘバ借地權者ノ家ガ燒ケタ跡ニ來テ勝手ニ家屋ヲ築造シテ居ル借地權者デナイ者ハ澤山アリマス、法律上不法占有デアリマスカラ、土地所有者カラ訴ヲ起セバ占有ノ回復モ出來マスガ、借地權者カラ訴ヲ起シテハ私ノ法律上ノ解釋トシテハ、明渡ハ出來ナイト解釋シ得ルト思フノデアリマス、實際ニサウ云ウ例ハ震災後澤山アルノデアリマス、サウ云フノハ土地ヲ利用シテ居ル賃借人ハ唯地代ヲ拂ツテ居ル丈ケデ、占有ヲ妨ゲラレテ居ルノデアリマスガ、此場合借地權者ニ拂ハセルノデアリマスガ

○菊池計畫課長 十年以上ノ借地權者ナラバ、其借地權者ニ拂ハセルノデアリマス、若シ不法ノ借地權者カラ取レバ却テ其人ノ權利ヲ確實ニスル虞ガアリマス、コチラデハ法律上占有シテ居ル者カラ取ルノデアリマス

○近藤委員 不法占有者カラ取ツテモ東京市ガ勝手ニ認メルノデ、實際ニ適法ノ占有者デアルヤ否ヤト云フコトハ裁判所ノ決定スル問題デ、ソレハ關係ハナイト思ヒマス、實際ハサウ云フ場合ハ澤山アルト思ヒマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 太田サント近藤サンノ御質問ハ、借家ノ利用ニ依ル受益者負擔ハ、家賃ノ値上デ轉嫁スルコトガ出來ルヤウニ思ハレマスガ、サウデアリマセヌカ

○福田委員 前ニ下谷淺草ノ下水事業ヲシタ場合ニハ、受益者負擔ノコトハ、其當時ハナカツタノデスカ

○菊池計畫課長 明治四十一年ニ舊下水道ノ設計ノ定マルトキニ、財源トシテ下水稅ヲ取ツタラ良カラウト云フコトガ、市區改正ノ記録ヲ見ルト載ツテ居リマス、所ガ徵收シタト云フコトハ記録デ調べルト殘ツテ居リマセヌ

○委員長(渡邊鐵藏君) 一寸伺ヒマスガ、第七條第四項ニ「一年度以上ニ亘ル工事ニ付テハ一年度又ハ數年度ニ屬スル工事ノ竣功シタル日ヲ以テ第二條第一號第五條及第一項ノ工事竣功ノ日ト看做スコトヲ得」トアリマスガ、此意味ヲ能ク御説明ヲ願ヒマス

○菊池計畫課長 此事業ハ數年ニ亘ルコトヲ豫想サレルノデアリマス、其場合ニ成ル丈ケ一體ヲ成シ

タ部分ヲ區切ツテ負擔區ヲ定メテ往キタイ積リデアリマス、或場合ニハ其事業ノ一部分ハ繼續シテ居ルコトガアリマスガ、ソレデモ或部分ガ濟ンデ居レバ相當ノ額ニ上ボルヤウナ場合ハ、ソレデ一應負擔シテ貰フ方ガ負擔者モ完成スルト澤山負擔シナケレバナラスノデアリマスカラ、或物ガ濟メバ年度デ區切ツテ年度デ負擔スルノデアリマス

○田澤東京市助役 第七條ノ初メノ方デスガ、第一項ニ「負擔金ハ工事竣功ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ納付セシム但シ第八條ノ納付期間内ニ受益者ニ異動アリタルトキハ新ニ受益者トナリタル者ヨリ殘額ヲ納付セシム」トアリマスガ、是ハ今區劃整理ヲ盛ンニヤツテ居リマスガ、現在道路デアツタ所ガ換地ニ依ツテ廢道ニナリ、宅地ニナル、又無租地カラ有租地ニナルコトモアルノデアリマス、ソレガ竣功ノ日ノ現在ニ於テハマダ無租地デアツタガ、區劃整理ガ出來テ今度ハ有租地ニナツタ、詰リ宅地ニナツタ場合ニハ、此但書ノ「受益者ニ異動アリタルトキハ」ト解シテ、負擔金ヲ取ラレルモノト解釋シテ宜シイノデアリマスカ

○菊池計畫課長 ソレデ宜シイ積リデアリマス、下谷淺草ノ徵收ヲ始メマシタガ、一應換地處分前ノ面積ヲ標準トシテ取ルコトニナルト思ヒマス、サウスルト前ノ人ハ百坪ノ土地ヲ持ツテ居ツテ、百坪ノ割合デ負擔ヲ取ラレル、今度貰ツタトキハ九十坪ニナツタトスレバ、第二年後ハ九十坪ニナル九十坪ノ土地ノ内容ハ以前ハ廢道ニナツテ居ツタカモ知レマセヌガ、其點ハ少シモ區別シナイデ良

カラウト思ヒマス、第二年目ニ土地ニ對スル權利者デアレバ良イノデハナイカト思フノデアリマス

○久保委員 一年目ニ百坪デアツタガ今度九十坪ニナツタトキニハ、百坪ニ對シテ納メタモノヲ差引スルノデアリマスカ

○菊池計畫課長 差引カナイデ九十坪デ五年分取ルモノヲ四年分取ルノデアリマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 無租地ガ有租地ニナツタトキニ、五年間ノ分納ヲ許シデアリマスガ、初メ二年ハ無租地デ四年目ニ有租地ニナツタトキハ矢張全額ヲ負擔スルノデスカ

○菊池計畫課長 全額デハアリマセヌ

○田澤東京市助役 「受益者ノ異動」ト云フヨリモ寧ろ土地ニ異動ノアツタキト云フノデスカ、此規定デ東京市ノ立場カラハ結構デアリマスガ、其點サヘ明カニシテ置ケバ宜シイノデス

○菊池計畫課長 ソレデ宜シイノデアリマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 第八條ト第九條ニ移リマス——御質問ハアリマセヌカ——別ニ御質問ガナケレバ本日ハ是デ散會スルコトニ致シマス、次回ハ追テ申上ゲルコトニ致シマス

午後零時三十分 散會

5
1

特別都市計畫委員會東京都市計畫東京市下水道事業
受益者負擔ニ關スル特別委員會第二回議事速記録

特別都市計畫委員會東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ニ關スル
特別委員會第二回議事速記録

大正十四年八月十一日(火曜日)復與局ニ於テ開會

議事日程

一、議第三九號 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件

出席者氏名

委員長

渡邊鐵藏君	中山滿之進君	中村是公君	近藤達兒君	太田信治郎君	直木倫太郎君	篠原英太郎君	福田又一君
-------	--------	-------	-------	--------	--------	--------	-------

幹事
久保三友君

吉田茂君
菊池慎三君
外復興局其ノ他關係職員

議事

午前十時三十八分 開議

○渡邊委員長 ソレデハ前回ニ引續イテ是カラ開會致シマス、第八條以下ニ付テ御質問ガアリマシタラドウゾ……

○近藤委員 八條ニ付テ御尋シタイノデスガ、大體ハ大阪ノ水道ト同ジヤウデスガ、八條ハ大阪ト大變違ツテ居リマスルガ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ

○菊池計畫課長 從來受益者負擔ノ規定ノ定マツタノヲ見マスルト、大部分五年間ノ分納ヲ許スト云フ規定ガ多イノデス、道路ヲ新設改修シマス場合ニモ、其負擔額ハ工事著手ノ日ニ依ツテ取ル、其負擔額ヲ五年間ニ分納サセルト云フ規定ガ一番多イ、所ニ依ルト分納期間ヲ二年ニ定メタ所ガアル本案ノヤウニ五年間ニ分納サセルコトニシテ、更ニ五年間徵收ヲ猶豫スルト云フコトハ他ニ例ハ無

イノデアリマス、ソレナラバドウシテ之ヲ長クシタカト言ヘバ、東京市民ノ負擔ガ可ナリノ額ニ上ル、殊ニ始メテ徵收ヲ致ス下谷淺草ノ一部分ノ濟ンデ居ル工事ニ付テハ下水ノ處分場ノ費用マデ取ル、他ノ場合ニハ、先ヅ幹線ノ工事、枝線ノ工事、處分場ノ工事、三段ニ分ツテ取ルノデアリマスガ、サウスルト負擔額モ左程多クハナラナイ、所ガ處分場ノ負擔金マデ納メシメルト負擔金ガ多クナル、ソレデ負擔ヲ容易ナラシムル爲ニ猶豫ノ出來ルコトニシタノデ、又餘リ細分スルト極ク少ナイ人ガ出來テ、却ツテ徵收上不便デアリハシナイカ、サウ云フコトモアリマシタカラ、一應ハ五年間ニ均分スルコトニシテ置イテ、サウシテ各年度ノ分納額ガ尙ホ相當ノ額ニ上ツテ、一時ニ納メルニ困難ナルヤウナ人ニ對シテハ五年以内ノ徵收ヲ猶豫スル、納メラレル人ニ對シテハ一時ニ納メル、斯ウ云フ風ニ定メタ譯デアリマス

○近藤委員 詰リ大阪市ヨリモ東京市ノ方ガ負擔額ガ多イカラ、納メルニ樂ナヤウニ斯ウ云フコトニシタノデアリマスカ

○菊池計畫課長 サウデス

○太田委員 モウ少シ其事ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマスガ、特別ノ事由アルトキハ云々、徵收ヲ猶豫スルコトヲ得ト云フ此「特別ノ事由」ト云フノハドウ云フモノヲ指スノデアリマスカ

○菊池計畫課長 此規定ヲ施行セラル、ノハ市ノ方デ施行セラル、ノデアリマスガ、大體此規定ヲ作

ル時ニ考ヘタ事ハ、特別ノ事由、詰リ之ヲ納メルニ多少困難ヲ感ズルト云フヤウナ事情モ考ヘナケレバナラスシ、徴收上ノ便否モ多少考ヘナケレバナラス、一時ニ納メシムル限度ハ百圓トシタガ宜イカ、二百圓トシタガ宜イカト云フコトモ考ヘナケレバナラス、例ヘバ百圓以内ト云フヤウナ少額ノ場合ニハ、ソレハ一時ニ納メテ貰フ方が宜イ、相當ノ額ニ上ル時ニハ納付スルニ困難デアルト云フノガ普通ノ状態デアアル、個々ノ人ニ就テハ金融ノ都合ノ宜イ人モ惡イ人モアリマスガ、大體ニ於テハ多イ方が納メ惡イノガ普通デアラウ、ソレデ相當ノ利子ヲ附シテ徴收ヲ猶豫スルコトニシタノデ、是ハ路面舗装工事ニ付テ之ト同ジ取扱ヲシテ居ラレルノデ、ソレトノ權衡ナドモ考ヘテ實際ニ定メラレルデアラウト思ヒマス

○太田委員 納メ惡イ場合ト云フノハ金高デ區別スルノデアリマスガ、百圓以下ハ金額ガ少イカラ困難ヲセヌ、百圓以上ハ金額ガ多イカラ猶豫スルト云フノデアリマスガ、千圓デモ納メ易イ者モアリマセウ、百圓デモ納メ惡イ者モアリマセウ、困難ヲ感ズル點カラ言ツタナラバ、目下ノ震災被害地ノ狀況トシテハ全部ノ東京市民ガ困難ヲ感ジテ居ルノデアアル

○菊池計畫課長 市ノ當局ノ考ヘラル、所デハ、普通ノ場合ニ金額ニ依ツテ、大體今ノ所デハ百圓以上ト以内デ區別シテ居リマス、併シ外ニ特ニ最近一年以内ニ非常ナコトニ罹ツタ場合トカ、其外將來來ルコトアルベキ震災ニ逢ツタ場合等ニハ、金額ノ如何ニ拘ラスヤルノデアリマス、精密ニ言ヘ

バ色々ノ事ヲ調べルコトガ適當ナル場合ガアルカ知リマセヌガ、箇々ノ事情ヲ斟酌スルコトガ出來マセヌノデ、普通ノ場合ハ金額デ押ヘルノデアリマス

○太田委員 サウスルト納付スルコトガ特ニ困難ナルモノハ延期スルコトヲ得ト云フノハ、又更ニ非常ナ災害ガ再ビ起ツタ場合ハ、勿論延期スベキ特別ノ場合ト認ムルト云フノデスカ

○菊池計畫課長 サウデス

○久保委員 サウスルト結局十年間ニ納メサセルノデスカ

○菊池計畫課長 初メト終リ迄二十年

○久保委員 サウスルト假ニ五千圓ヲ納メサセル場合ニ、初メノ五年ハ一文モ納メナイデ、六年目カラ千圓ヅ、納メサセルコトガ出來ルト云フノデスカ

○東京市助役田澤義鋪君 此規定ノ上カラサウ云フコトハ出來ルカ知レマセヌガ、市ガ細目ヲ定ムル場合ニ、サウ云フコトハシナイ積デアリマス

○久保委員 ケレドモ此規定ノ上カラ見ルトサウ見エマス

○東京市助役田澤義鋪君 千圓ナラバ五年間ニ均分スルト二百圓ニナリマス、其二百圓ヲ五年間ニ納メルノデアリマス、一時ニ澤山ノ額ヲ納メルコトハ困難デアルカラ、後ニ廻ハシテモ一時ニ取レバ困難デアリマス、デスカラズツト後ニ延バスコトヲ許ス趣旨デナク、寧ロ成ルベク同ジ額ニナルヤ

ウニ五年ナラバ二百圓、十年ナラバ百圓トシタノデアリマス

○久保委員 サウ云フ精神ダラウト思ヒマスケレドモ、此規定デ見ルト五年間ハ一文モ納メナイデ六年目カラ納メルヤウニ見エマス

○東京市助役田澤義鋪君 此細目ハ市ノ方デ定メルヤウニナリマスカラ、其場合ニサウ云フ不合理ニラナイヤウニ致シタイト思ヒマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 今特別ノ事由ハ金額ニ依ツテ極メテ、百圓ニ標準ヲ置クト云フコトニナツテ居リマスガ、特別負擔ノ坪當リハ二圓三十錢位ニナツテ居リマス、サウスルト百圓ハ四十五坪乃至五十坪ニナリマスガ、此位ノ土地ノ面積ニ對スル所有權借地權ハ非常ニ多イト思ヒマスガ、ソレニ一律特別ノ事由ヲ認メラレルノデアリマスカ、或ハ更ニ詮議ヲスルト云フ御趣旨デアリマスカ

○菊池計畫課長 市當局デ今考ヘテ居ラル、百圓ト云フ標準ハ各年度ノ納付金デアリマシテ、總額ノ意味デアリマセヌノデ、其點ハ市當局ノ側デモ尙ホ考慮サレル餘地ガアルト思ヒマス、此規定ガ愈々出來マシタナラバ、コチラノ御意嚮ヲ承ツテ定メル積リデアルト思ヒマス

○太田委員 特別ノ事由ノ決定ハドウ云フ所デ決定致シマスカ、市會デスカ、或ハ東京市ノ理事者ノ權限ニ屬スルノデスカ

○菊池計畫課長 東京市長ノ權限ニ屬スルノデアリマシテ、ソレハ第十一條ニ規定ガアリマス、十一

條ニ基イテ、東京市長ガ大體標準ヲ定メテ、ソレニ依ツテ實行サレル積リデアリマス

○太田委員 サウスルト東京市長ノ權限デ事由ヲ定メルノデアリマスカ

○菊池計畫課長 左様デス

○太田委員 市長ガ認メレバ特別ノ事由ニナルノデスカ

○菊池計畫課長 一々具體的ニ定メルト不公平ニナツタリ、取扱ニモ不便デアリマスカラ、市長ガ細目ヲ定メルコトニシタノデアリマス、先程申シマシタノハ細目ヲ今ノヤウニ考ヘテ居ル、大體百圓トシテ置イテ、尙ホ特別ノ事由ガアツタトキニハ百圓以下デモ考慮シヤウカト云フノガ、市後所邊リデ今ノ所考ヘテ居ラル、案デアリマス

○太田委員 幸ニ市長モ御出席デアリマスカラ此場合伺ツテ置キマスガ、今ノ特別ノ事由ニ因ツテ市長ガ猶豫スルコトニナリマス、其場合ニ此豫算ノ施行上ニ於テハ敢テ差支ハナイモノデアリマスカ、ソレカラ又モウ一ツハ、多クノ受益者負擔ガ訴願シテ、延期ヲ申出ルヤウナ場合ガアツタトキニハ、ドウ云フ風ナ御考デアリマスカ

○中村委員 豫算ノ方ニハ別ニ、延期ヲスル——五年以内ノ猶豫ヲ與ヘル場合ニハ相當ノ見込ヲ附ケテ、矢張豫算ハ組ンデ置カナケレバナルマイト思ヒマス、凡ソドノ位ノモノガ這入ルト云フコトノ豫定ハ豫メ附ケテ置カナケレバナリマセヌガ、其豫定通りニ往クカ往カナイカ實際問題ニナルト分

カリマセスケレドモ、例へば租税ニシテモ豫算ヲ組ンデモ滞納ガアツテ、豫定ノ收入ノ擧ラナイコトガアリマスカラ、今御話ノ延納トカ訴願トカ云フ場合ニハ、理由アレバ延納ヲシナケレバナラヌサウスレバ組ンダ豫算ニ齟齬ヲ來タスコトハ起ルト思ヒマス、租税ノ收入ニハ必スサウ云フコトガアリマスカラ豫算通りニハ參リマセヌ

○太田委員 九條ニ移リマシテモ宜シウゴザイマスカ

○委員長(渡邊鐵藏君) 宜シウゴザイマス

○太田委員 第九條第一號ノ「設備利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ」ト云フノハ、ドウ云フ所マデヲ利用ト見テ居ラレルノデスカ

○菊池計畫課長 今ノ御質問ノ第六條第一項ノ設備利用ト云フコトニ依ツテ、特ニ減免スベキ具體的ノ事情ハ餘リ考ヘラレナイノデアリマス、下水道ガ道路ヲ兼テル場合ニ、完全ナ道路ニナレバ宜シイノデスカ、完全ナ道路ニナラナカツタヤウナ場合ガアルトスレバ、之ニ依ツテ減免スル必要ガ起ルカモ知レマセヌ

○太田委員 一般工事ノ設備利用ト云フノデナクシテ、結局道路關係ノ部分ニ止ツタモノデスカ

○菊池計畫課長 左様デス

○福田委員 分カリ切ツタコトノヤウデスカ、第二號ノ「又ハ東京市長ガ適當ト認ムル工法ニ依リ」ト

アル「工法」ト云フノハ餘リ見慣レナイ字句ノヤウデスカ

○菊池計畫課長 ドウ云フ設計又ハドウ云フ仕事ノ仕方ニ依ツテト云フ意味デアリマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 第九條ハ他ニ御質問ガナケレバ第十條、第十一條一括シテ御質問ヲ願ヒマス

○近藤委員 私ハ十二條ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ「本令ハ下水道復舊工事ニ付テハ之ヲ適用セス」トアリマスガ、是ガ若シ災害デ非常ニ大キナ損害ヲ被ツテヤツタ場合デモ、再ヒ取ルコトハシナイノデスカ

○菊池計畫課長 震災ノ復舊工事四千三百五十万圓ノ内三十九万圓ハ今度ノ震災ノ復舊工事デス、ソレカラ將來若シ都市計畫事業トシテ、復舊事業ヲヤリマス場合ニハ、此規定ガアリマスカラ取ラナイヤウニナリマス、今日アリマスモノトシテハ震災ノ下水道ノ復舊工事、ソレヲ元ノ状態ニ復スルノデス、震災ト云フ特別ノ事ガアリマスカラ除外致シマスガ、平素ノ修繕ハ都市計畫事業ト致シマセヌノデ、取テナイコトニ致シマス

○太田委員 第十條ノ五號ノ「工事竣功ノ日」ト云フノハドウ云フ所ヲ指スノカ、コノ間伺ツタ時ニハ第七條ノ「負擔金ハ工事竣功ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ納付セシム」ト云フ此工事竣功ノ日ト云フノハ十條ノ工事竣功ノ日デスカ

○菊池計畫課長 工事竣功ノ日ト云フノハ、何時竣功シタカト云フコトハハツキリ分ラナイ、下水道

ノ事業トシテハ、全部完成ノ日ヲ工事竣功ノ日ト見ルカ、全部ト言ヘバソレハ處分場マデ全部完成シタ日ト見ルカ、或ハ其ノ中ノ、事業ガ數年度ニ分ツテ居ルシ、或ハ場所ニ付テ區分シテ居ル速成工事ガアル、其事業々々ニ付テ何時竣功シタカ、其竣功ノ日ヲ東京市長ヨリ告示スルコトニシタイソレナラバ東京市長ガ毎年度毎ニ竣功ノ日ヲ定メラル、カ、或ハ數年度ヲ併セテ定メラル、カ、是ハ市長ノ方デ適當ニ處置サレテ宜イト思フ、此規定トシテハ毎年定メラル、コトヲ豫期シテ居ナイソレヨリモ數年位ヲ事業ノ或ル一段ヲナスヤウナコトヲ標準トシテスル方ガ適當デハナカラウカ、此規定ノ精神ハ寧ロソコニ在ル、ソレハ第八條ノ五年間ニ均分スルト云フ規定ノ精神ニモ適フ、近藤サンガ常務委員會デ御話ニナツタヤウニ、各年度毎ニスルナラバ、第八條ノ關係カラ徴收手續ガ煩瑣ニナル、ソレヲ若シ數年分ヲ併セテ、事業ガ一段トナツタ時ニ徴收スル方ガ、徴收スルニ簡單デアアル、或ル程度ニ集メテ取ル方ガ此精神ニ合フドラウト思フ

○太田委員 サウスルト此受益負擔ヲ納付スル原則ハ、其下水道ニ依ツテ受益スル爲ニ、其受益者ガ受益負擔金ヲ負擔スル、然ルニ一方ニ竣功ノ日ト云フモノハ、其下水道ノ利益ヲ享受スルコトガ出來タ時ヲ竣功ノ日ト認メテ居リマスガ、若シ、大阪ノ方ハ着手ノ日ト云フノデアリマスカラ擬ラハシクナイ、單ニ徴收金ノ豫算關係其他ニ依ツテ竣功ノ日ヲ定メルト云フノデハ寧ロ竣功ノ日ト云フノデハナイト思フ、實際ノ竣功ノ日ト云フノハ其事業ノ完成シタ時ヲ竣功ノ日ト認ムベキデハナイ

カト思フ、今ノ御説明デアルト、竣功ノ日ト云フノハ、事業ノ竣功ニ係ハラナイ、第八條ノ規定ニ依ルト五年間ニ均分云々ト云フコトニ基イテ、竣功ノ日ヲ定メナケレバ徴收スル方法ガナイ、第七條ノ所謂竣功ノ日ト云フノハ各區劃ノ一區劃ノ工事ノ著手若クハ其ノ狀況ニ依ル、斯様ナコトニナルト竣功ノ日ト云フモノハ妙ナコトニナルト思フ、竣功ト云フノハ少クトモ利用ガ出來ルト云フコトデナケレバナラス、ソレガ五年間ニ均分スルト云フ所カラ斯ウ云フ竣功ノ日ヲ定メナケレバナラスト云フコトハ妙ニ思フ、但シ工事ノ竣功ト效用ト云フコトトハ關係ハナイノデスカ、又市長ノ權限デ、先ヅ竣功ノ日ト認メレバ其權内ニ於テ勝手ニ定メルコトガ出來ルノデアリマスカ

○菊池計畫課長 ソレハ斯ウ云フコトニ御考ヲ願ヒタイ、竣功ノ日ト云フノハ常識ニ於テ考ヘラレルヤウニ、仕事ノ竣功シタ日デアリマス、併シ竣功ノ日ト云フノハ下水全體ノ竣功ノ日ト必ズシモ考ヘル必要ハナイ、工事自體ニ付テ考ヘルナラバ、其一部分ノ工事ノ竣功ノ日ヲ工事竣功ト考ヘル、ソレカラ年度工事ノ竣功ト考ヘルナラバ年度工事ガ竣ツタ時ガ竣功ノ日デアアル、今度ノ速成工事デ山ノ手ニ於テ二十一箇所ニ工事ヲ施行スレバ、部分々々ニ於テ竣功ト云フコトニナル、今御話ノ通り、竣功ト使用シ得ル時期トハ大體同ジモノデ、極ク接近シタ時期デアアル、山ノ手方面二十一箇所ノ速成工事ヲヤリマシヤウニ、山ノ手全體ノ下水道竣功ノ日ヲ考ヘマスト、餘程後ニナルソレガ全體ガ完成シタ後デナケレバナラヌガ、普通ノ竣功ト云フ觀念ヲ入レテ其場合ニモ取り得ル、竣功

ト云フコトヲ勝手ニ定メルノデアリマセヌノデ、事業ヲ區分シテ考ヘテ、其事業ノ竣功ト云フ觀念トスル

○太田委員 一區劃ノ事業ノ竣功ト見ルノデアリマスカ

○菊池計畫課長 一部ノ事業ノ完成ノ日モ竣功ト見得ル、第七條ノ一番終リノ所ニアリマスガ「二年度以上ニ亘ル工事ニ付テハ一年度又ハ數年度ニ屬スル工事ノ竣功シタル日ヲ以テ第二條第一號第五條及第一項ノ工事竣功ノ日ト看做スコトヲ得」ト云フノハ其意味デアリマス

○福田委員 大分ハツキリシマシタガ、少クトモ下水道デアレバ、下水ニ水ガ這入ツテ神田川ナリ何處ナリニ流出スト云フコトハ意味スルノデセウ子、サウシナイト下水ガ連絡シテ居ラナイデ、或ル部分ダケ出來上ツタ所ガ仕方ガナイ、ソレヲ言フノデアリマスマイ、ソコハドウデスカ

○菊池計畫課長 ソレハサウ云フ場合ニ打切ツテ取ルヨリハ、ソレヲ使用シ得ルヤウナ状態ニナツタ時ニ取ツタ方が徴收シ易イ、ソコハ適當ニ運用サレルト思フ

○中村委員 今ノ御話デスカ、使用シ得ベキ程度ニ竣功シタ場合デナクテモ、應テ使用シ得ルヤウナ程度ノ竣功ヲ實ハ之ニ包含サセテ考ヘタイノデス、サウ云フ風ニ實ハ私ノ方デハ考ヘテ豫算ヲ編成シテ居ル、ソレヲ申上ゲテ置カスト、サウ云フ積リデハナカツタト云フコトニナルト困リマスカラ本當カラ申シマスレバ、受益者負擔デアリマスカラ、使用シテ益ヲ受ケル者デナケレバナラヌト思

ヒマスガ、現在ハ使用シナクテモ使用シ得ルモノデアレバ負擔スルコトニナル、是ハ財政ノ都合カラモ來テ居リマス

○菊池計畫課長 大阪ノ規定ハ着手ノ日デ前ニ取ルコトニナル、他ノ都市計畫事業ノ受益者負擔モ原則トシテハ着手ノ日ト云フコトニナツテ居リマス、其思想ハドウカト云フト、寧ロ此事業ハ沿道ノ人又ハ排水區域ノ人ハ利益ヲ受ケルカラ、其利益ノ一部ヲ出シ合ツテアトハ市ノ金デヤラウヂヤナイカト云フ思想カラデアルト思フ、其點ダケヲ見テモ他ノ都市ヨリモ東京市ニ對シテハ利益ヲ受ケテカラ取ル形ニナツテ居リマス

○中村委員 要スルニ受益者負擔ト云フモノハ、現實ニ使用シ得ル者デナクテモ、利益ヲ受ケルヤウニナル者ニ對シテモ取ツテ行クノダ、斯ウ云フ觀念デス

○福田委員 サウ云フ積リナレバソレデ宜シイ

○太田委員 市長ノ權限ニ屬シテ居ルコトハ市會ノ決議ヲ得ズシテ直チニ市長ガ之ヲ決定スルコトニナルノデアリマスガ、市長ガ更ニ案ヲ市會ニ提出シテ市會ノ協賛ヲ求メル順序ニナルノデアリマスカ、市長ガ任意ニ之ヲ決定シ、市參事會若クハ市會ノ決議ヲ經ル必要ハナイコトニナリマスカ

○菊池計畫課長 市會市參事會ノ決議ヲ經ルコトハ要ラナイノデアリマス

○太田委員 サウスルト此下水道ノ事ニ關シテハ全ク自治ノ本旨ニ悖ルヤウナコトニナリハシマセヌ

カ

○菊池計畫課長 下水道ノ受益者負擔ヲ市ノ財政上ノ關係デドウ云ウ形ニナリマスカ、之ヲ收入トシテ歲計豫算ヲ定メル所ノ市會デハ意見ヲ定メルコトガ出來マスルガ、此規定自體ニ於テハ市會ノ權限ニハ關係シナイト云フコトニナリマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 是デ大體質問ハ終了シタヤウデアリマスカラ、是ヨリ御意見ヲ伺ツテ決定ニ移リタイト思ヒマス

○太田委員 此場合ニ如何デゴザイマセウカ、暫時御休憩ヲ願ツテ、一應懇談ヲ重テ其後ニ決定ヲナサルヤウニ致シタイト思ヒマス

○委員長(渡邊鐵藏君) 唯今太田サンカラ御動議ガ出マシタガ如何致シマスカ

〔賛成〕賛成ト呼フ者多シ

○委員長(渡邊鐵藏君) ソレデハ暫時休憩致シマシテ懇談ニ移リマス

〔懇談ノ後更ニ議事ヲ次回ニ讓ルコト、シ散會セリ〕

午後零時四十分 散會

特別都市計畫委員會東京都市計畫東京市下水道事業
受益者負擔ニ關スル特別委員會第三回議事速記録

特別都市計畫委員會東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ニ關スル
特別委員會第三回議事速記録

大正十四年十一月五日(木曜日)復興局ニ於テ開會

議事日程

一、議第三九號 東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件

出席者氏名

委員長

渡邊鐵藏君
上山滿之進君
中村是公君
篠原英太郎君
近藤達兒君
太田信治郎君
福田又一君
久保三友君

幹事

清野 長太郎君
潮 惠之輔君

廣 瀬 久 忠君

岡 田 周 造君

大 島 辰 次 郎君

西 村 輝 一君

外復興局其ノ他關係職員

議 事

午後二時三十三分 開議

○渡邊委員長 是ヨリ開會致シマス、議第三十九號東京都市計畫東京市下水道事業受益者負擔ノ件ニ付テ、前回ハ内務省令ノ案ニ付テ御審議ヲ願ツタ譯デアリマスガ、大体ノ説明ノ後ニ逐條ニ亘ツテ御質問ガアリマシテ、質問ノ濟ミマシタ後ニ、討議ニ移ルニ當ツテ、懇談會ヲ開イテ色々御應答ガアツタヤウデアリマスガ、其中ニ特ニ第八條其他ニ付テ困難ナ論點モアリマシタノデ、時恰モ暑中休暇ニモナリマシタノデ遅レテ居ツタヤウナ次第デアリマスガ、引續イテ御審議ヲ願ヒタイノデア

リマス

○太田委員 此受益負擔ノ賦課方法ノ大体ニ付テ、前回ニ於テ未了ニナツテ居リマシタカト思ヒマスガ、國若クハ公共團體、或ハ社會事業ノ社團法人、國ノ特別會計ニ屬シテ居ル事業ト云フヤウナモノニ對シテハ、此受益負擔ヲ課スルヤ否ヤト云フコトニ付テ、未ダ其事柄ガ決定シテ居ラナカツタヤウニ思ヒマスノデ、其事ニ付テ市ノ當局ニ何カ御考ガアリマスレバ伺ヒマス、現ニ委員長カラモ此點ニ付テ御注意ガアツタコト、思ヒマスカラ一應伺ヒマス

○渡邊委員長 只今ノ太田サンノ御質問ニ付テハ、第二條ノ第二號ノ審議ノ際ニ種々御議論ガアリマシテ、當時色々ノ御意見ガ出マシタ、其後當局ノ方デモ、是等ノ點ニ付テ或ハ御研究ガアツタカモ知レスト思フノデアリマスガ、無論此受益者負擔ノミナラズ家屋稅トノ聯關ノ問題ガアリマシテ、根本的ノ解決ハ困難カ知レマセスガ、何等カ聯關スル點ニ付テノ御調べガアツタラ御伺ヒシタラドウカト思ヒマス

○岡田計畫課長 只今ノ點デゴイマスガ、其點ガ前ノ會ニ於テモ色々御議論ガアリマシタヤウニ私共速記録デ見タノデアリマスガ、此案ノ趣旨ト致シマシテ矢張有租地無租地ト云フコトニ依ツテ區別シテ置ク、有租地デアレバ、同潤會ノヤウナモノガ經營シテ居ル住宅地デアツテモ已ムヲ得ナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデアリマス、有租地無租地ニ依ツテ大体ニ於テ受益者

5
10

負擔ヲ課スルカ課サナイカト云フコトヲ決定シテ行ク、無租地デアツテモ特別ノモノハアリマスルケレドモ、例ヘバ公用又ハ公共ノ用ニ供シナイモノハ課ケマスルケレドモ、其以外ノモノニ付テハ課サナイ、大体斯ウ云フ區別デ進ミタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○久保委員 有租地デアツテモ、慈善團體トカサウ云フモノニハ課ケナクテモ宜ササウニ思ヒマスガ
○岡田計畫課長 若シソレガ何カノ關係デ無租地ニナレバ課セナイ

○福田委員 有租地ニハ絶對ニ課スルノデスナ、無租地ノ場合ニハ原則トシテ取ラナイ、同潤會トカ若クハ濟生會ト云フヤウナモノハドウ云フモノニ屬シマスカ

○岡田計畫課長 アレハ恐ラク免租地ニハナラヌダラウト思ヒマスカラ、矢張負擔ヲ課サナクテハナラスト思ヒマス

○太田委員 サウシマスルト、鐵道用地ハ免租地ニナツテ居ルガ、煙草專賣局トカ、特別會計ニ屬スル、幾分カ營利ニ屬スルモノハドウナリマスカ

○岡田計畫課長 アレモ矢張公用地ニ屬シテ免租地ニナツテ居ル筈デアリマス
○太田委員 國デヤル事業デスカラ免租地ニナツテ居ルノデスカ

○岡田計畫課長 サウデス、之ニ對シテ公課ヲ課スルコトガ出來ナイヤウニ規定サレテ居リマス
○久保委員 學校ナドモ無租地デセウ子

○岡田計畫課長 矢張無租地デアルト思ヒマス

○福田委員 大使館、公使館ノ在ル場所ハドウナリマスカ

○岡田計畫課長 アレハ此前ニモ多分申上ゲタト思ヒマスガ、敷地ハ官有地デアリマシテ、ソレヲ外國ニ於テ使用シテ居ルノデ、之ニ付テハ色々ノ御質問モ此委員會ニ出マシタノデアリマス、依テ外務省ノ方ニ照會シテ居リマスルガ、外務省デモ未ダ正式ニ決定シタ意見ヲ回答シテ參リマセヌ

○渡邊委員長 免租地ニハ違ヒアリマセヌヨ、併シ日本ノ公用又ハ公共ノ用ニハ供シテ居ナイノデスソレデ此二條ノ二號ノ公用又ハ公共ノ用ニ供スルト云フ中ニ入リマスカ

○岡田計畫課長 入ラナイト云フコトニ一廳ノ解釋ハシマスノデスガ、唯實行問題トシテ、是ハ此解釋デ進ンデ、負擔ヲ課シテ行クコトガ果シテ出來ルカドウカト云フヤウナコトニ付テハ困難ガアルカモ知レナイノデスカラ、其點ニ付テ……

○渡邊委員長 入ラナイト云フ解釋デスカ

○岡田計畫課長 サウデス
○太田委員 逐條ニ就テ決ヲ決ラレマスカ、或ハ總括シテ修正ナラ修正ノアル分丈ケケヲ決ヲ採ラレマスカ

○渡邊委員長 逐條ニ進ンデ行キタイト思ヒマス、特ニ八條ノヤウニ議論ノアツタモノハモウ一應意

51
10

見ヲハ闘シタ方ガ便利デナイカト思ヒマス——ソレデハ逐條デ進ミマス——最早御質問モ盡キタヤ
ウデアリマスカラ、第一條、第二條ニ付テ御討議ヲ煩シタイト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○渡邊委員長 御異議ガナケレバ此通り決シマス——第三條丈ケニ付テ……

○太田委員 原案賛成

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○渡邊委員長 御異議ガナケレバ原案ノ通り決定致シマス——第四條

○太田委員 私ハ此場合、第四條ノ中ノ第三ニ「各受益者ノ負擔金額ハ各負擔區ニ於ケル負擔金ノ總額ヲ當該區内ニ於ケル受益者ノ土地ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ム」ト云フ規定ガアリマスガ、其當該區ニ依ツテ負擔金額ニ等差ヲ生ズルト云フコトハドシナモノデアリマセウカ、大體大都市ヲ構成スルニハ、各當該區ガ寄ツテ大都市ヲ構成スル爲ニ、其大都市ノ公衆衛生ガ初メテ完備スルノデアリマシテ其一部分ガ缺如シテ居レバ完備スル譯ニ往カナイノデアリマスガ、其場所ニ依ツテ收益負擔ガ第一、第二、第三ト異ツテ居ルト云フコトハ頗ル公平ヲ失スルモノト思ヒマスカラ之ヲ均一ナラシムルコトヲ希望スルノデアリマス、私ト致シマシテハ何處迄モ均一ヲ希望シテ居ルノデアリマス

○田澤東京市助役 唯今太田サンノ御意見ハ、第四條第三號ニ付テノ御議論デアリマシタガ、同時ニ

第三條ニ「受益者負擔區ハ東京都市計畫下水道三大排水區ノ區分ニ依ル但シ土地ノ狀況工事施行年度等ニ依リ必要アルトキハ大排水區ヲ細分シテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得」トアリマスガ、此點ニモ言及シテ居ラツシヤルト思ヒマス、負擔額ヲ別ケル云フコトハ面白クナイカラ一律ニヤツタラドウカト云フ御意見ト拜承スルノデアリマスガ、議論トシテ其可否ヲ論ズレバ色々ノ點ガ相當ニアルト思ヒマスケレドモ、私ハ寧ろ實狀カラ太田サンノ御考慮ヲ願ヒタイト云フノデアリマス、東京ノ現在ノ實狀ハ、下谷淺草方面ノ排水區ハ既ニ出來上ツテ居リマス、又本所深川方面ハ今ヤリツ、アルノデアリマス、ツレカラ他ノ方面ハ一部ハヤリツ、アリ、一部ハマダ着手ヲシテ居ナイ、斯ウ云フヤウナ狀況ニナツテ居リマシテ、下谷淺草デ例ヲ取ルナラバ、其排水區ニ於テ受益ガ出來上ツテ居ル、然ルニ山手方面ハ事業ヲ行フベキ豫算モマダ出來テ居ラナイ、執行ノ財政計畫ハ立ツテ居ラナイト云フ實狀デアリマシテ、全然負擔區ノ狀勢ハ排水區ノ別レルニ從ツテ異ツテ居リマス、而シテ同一ノ排水區ガ出來上レバ下水道ノ受益ガ完成ステノデアリマスカラ、其一部ヲ單位トシテ取ラシテ載クコトガ、受益者負擔ト云フ性質ノ上ニモ合フノデアリマス、ソレカラ又金額ガ負擔區ニ依ツテ多少違フコトハ、是ハ公平ヲ失スルヤウニ御考ヘニナル點モアルカト思ヒマスガ、本所深川ノ排水區ノ如キハ外ノ排水區ト違ツテ、自然流下デアリマセヌカラ唧筒ノ力ヲ用ヒナケレバナリマセヌ外ノ排水區ハ自然流下デ唧筒ノ力ヲ要シマセヌガ、本所深川ハ唧筒ノ力ニ依ラナケレバ排水ガ出來

51
10

ナイノデアリマスカラ、茲ニ幾分ノ相違ノアルコトハ己ムヲ得ナイコトデナイカト私共ハ考ヘマス
又實際上サウ大ナル相違ト云フ譯デモナイカト思ヒマスカラ、矢張別ケサシテ載ク方が當局トシテ
ハ甚ダ都合ガ宜シイデアリマス

○太田委員 敢テ議論ヲ闘ハセル次第デアリマスセヌガ、實狀ノ方カラ云ツテモ、第一區、第二區、
第三區トナツテ、其負擔金額ガ二圓カラ三圓マデアルト云フコトニナリマス、大分相違ガアルカ
ト思ハレマス、實際問題トシテハ區域ニ依ツテ負擔ノ増加スルノハ必要上己ムヲ得ナイカ知リマセ
ヌガ、其區域モ矢張東京市ノ一部分デアツテ、同シク市稅ヲ負擔スル區域デアリマスカラ上段ノ所
中段ノ所ト云フコトデナク、之ヲ均一ナラシメテ載クコトハ、實際問題トシテ私ノ希望スル所デア
リマス、併シ多數ノ御意嚮ガ原案ガ適當デアルト御認メニナレバ、飽クマデモソレニ反對スル譯デ
アリマセヌガ、願クハ一ツ均一ニナラシメテ載キタイト思フデアリマス

○久保委員 私ハ遺憾ナガラ太田君ノ說ニ反對デアリマス、是ハ所謂受益者ノ負擔金デアリマスカラ、
其區、其區デ極メルノハ受益者負擔金ヲ取ル精神ニ副フテ居ル譯デアリマス、例ヘバ本所淺草ノ如
キハ、從來下水ガ不完全ノ爲ニ困ツテ居ツタ、ソレガ此下水ヲ改良スルガ爲ニ受クル所ノ利益ハ、
其附近ノ者ハ非常ニ多イデアリマス、之ニ反シテ山手方面ハ下水ヲ改良シタ所デ、本所淺草ノ如
クニ利益ヲ受クル點ハ尠ナイデアリマスカラ、其區、其區デ掛ツタモノヲ各々其區ガ負擔シテ初

メテ公平ヲ得ルデアリマス、之ヲ山手モ本所深川モ一緒ニシテ、全體ヲ通ジテヤルトナルト受益
者負擔ノ精神ニ反スルト思ヒマスカラ、矢張原案ガ良イト思フデアリマス

○福田委員 私ハ意見ヲ定メルニ付テ實狀ヲ伺ツテ置キタイノデスガ、全體ト云フコトニナレバ皆出
來上ラナケレバ總額ガ分カリマセヌカラ、出來上ツタ所カラ取ルコトハ出來ナイコトニナリマスナ
出來上ツタ所ヲ一區トスルナラバ宜シイガ、全體ヲ一區トスレバ全體ガ出來上ラナケレバ割當ガ出
來マセヌカラ、出來上ル迄差控ヘナケレバナリマセヌカ

○田澤東京市助役 サウデハアリマセヌ、出來上ツタ分ヅ、掛ケテ、後デ出來上レバ又取ルデアリ
マス

○福田委員 太田サンノ御說モ議論トシテ尊重致シマスガ、實際ノ狀況カラ考ヘテ仕方ガナイトシテ
原案ヲ賛成スルヨリ外アルマイト思ヒマス

○渡邊委員長 皆サン如何デスカ——太田サンハ修正意見ヲ動議トシテ御出シニナリマスカ

○太田委員 私ハ敢テ固執スル積リハアリマセヌカラ、多數ノ諸君ガ御賛成ナラバ、原案ノ通りデモ
宜シウゴザイマス

○渡邊委員長 一寸文字ノコトニ付テ申シタイノデスガ、三行目ノ所ニ「當該區内ニ於テ受益者ナキ
土地」ト云フノハオカシイト云フ御意見モアリマシタ「受益負擔者ナキトキ」ト云フヤウニ適當ノ

文字ヲ入レルコトヲ當局者ガ御考ヘニナツテ居リマスナラバ、後ニサウ云フ風ニ修正シテ載キタイト思ヒマス、併シ此儘デ良ケレバ是デモ宜シイノデアリマガ、受益者ハアルノデ、負擔ヲシナイ丈ケデアリマス

○太田委員 一寸参考ニ伺ヒマスガ、「河川運河及濠ヲ除ク」ト云フコトガアリマスガ、私有地内ノ濠ハドウナリマスカ、此濠ト云フ中ニ這入りマスカ、私有地ノ濠デス……此點ニ付テハ篤ト御極メ置キヲ願ヒマス、本所深川ハ濠ガ多イノデアリマスガ、此濠ハ下水道受益ノ必要モナク、又人家モ建テ居ヲナイ、サウ云フ所ハ此負擔ヲ除クコト、考ヘマスガ、如何デアリマスカ

○田澤東京市助役 ソレハ其狀況ニ依ツテ色々ニナルト思ヒマスガ、九條ニ「左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得」トアリマシテ、其第一號ニ「下水道又ハ第六條第一項ノ設備利用ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ」トアリマスカラ、若シ有租地デアツテ初メノモノニ當ラナイ場合ハ、事實下水ガ出來テモ何モ利益ヲ受ケテ居ナイト云フコトデアリマスナラバ、九條ニ依ツテ救済シテ往クコトガ出來ルト思ヒマス、或ハ九條ニ依ラナイデモコチラノ解釋デ何處迄往キマスカ、コチラデ往カナケレバ九條デ減免スルコトガ出來ルト思ヒマス

○太田委員 九條ノ第一號ハ第六條ノ一項ニ當儀ツテ居ルノデアリマセヌカ

○田澤東京市助役 「下水道又ハ第六條第一項」云々ノ「又ハ」ノ後ヲ取ツテ讀メバ「下水道ノ設備利

用ノ狀況ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ」斯ウナリマス

○太田委員 常識ヲ以テ判斷シテ見テモ、運河ノ如キモノ、堀ノ如キモノ、蓮池ノヤウナモノ、最早アリマスマイケレドモ田地ノヤウナモノデアレバ、實際、第九條第一號ノ下水道又ハ第六條第一項ノ事情ニ依リテ斟酌スベキモノニ該當スルノデアリマスガ、要スルニサウ云フモノハ負擔金ヲ除ク趣旨デアルト云フコトノ御言明ヲ得レバ、私ハ此儘デ差支ナイト思ヒマス

○田澤東京市助役 左様ニ只今ノ所デハ考ヘテ居リマス

○太田委員 其通りデアレバ差支アリマセヌ

○渡邊委員長 ソレデハ御異議ハアリマセヌカ——今ノ文字ノ點ハ原案ノ儘デ宜シウゴザイマスカ
○福田委員 ドウモ入レレバ大變ハツキリシマスチ「受益者ナキ土地」ト云フヨリハ「受益負擔者ナキ土地」ト云フ方ガハツキリスルト思ヒマスガ……

○岡田計畫課長 今ノヤウナ土地ガ事實水面ニナツテ居リマシテモ受益者ノアル土地デアリマシテ、受益者ナキ土地ノ方ニ入ツテ來ナイノデアリマス、サウシテ矢張受益者負擔ヲ課スル土地デアルガ實際ニ下水道ノ設備ヲ利用シナイカラ、第九條ニ依ツテ減免スルコトニナツテ來ルノデアルト思ヒマス

○太田委員 一寸分り惡イノデアリマスガ……

○渡邊委員長 第四條ハ負擔ノ割合ノ基礎ヲ定メルノデ、個々ノ所有地ニ於テドウ云フ例外ガアルカラ課スルトカ課セナイト云フコトハ、此處デハ少シモ現レテ來ナイノデハアリマセヌカ——サウデセウ

○岡田計畫課長 サウデス

○上山委員 先程委員長ノ仰シヤツタノハ、受益者ト云フノハ二條ニ定義ガ定メテアリマスルカラ宜イノデハアリマセヌカ

○渡邊委員長 只今ハ其問題デナク後ニ戻ツテ居ルノデアリマス

○太田委員 只今申上ゲタノハ、此處ニアル河川運河濠ノヤウナモノト同ジヤウナモノデ、要スルニ公共ノ道路ト同シヤウナモノデ除イタモノデハナイカト云フヤウニ觀察シタノデアリマス、ソレガ爲ニ今度私有地ノ所謂有租地ノ運河河川濠ノヤウナモノハ、實際問題トシテ下水ノ利益ヲ享受シナイモノハドウスルカト云フコトヲ質問シタノデアリマス、ソレニ對シテ今ノ當局ノ御答ハ、サウ云フモノハ要スルニ土地ノ狀況ヲ調査シタ上ニ於テ、實際ニ其運河若クハ濠、蓮池ト云フヤウナモノデ、之ニ受益者負擔ヲ課スベカラザルモノデアルト云フコトヲ、實際問題ニ付テ御言明ニナツタモノト認メマス、此文字ハ恐クハ公用ノ運河ヲ御覽ニナツテ居ルノデアラウガ、此中ニハ御存ジノナイ方ガオアリカ知レマセヌガ、本所深川砂町邊ニ行キマスルト、私設ノ河川運河、濠ト云フモノガ

澤山アル、數萬坪ノモノガアリマス、サウ云フモノハ現在半公共用デ舟艦シテ居リマス、ケレドモ私設ノモノデアル、現ニ私共サウ云フ所ヲ目撃シテ居ル、而シテ是ハ有租地デアル、ソレヲドウスルカト云フ意味デ伺ツテ居ルノデアリマス

○田澤東京市助役 實際ノ狀況ニ依ツテ減免スルカ否カト云フコトガ定マルカト思ヒマス

○渡邊委員長 サウスルト第四條ノ第一號ニ付テハ、濠ダトカ其他ノモノハ受益者ナキ土地トハ看做サナイ、一應サウシテ置ク、サウシテ若シソレヲ免ズルト云フ風ナ必要ガアル場合ハ、第九條デ實際ニ當ツテ決定スル、斯ウ云フ御答辯デアリマスカ

○岡田計畫課長 事實水面ニナツテ居リマシテモ、若シソレガ有租地デアレバ、二條ニ依ツテ受益者ヲ有スル土地ニナリマスカラ、第四條ノ受益者ナキ土地ノ問題ニハナラヌ譯デアリマス、併シ事實下水道ノ設備ヲ使用シナイト云フ點ニ於テ、ソレハ斟酌スベキ點ガアリマスカラ九條ノ問題トシテ扱フベキモノト思ヒマス

○渡邊委員長 第四條ノ規定ハ、第一區ガ三圓ニナル、第二區ガ二圓八十錢ニナルト云フ、サウ云フ計算ニナルノデ、個々ノ負擔ノ問題トハ別問題ダラウト思ヒマス——ウウデス子

○岡田計畫課長 サウデス

○久保委員 ソレハ其通りデアリマセウガ、第二條ハモウ決定シタ後デアリマスガ、ドウモサウ云フ

コトダト甚ダ煩雜ナヤウニ思ヒマスガ、運河デモ濠デモサウ云フモノハ下水ノ爲メ受益ヲシナイ、ソレデモ有租地デアルガ故ニ一旦ハ受益者アル土地ト看做シテ、ソレカラ第九條ニ依ツテ斟酌スルト云フコトニナルト、ツマラナイ手数ヲ一々掛ケナケレバナラス、ソレヨリモ第二條ヲモウ少シ改メテ、受益者ト云フ定義ヲモット明確ニシテ、サウシテ例ヘバ、成程今太田サシカラ聞イタ所ニ依ツテ考ヘテ見ルト、金魚池トカ或ハ釣堀、斯ウ云フモノハ有租地デ澤山アリマスカラ、其釣堀、金魚池ナドハ、下水ヲ拵ヘテ貰ツテモ少シモ有難クナイガ、ソレデモ矢張受益者負擔ヲスルコトニ一應定メテ、ソレヲ第九條ニ依ツテ斟酌シナケレバナラス、ソレヨリモサウ云フモノハ受益者トハ云ハナイコトニハツキリト第二條ニ定メテ置イタ方宜クハナイカ

○太田委員 是ハ矢張大綱ハ有租地無租地ト云フコトデ定メタ方宜クハナイカ、サウデナイト、其中ニ斯ウ云フモノガアルト云フコトニナルト、却ツテ煩雜ニナルト思ヒマスガ、是ハ有租地無租地デ定メテ、ソレカラ實際問題ニ依ツテ、今ノ運河ガ出來テ居ルトカ養魚場ニ使ツテ居ルトカ木堀ニ使ツテ居ルト云フヤウナコトハ、全ク下水ノ恩惠ヲ受ケナイモノデアアルナラバ、ソレハ減免スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトナレバ宜イト思ヒマス

○福田委員 此河川、運河、堀ト云フモノガタント除ク分量ガ多クナルト、非常ニ負擔ガ多クナル譯ニナリマスガ……

○田澤東京市助役 ドツチニモ除カレルノデアリマスカラ……

○久保委員 實際ノ負擔者ニハ加重サレル譯デハナイノデアリマスナ

○田澤東京市助役 サウナリマス

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○渡邊委員長 此第九條第四號ニ付テハ詳シイコトヲ御定メニナル積リハアリマセヌカ、久保サンノ御心配ノ金魚池トカ材木池トカ云フコトハ……

○田澤東京市助役 ソレハ細則トシテ書カウト云フヤウナ積リハナイノデアリマス、事實ニ依ツテヤツテ行キタイト思ヒマス

○渡邊委員長 ソレデハ第四條ヲ此儘決定シテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○渡邊委員長 ソレデハ第五條ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○渡邊委員長 御異議ガナケレバ是デ決定シタモノト認メマス——次ハ第六條

○久保委員 第六條ノ、下水ガ上ニ蓋ヲシテシマツテ道路ガ廣クナツタト云フ場合ニ、反對ノ側モ負擔金ハ同ジコトニナリマスガ、是ハサウセズニ道ノ廣クナツタ方ノ側ト別々ニ規定スル必要ハアリ

マセヌデセウカ、二十間ナラ二十間ノ幅ノ道路デアツテ、一方ノ側ニ濶ガアツテソレニ蓋ヲシタ
サウスルト濶ノアツタ側ノ人間ハ特別ニ利益ヲ受ケルガ、其利益ヲ他ノ側ノ人間ニモ負擔サセルノ
デアリマスガ、是ハ本當ノ受益者ト云フ趣旨ニ反スル、濶ガ道ニナツタ方ノ人ハソレハ受益スルガ
反對側ノ人ハ何モ利益ヲ受ケナイノデアリマスガ……

○田澤東京市助役 唯今ノ御話ノ如ク唯原則通りニシテ、道路ガ廣クナルカラト云フノデ、久保サン
ノ御意見ノヤウニ、實際ノ事情モ顧ミズ一緒ニスルノハ不公平ノトキニハ、第二項ニ依リマシテ土
地ノ狀況又ハ工事施行年度等ニ依リ負擔金、負擔方法ヲ別ニ定メテ往クノデアラウト思ヒマス

○渡邊委員長 第六條ハ是デ決定シテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○渡邊委員長 ソレデハ六條ハ是デ決定致シマシテ、第七條ニ移リマス

○太田委員 此受益者負擔金ノ工事進行云々ト云フコトニ付テ、前回ニ於テ私ハ質疑ヲ致シ尙ホ意見
ヲ述べマシタガ、其當時私共ノ主張致シマシタノハ、工事が全部竣功シテ其全部ノ利用ガ出來テカ
ラ受益者ニ之ヲ納付セシムル、斯様ニ私ハ主張シタノデアリマスガ、東京市ノ當局ノ御話ニハ、一
部分ガ竣功シテソレガ利用ガ出來ルヤウニナレバ、一部分ヅ、賦課シテ往クト云フヤウナ御意見ト
聞キマシタ、一面カラ申シマスレバ一部ノ竣工デハ甚ダ不満足ノヤウニ思フノデアリマス、併ナガ

ラ順次負擔金ヲ少シヅ、課シテ往クト云フコトニナレバ、負擔者ノ其負擔額ガ繰延ベラル、ヤウナ
形ニナルト思ヒマス、此點ニ付テ今一應御伺ヲシテ原案ニ賛成シテ見タイト思ヒマス

○田澤東京市助役 前回、前々回邊リカラノ御議論ハ至極御尤モトハ思ヒマスガ、東京市ノ事情カラ
申シマス、要スルニ受益者負擔ト云フ制度ノ設ケラレマシタノモ、斯ノ如キ必要ナル事業ヲ財政
難ノ爲ニ拋棄シテ置クコトノナイヤウニ遣リ易クスルノガ、此制度ノ目的デアラウト思フノデアリ
マス、サウスルト全部一貫シテ總テノ機能ヲ發揮シテ、下水道ノ與フル利益ヲ全部與ヘナケレバ、
ト云フ迄待ツト非常ニ遅クナル、其間ノ工事費ノ財源ニモ困難ヲ致シマス、又負擔者モ一時ニ多額
ノ金額ヲ負擔シナケレバナリマセスカラ、ソレヨリモ出來上ツタ分ヅツ課シテ往ツテ、サウシテ總
額ニ於テ大シタ差ノナイヤウニスル方ガ、事業ノ遂行上カラ言ツテモ財政上カラ言ツテモ、亦納メ
ル方カラ言ツテモ、左様ニサセテ載ク方ガ良クハナイカト思フノデアリマス

○太田委員 私ハ當局ノ御説明モ御尤ト思ヒマスカラ、此點ハ當局ニ讓步致シマシテ、原案ヲ賛成致
シマス

○渡邊委員長 第七條ニ付テ別段御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○渡邊委員長 ソレデハ此通り決定致シマス——第八條ニ付テ御審議ヲ願ヒマス

51
10

○太田委員 本條ハ前回ニ於テ皆サンカラ種々御議論ノアリマシタコトデアリマス、私ハ此負擔金額ノ五ケ年間ト云フヲ、單ニ十年ケ間ト修正ヲ致シタイト云フ希望ヲ前回ニ申述ベタノデアリマシタガ今日モ同様ノ希望ヲ以テ當局ノ御同意ヲ得タイト思ヒマス

○岡田計畫課長 五年ヲ十年ニ改メルト云フコトニ付キマシテハ、其點ハサウ云フコトニナリマスト財政計畫ノ上カラ見マシテ、相當ニ苦シイ點ガ出テ居ルヤウニ考ヘマス、併ナガラ一面負擔者側ノコトモ考ヘテ見ナケレバナリマセスト云フノデ、市ノ方デモ苦シイ點ハ已ムヲ得ナイトシテ、五年ヲ十年トスルコトニ付テ、サシタル故障ガナイト云フ意見デアリマスノデ其點ハ差支ナイト思ヒマスガ、サウシタ場合ニ此但書ノ方ガ問題ニナツテ來ルト思ヒマス、五年ヲ十年ニ致シマスト負擔ガ長クナリ、其上ニ更ニ但書ヲ置キマスレバ又五年以内ノ徵收猶豫ヲスルコトニナリマスカラ、此但書ヲ削除スルコトガ適當デナイカト思ヒマスガ、其點ハ如何デゴザイマセウカ

○福田委員 一寸分カリマセデシタ……

○中村委員 段々前々カラ御話モアリマシテ、負擔者ノ方ノ立場カラ見テ五年ヲ十年トスルト云フ御話、是ハ財政ノ計畫カラ言ヘバ大分苦シイノデアリマスガ、併シ御話ヲ承リマスト洵ニ已ムヲ得ナイ點モアリマスノデ、五年ヲ十年トスルコトニハ御同意ヲ申上ゲマス、而シテ此但書ハ削除スルコトニ太田君ノ御同意ヲ得タイノデアリマス

○潮委員 五年ヲ十年トスルト東京市ノ財政其他ノ財政ニドウ云フ影響ヲ及ホシマスカ、御説明ヲ煩シタイノデアリマス

○田澤東京市助役 唯今地方局長ノ職ニ御居デニナル潮委員ノ御心配ノ點ハ、市ノ當事者トシテモ如何ニモ御同感デ、實ハ十年ト云フ修正意見ニ同意シ得ルカドウカト云フコトニ付テ、隨分苦慮致シタノデアリマス、別紙説明書ニアリマス通り、可ナリ大サナ影響ヲ市ノ財政ニ與ヘルノデアリマス併ナガラ一面カラ考ヘマシテ、受益者負擔ト云フコトハ、マダ充分ニ市民ノ慣熟シテ居ラナイ制度デアリマスノデ、其ノ徵收ノ穩カニ往クト否トハ當ニ財政計畫ニ關係スル所多大ナルノミナラス、延イテ自治體ノ全般ノコトニ關スル非常ナル影響ヲ與フルコト、思ヒマシテ、彼是非常ニ苦慮シタ結果比較對照ノ末、之ニ同意スルニ至ツタノデアリマス、隨テ財政ノ方ハ何トカ都合シナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、兎ニ角非常ナ打撃ニ相違ナイノデアリマス

〔參照〕

受 益 者 負 擔 金 五 ケ 年 均 分 比 較 說 明

省令案第八條ニ規定スル均分期間ヲ十ケ年トシテ下水道改良速成工事及同完成工事ノ事業費ヲ調理スルニ經常歳入繰入金ニ於テ著シク増額スルノミナラス公債發行額及同利子ニ於テモ尙左ノ如キ結果ヲ來スコト、ナル之カ大要ヲ述フレハ次ノ如シ

一 公債ノ發行總額ハ當初ノ經理ニ依ル四千四百七十七万圓ニ比シ五百八十万圓ノ増額トナリ初年即大正十八年及次年度ニ於テ各七百方圓余

(當初案 初年四、五〇〇千圓 次年五、八〇〇千圓)ノ起債ヲ要スルコト、ナル

(本案 初年七、〇〇〇千圓 次年六、九〇〇千圓)ノ起債ヲ要スルコト、ナル

二 右ノ結果償還年限ニ於テ五ケ年ヲ延長シ利子支拂額ハ當初經理ノ三千七百余万圓ニ比シ千五十万圓余ノ増加トナル

三 詳細ハ別表ノ通り

比較表 (單位ハ千圓トス)

年度	受 益 者 負 擔 金			經 常 歲 入 繰 入 金		
	五ケ年平均分	十ケ年平均分	増 減	五ケ年平均分	十ケ年平均分	増 減
一四	六二七	七〇九	八二	三九三	三一	八二
一五	九八二	九〇四		七八速成 二九三	三七	七八
一六	一、三八四	一、一〇五		一九六	四七五	二七九
一七	一、八八七	一、三七七		五一〇		
一八	三、二〇九	一、五八七		一、六二二	一、六三四	四〇

一九	二、六一八	一、七九九		八一九	一、六六六	一、六八九	一三
二〇	二、六二四	二、〇〇八		六一六	一、六一五	一、七五三	一三八
二一	二、五九四	二、二一八		三七六	一、六九一	一、七二四	三三
二二	二、四三五	二、四三一		四	一、六四〇	一、六八九	四九
二三	二、一七二	二、六二九	四五七		一、六四七	一、六八九	四二
二四	二、一四七	二、一一六		三一	一、六七〇	一、七五三	八三
二五	二、〇八六	二、一〇九	二三		一、六五八	一、七〇五	四七
二六	一、八八四	一、九九三	一〇九		一、六六六	一、七一一	四五
二七	一、五五九	一、七四一	一八二		一、六四四	一、七二六	八二
二八	一、二三九	一、五四八	三〇九		一、六五九	一、七二七	五八
二九	八九六	一、三四一	四四五		一、五六一	一、六七七	一一六
三〇	五二六	一、一三〇	六〇四		一、六九四	一、六三九	五五
三一	二八六	九一七	六三一		一、七〇五	一、七〇八	三
三二	一五五	七〇六	五五一		一、七一〇	一、六七八	三二

年	事業費	利公	子債	費取公債	償公債	償還金	計	國庫補助金	受益者負擔金	埋立地收入	廢下水敷代賣却金	經常歳入	雑收	公債手取金	計	發行額	現在高
二六							四、九八二	一、四三〇	△一、九九三	五、八	二〇〇	一、七一			四、九八二	四八、五〇〇	
二七							四、七六五	一、四五〇	△一、七四一	五、八	二〇〇	一、七六			四、七六五	四六、六〇〇	
二八							五、三三三	一、四五〇	一、五四八	五、八		一、七八			五、三三三	四四、一〇〇	
二九							四、九八六	一、四五〇	一、三四一	五、八		一、六七七			四、九八六	四一、七〇〇	
三〇							四、八四一	一、四五〇	一、一三〇	六、三		一、六三九			四、八四一	三九、三〇〇	
三一							四、六九七	一、四五〇	五、九	六、三		一、七〇八			四、六九七	三六、九〇〇	
三二							四、四五六	一、四五〇	七〇六	六、三		一、六七八			四、四五六	三四、六〇〇	
三三							四、二一〇	一、四五〇	五〇九	六、三		一、六四三			四、二一〇	三一、四〇〇	
三四							四、〇八八	一、四五〇	三三三	六、三		一、七〇三			四、〇八八	三〇、二〇〇	
三五							三、八五八	一、四五〇	二一八	六、三		一、六五八			三、八五八	二八、一〇〇	
三六							三、七三二	一、四五〇	四	六、三		一、六一六			三、七三二	二六、〇〇〇	
三七							三、八〇〇	一、四五〇	二五	六、三		一、七〇三			三、八〇〇	二三、七〇〇	
三八							三、七五九	一、四五〇	七	六、三		一、六八〇			三、七五九	二一、三〇〇	
三九							三、七二二	一、四五〇		六、三		一、六四〇			三、七二二	一八、八〇〇	

第三回特別委員會

年	事業費	利公	子債	費取公債	償公債	償還金	計	國庫補助金	受益者負擔金	埋立地收入	廢下水敷代賣却金	經常歳入	雑收	公債手取金	計	發行額	現在高
二五							二、二四三	一、一七四	△二、一〇九	七、八	二〇〇	一、七五			二、二四三	六、八〇〇	五〇、五〇〇
二六							二、四六三	一、〇〇四	△二、一六	二、〇〇二	二〇〇	一、七五三			二、四六三	五、八〇〇	四三、七〇〇
二七							二、一三三	八七四	△二、六二九	一、九二	二〇〇	一、六八九			二、一三三	五、一〇〇	三七、九〇〇
二八							二、七八六	八四	△二、四三二	一、八三	二〇〇	一、六八九			二、七八六	六、三〇〇	三二、七〇〇
二九							二、四〇八	七四	△二、二八	一、七三	二〇〇	一、七四			二、四〇八	六、三〇〇	二六、四〇〇
三〇							二、〇三二	六九	△二、〇〇八	一、六四二	二〇〇	一、七五三			二、〇三二	六、二〇〇	二〇、一〇〇
三一							一、〇、六三八	六七八	△一、七九九	九三	二〇〇	一、六七九			一、〇、六三八	六、九〇〇	一三、九〇〇
三二							一、〇、三二二	六七八	△二、二五九	一、〇、三二二	二〇〇	一、六三四			一、〇、三二二	七、〇〇〇	七、〇〇〇
三三							二、四〇八	七四	△二、二八	一、七三	二〇〇	一、七四			二、四〇八	六、三〇〇	二六、四〇〇
三四							二、七八六	八四	△二、四三二	一、八三	二〇〇	一、六八九			二、七八六	六、三〇〇	三二、七〇〇
三五							二、四六三	一、〇〇四	△二、一六	二、〇〇二	二〇〇	一、七五三			二、四六三	五、八〇〇	四三、七〇〇
三六							二、一三三	八七四	△二、六二九	一、九二	二〇〇	一、六八九			二、一三三	五、一〇〇	三七、九〇〇
三七							二、四〇八	七四	△二、二八	一、七三	二〇〇	一、七四			二、四〇八	六、三〇〇	二六、四〇〇
三八							二、〇三二	六九	△二、〇〇八	一、六四二	二〇〇	一、七五三			二、〇三二	六、二〇〇	二〇、一〇〇
三九							一、〇、六三八	六七八	△一、七九九	九三	二〇〇	一、六七九			一、〇、六三八	六、九〇〇	一三、九〇〇
四〇							一、〇、三二二	六七八	△二、二五九	一、〇、三二二	二〇〇	一、六三四			一、〇、三二二	七、〇〇〇	七、〇〇〇

備考

第三回特別委員會

一 國庫補助金ハ事業費ニ對シ三分ノ一ヲ十八年度以降五年ケ年ニ互リ收入スル豫定ナリ

下水道改良完成事業經理方法 (單位ハ千圓)

